夕刊 滿洲日報 七月七日

日傭勞働者に對する失業保險制度を確立
九日東京大阪兩市當局を招き 内務省が宣傳を聽取

【東京特電七日發】內務省の失業防止委員會對策部特別委員會は來る九日東京、大阪兩市當局を招致し日傭勞働者の救濟施設の完備助成に關する實狀を聽取した後、政府に對し

救濟施設 に就いて國庫より助成金を交附せられたしとの答申案を作る事になつてゐるが、內務省ではその答申案を參考として愈々懸案の日傭勞働者失業保險制度を確立し國家の助成監督の方法を講じ之に要する經費を明六年度豫算に計上すると內定してゐる現在右保險を實施してゐるのは六大都市のうち東京、大阪、神戶の三市であるが、大體の方法は都市直營で日傭勞働者が勞働により賃金を取得した場合、十錢乃至五錢の損金をなさしめその代り失業三日目から賃金の約半額の

保險金を 交附し保險金給附三日連續の上一時消滅せしめ、再び仕事を獲れば同樣の方法を繰返す事となつてゐる、今回の內務省で立案せんとするものも之と大同小異であるが、法令又は準則を完備して國家が之に統制を與へ補助金を交附し、且つ監督の方法を講ずる處に新鮮味ありといはれてゐる、その要項として硏究されてゐるのは左の通りである

法令の形式 法律によらず他の形式により準則を定め各重要都市をして實施せしむる事

保險料 勞働者並びに老人勞銀に對する一定割合の保險料を徴す

國庫補助金 被保險者たる勞働者數又は保險給附額に對し一定割合の補助金を交附する事

强制加入 勞働者の登錄と同時に强制的に保險に加入せしむる事

實施範圍 東京、京都、大阪、神戶、名古屋、橫濱の六大都市とする事

監督 保險制度の圓滑なる運用を企圖するため必要なる監督規定を設けその効果を擧ぐるに努める事

成べく暑休み前に條約御諮詢を奏請
首相鐵相の意見一致

【鎌倉七日發電通】濱口首相は六日午前九時日下鎌倉ホテルに在る江木鐵相を扇ヶ谷別莊に招致し國公訪問の模樣を告げたる後ロンドン條約御諮詢奏請に關する樞府その他の情報を聽取して打合せを行つたが既に政府が議會で言明もして居り政府としては飽く迄當初の方針に從つて行動し暑中休暇前になるべく御諮詢を奏請するに意見の一致を見た

次の軍縮會議で三大原則を確保
新國防案解決せん

【東京七日發電通】海軍新國防計畫案は加藤軍事參議官の强硬な反對論で停頓狀態に陷つたが氏の反對論旨は潛水艦二萬五千噸の不足はその性能を全く異にする航空機を以てしては完全に補充し難きのみならず一九三六年以後對米六割に低下する八吋巡洋艦の不足は如何にしても補充不可能であるからこれ亦六吋艦を以てしては如何若しロンドン條約規定の兵力量が永久に帝國海軍を拘束するものとすれば帝國々防の安全は期し難い

と作戰、用兵に亘りて論されその反對意見の根幹は三大原則の放棄を招來した條約の規定そのものにある爲め解決の困難は免れ難い然し條約の批准は國際信義上容易に拒否し難いから政府及び軍令部は

工事を始めた葫蘆島築港
(上は作業中の苦力、下は建築中の新工廠)

海軍四巨頭會議
けふ海相官邸に開く

【東京七日發電通】財部海相、谷口軍令部長、岡田、加藤兩大將の四巨頭の條約兵力量に依る新國防計畫案審議の第三次會議は七日午後二時より海相官邸に開催さるゝ事となつた

この點に一縷の希望を繋ぎ諒解を得るに努むべく結局は紆餘曲折を經て計畫案は加藤前軍令部長時代の方針を出來得る限り取り入れ一九三五年の會議においては飽く迄三大原則の確保を爲すべきを條件として解決がつくのではないかと見られてゐる

政府の方針不變
奏請の時期は未定 濱口首相鎌倉で語る

【鎌倉特電七日發】鎌倉の別莊に靜養中の濱口首相は七日午前十時自動車で歸京したが、出發に先立ち軍縮問題に關し左の如く語つた

五日國公にお目にかゝつて了解を求め、更に昨日江木鐵相に會つて軍縮條約の話にも觸れたが條約御諮詢に對する政府の方針は從來と何等變りはない、卽ち政府は御諮詢期の成る可く速かならんことを希望し暑休前にも御諮詢を經たい考へで目下海軍外務兩省で準備を急いでゐる、海軍側で色々問題があるといふが、御諮詢前に元帥會議を開くか、參議官會議を開くかは全く軍部內部のことで海相が考慮判斷すべきことだから口を挿むべき筋合でない、海軍側で正式會議を開きたい意嚮であれば、政府はその終了を待つために御諮詢奏請を伸ばすことになるか否かはその時になつて考ふべきことである、何れにしても政府としては條約御諮詢の一日も早からんことを期待するが故に海軍側の準備もまた成る可く早く完了すべきことを希望してゐる

參議官會議
十四日以後か

【東京七日發電通】條約兵力量に依る國防計畫については元帥、軍事參議官の間に異論あり、目下の情勢では今明日中に開かれる第三次四巨頭會議にても何等最後的決定を見るには至るまじく、而して岡田大將は特命檢閱のため八日より東京不在となるので非公式元帥軍事參議官會議は岡田大將の十四日歸京後となる見込みである

永井外務次官
加藤大將と會見

【東京七日發電通】永井外務政務次官は七日午前九時五十分加藤軍事參議官を四谷の私邸に訪ひ會談約一時間にして辭去したが、右は海軍四巨頭會議における加藤大將の態度强硬にしてそのため新國防計畫案が未だ決定せず條約案の樞府諮詢奏請を急いでゐる政府の方針に大なる影響を及ぼすを以て永井次官は加藤大將の眞意を聽取したる上政府側の所信を披瀝して諒解を求めたものと見られてゐる

西北軍兩三日中に歸德攻擊を開始
主力戰は徐州に移る

【天津特電七日發】南北の戰ひは疲れ切つたまゝ持久狀態をつゞけてゐるが天下分目の戰ひとて蔣閻兩氏とも更に新作戰に智囊を絞つてゐる、閻錫山氏は再び濟南に出馬し山西全軍に一週日を限りて徐州を攻略すべしとの嚴重な命令を下し後方各地の治安維持に當つてゐた保安隊をも出動せしめ前線に兵力を加へつゝある、蔣介石氏は津浦線明光、張八嶺に堅固な陣地を築き萬一の場合にこれによつて最後の決戰を試み湖南から五ケ師を移動し隴海、津浦兩線に反攻を試みる新作戰を樹てゝゐるが湖南兵の移動は頗る困難とされてゐる山西軍の南進と西北軍の歸德攻擊も兩三日內に決行さるべく斯くて主力戰は徐州方面に移りつゝある

戰雲漠々たる歸德地方
九十八度の炎天下に惡戰苦闘 戰死兵の屍をあさる鳶烏の群

▽…【歸德四日發電通】外國記者團は新徵募兵を輸送する軍用列車で三日午後三時半徐州發歸德に向ふ九里山驛の南北に白雲山、九里山の二つの丘が隆起し山麓一帶は野營部隊の天幕が立並び丘は堅固な堡壘が堅固に築かれてゐる、溜れ違ふ列車は津浦線へ移動する兵と負傷兵を滿載した無蓋車ばかり九里山驛以西は見渡す限り綠野で廣山驛附近は激戰の跡明かに荒涼たる景色である、

▽…歸德驛構內には軍需品彈藥を滿載せる兵站車が溢れ驛から約一町の飛行場からは數臺の飛行機が爆音もけたゝましく離陸してゐる、午前九時兵站總監兪飛鵬氏の案內で列車を乘替へ柳河に向ふ、車中で兪氏を捉へ中央軍一月の食糧を聞けば米十萬俵、メリケン粉三十二萬袋といふので然らば中央軍は七十萬位ゐるかと聞けば兪氏はそんなものだと答へる、

▽…午前十一時柳河に着く、酷い暑さだ、驛の寒暖計は九十八度總司令部の置いてある列車は炎熱に包まれ嚴重な護衞を附けてゐる午後一時驛附近のポプラの影に設けられた會見所で蔣介石氏と會ふ蔣氏は邵力子、宋子安(子文氏の弟)氏と中山服にニコ〳〵しながらやつて來る、なか〳〵如才ない態度振りだ、氣のせいか白髮が少し增えたやうに見える、

▽…午後二時過會見を終り一行は更に西の戰線視察のため午後西

南軍妥協を畫策
西北軍に對し交涉

【天津特電七日發】南京側では頻りに東北軍の援助を求め關內進兵を促してゐるが一方戰局が長引けば閻馮兩氏の關係は決裂するものとし凡ゆる手段を講じて反蔣派の切崩しに努めてゐるが最近西北軍方面へ手を伸ばし馮玉祥氏を副司令に任命し河南、河北、陝西、甘肅、湖北の五省を地盤として與へることを條件に于右任、潘毅氏等をして運動せしめてゐる、勿論成否は疑問だが更に蔣介石氏の放つた有力な便衣隊は北軍の後方が空虛になつたのを機會に一大暴動をも策してゐるので閻錫山氏としては如何に戰線が擴大されても保定隊を全部南下せしむることは危險だと觀られてゐる

時柳河發李叭集に着く前線まではなほ七哩もあるが、遠雷のやうな銃聲が大地を震駭し夕日を浴びて草原には鳶烏が戰死兵の遺骸をあさる光景は酸鼻を極めてゐる、記者團は再び汽車で歸德へ向つた

劉氏、南京系の官吏全部を罷免
膠東の公安局長避難

膠東一帶の戰機熟して七日朝龍口より入港の高松丸で龍口、掖縣の公安局長が一家眷族を引具して避難して來た、龍口公安局長程耙叔氏掖縣公安局長謝幽敏氏は一行を代表し交々語る

自分達は南京政府の命令で現職にあつたものだがこの程劉珍年軍の形勢の變化と共に劉氏は私達初め南京政府系統の官吏を全部罷免して新たに自分の部下をこれに代らせた、自分達は永く居る事に危險を感じたので大急ぎでこちらに來たのだが便船あり次第青島へ行くつもりだ、そして青島の民政廳に退官手續をして南京に歸る意志である、劉氏と韓復渠軍とは最近とみに惡化して劉氏は平度、昌邑方面に兵を集中してゐる、尙南京政府系統の官民は續々避難してくる事だらう

膠濟線の主力戰激戰と化す
青島濟南軍の通信連絡に わが領事館が努力

【青島特電六日發】六日拂曉來の南北兩軍主力戰はその後益々激戰と化し膠濟鐵路は昨日より遂に不通となり、濟南發東行列車は張店に、青島發西行列車は濰縣に停車し、電信は勿論一般公衆電話は濰縣以東、張店、濟南間のみ通じ青島、濟南間は全部不通となつた、孤立となつた沿線濟南へ對する連絡の方法につき領事館當局は最善の努力中である

膠濟線不通

【青島六日發電通】山西軍の前敵總指揮曹福林氏の攻擊開始令に對し中の中央軍韓復渠軍は五日午後九時半より開戰十時より早くも主力戰が演ぜられたが、韓軍は鐵中車の威力を示し山西軍は空軍で爆彈を投下して一進一退今や兩軍の戰鬪は酣である、今朝に至り山西軍は主力を樂安に移し敵の虛を衝く作戰が相當効を奏しつゝあり、韓軍は陣形はこの方面から龜裂する模樣である、なほ膠濟戰はこのため本日不通となつた

閻軍地雷火敷設

【濟南六日發電通】山西軍は韓復渠軍の鐵甲車に備へるたため辛店の東方線路上に地雷火を敷設した南三日中に劉珍年軍とこれを挾擊して韓軍を擊退する計畫であるが、韓軍が頑張つて長延くやうであれば改めて懷柔の方針を取り長

東北艦隊は將來葫蘆島に駐防か
張學良氏近親に漏す

【天津特電七日發】確實なる方面の消息では張學良氏は將來葫蘆島を軍港とし東北艦隊を同地に駐防せしむる方針である、これは張作霖氏生前からの希望で北寧鐵路の收入で取敢ず築港だけを急ぎ完成の曉は直ちに軍港に變更するものであることが張學良氏より最近近親に洩らされたと

走馬燈
荻川

滿鐵(其七)

滿鐵を退きし人に、滿鐵は滿洲で、他に職を興へる如く努めよと云つたが、其人も之を待たないで、滿洲に留まるよう、其處での仕事を求めて欲しい、職を求むる必要なきものでも、遊ぶ仕草を考へようじやないか、同じ遊ぶでも、滿洲で遊べば、こゝで眠る廿萬の忠靈を慰め得る此忠靈こそ、其の人々と否在滿邦人と滿洲との緣を繋ぎ、滿洲を今日あらしめたものならずや

併し遊ぶよりは、稼がにやならぬ、曾て滿鐵は、獨立守備隊の滿期兵に、土地を貸興したことがある。

◇

其結果は面白くなかつた、幵は制度其者よりは、指導監督の宜しきを得なかつた爲と思ふが、當者大連農事なんどの起つて、此業に從ふ、それで何も滿鐵が職を興へないとて、滿鐵を退きし人は、奮つて其經營に發じ、自力本願を立て通すことも出來る、ならうことなら斯る自力を發揮して、國家の爲め、滿洲で働いて貰ひたい、已むを得ねば同じ國家の爲に、殖民地の經驗を齎して、他の殖民地に移る方法もあるようだが、之も惡いとは云はぬ。

◇

されど其地の經驗を、其地で活用するに越したことはない、就け此途に、滿洲にも花は咲くではないか、斯くて滿鐵は、職制を改革し、傍系會社を整理し、之が爲に淘汰した從業員の間にはさしたる失業問題をも起さしめずして、これから一路事業に邁進せんとす、そこで考ふべきは、滿鐵の事業が國際裡に營まれそこに民國と露國との競爭あることとなるが、露國との競爭は東支鐵道を本位とし、其東支鐵道は露支合辦なるが故に、勢ひ競爭の主體は民國と云ふことになる。

◇

滿鐵は常に民國側と妥帖調和の精神に立つが、近頃此競爭が絕へず民國側から仕向けられ、最近日東京の滿鐵株主總會に於て仙石總裁は實に此競爭に言及して其覺悟の一端を披瀝す、第一に協定、次には競爭と、是なるかな、總裁の新經綸がこゝから迸り出ねばならぬ、滿鐵に在るものは、先づ覺悟の臍力をそれに固めてかゝると、近今滿洲での問題となつて居る、葫蘆島の築港、其起工式も濟んだが、敢て問題とならない。

濟南放棄は豫定の作戰
南軍參謀長談

【歸德四日發電通】中央軍參謀總長楊杰氏は記者の問ひに對し左の如く語る

中央の作戰は北軍を追拂ふのではない、これを全滅して將來の禍根を去るに在る、だから敵を引寄せて一度に潰滅しやうとしてゐる、濟南放棄も山西軍を黃河以南に誘ひ寄せる豫定の作戰だ山西軍が濟南に籠城すればこく交通の阻害はせぬと司令部では說明してゐる

山西軍保安隊南下

【濟南特電七日發】當地方の山西軍はその後續々南下したので後方の治安維持の爲め北平の保安隊第十二旅は六日入濟した、尙保安隊は續々南下して戰線に加はりつゝあるが山西軍も戰線擴がると共に兵力の不足を感じて來たれを攻めねばならぬが、外交問題を起す虞れあり、中央は暫く自重するが、若し南下したらその時は思ひ切りやつつける、しかし若し何時までも籠城したら外人の退去を求めて攻擊せねばなるまい

滿鐵定員制更正
職制改正に伴ふて

滿鐵は職制改正以來各箇所共殆ど根本的に改組されたので從來の定員制は全く用を爲さぬことゝなつてしまつたので近く新たに新定員を定める筈であるが五年度更正豫算を急ぐ關係上取り敢ず暫定員を定めることゝなつたと

上海線とも通過せしむる事の出來る途が開かれた、右は遞信省から七日當地遞信局に入電あつたもので多分支那動亂に依り支那內部通信機關の萬一における故障を顧慮しての結果斯く利用範圍を擴張したものゝ如くである

滿鐵檢査課の規定成案

滿鐵改組に依る新設の總務部檢査課は部內にて檢査規定の作成を急いでゐたが漸く出來上つたので七日文書課に提出審査中である、尙同課はその事務の性質上事務分掌規定は設けず定員の決定次第檢査心得ともいふべき內規を定めると

駐日佛大使
信任狀を捧呈

【東京七日發電通】最近着任した本邦駐箚佛大使マルテル博士は七日午前十時半宮中に參內鳳凰間において天皇陛下に拜謁仰付られ恭しく信任狀を捧呈し一旦退下正午再び參內御陪食仰付られた、なほマルテル大使の捧呈に引續きペルシヤ公使アワネス、ハーン、モエサツー氏も信任狀を捧呈した

次官、資源長官歡迎會

來滿中の宇佐美資源局長官は九日午後八時三十分同小坂拓務省政務次官は十日午後八時三十分着列車で何れも來連するので大連では神田民政署長、田中市長、村井商工會議所會頭、張大連、關小崗子兩華商公議會長發起の許に來る十二日午後七時より大廣場ヤマトホテルにおいて官民合同の歡迎會を開催する事になつたが會費は金三圓當日持參の事、出席希望者は十日まで市役所總務課まで申込んで貰ひたいと

日支連絡電話成績

遞信局管內における六月中の日支長距離連絡通話取扱數は五月以降漸次利用數を增し總計三百五十二通で前年同期の二百三十五通に比較し約五割の增加を示してゐる、その主なる利用區間は奉天、天津間の二百五十三通を初めとして安東縣、奉天、支那間の四十三通、大連、天津間の三十八通、大連、奉天支那間十一通等でまた奉天における日支市內連絡數は日本側發信六千五百五十七通で支那側發信六千二十九通であると

支那電報利用範圍擴張

支那內地相互間に發着する電報で從來關東廳遞信局管內を通過する場合は大連芝罘線に限られてゐたが今回大連、長崎線および長崎

人事

▲中尾大次郎氏(大連市衞生課長)七日新任挨拶のため市內各方面歷訪

▲杉山虎雄氏(大連市社會課長)同上

大觀小觀

ロンドン海軍條約、御諮詢奏請政府はあらゆる手順を踏んで萬遺漏なきを期すものゝ如し

◇

元帥や軍事參議官連も、國防兵力量の重大問題であるから、充分納得の行くまで質問し、追窮するも、國家のため當然といはねばならぬ。

◇

而してまた樞密院が、御諮詢に對し奉り、愼重審議、遺憾なきを期する、これまた當然の歸結である。

◇

連日の濃霧、奉天丸とタンプト號との衝突を餘儀なくす。不可抗力とはいふものゝ危險、危險、注意肝要。

天氣豫報

八日(南東の風)曇後雨亦は霧模樣

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二二、二	二八、七
旅順	二三、三	二七、八
營口	二九、一	三一、八
奉天	三〇、三	三二、三
長春	二七、六	二九、七

滿潮 午前八時三十五分 午後八時四十五分
干潮 午前一時二十五分 午後三時〇分

今年こそは 浴衣黨の大萬歳

インドに於る關税引き上げと銀安で輸出がバッタリ止つて 吳服屋さん大滾し

後から後から押寄せる世界的不況の狂瀾の中に揉み流され、我國の産業界は今や[illegible]の極に達してゐるが、なかんづく機業、紡績界の慘狀最も甚だしく、生糸の値段は四日に六十六圓臺となり取引所開所以來空前の安値を示し、綿糸は先月二十五日に九十八圓となり、いづれも前年に比して半額の相場であるが、その結果、吳服類の小賣値は昨年に比して、ぐつと下り絹物、木綿物共に二割、三割方安い、三越の吟味一物として目下賣出してゐる手拭中形一反五十錢、白縮◇…五十錢 などは昨年の半値で、こうなると布よりも綿賃が高くなつて來る、その他銘仙も三圓から五圓前後で賣出してゐるが、五十錢の浴衣が着れるのだから本年の浴衣黨大萬歳だ、右に就いて三越吳服部では語る

從來、日本綿糸の二大出先であつた印度が關税引上のために、支那が銀安の爲め何れも全く出なくなりましたので實に無茶苦茶な安値で、大正三年以來の暴落ですが、弱氣は八十圓位まで下るだらうと見てゐます、また◇…米國の 原棉が本年餘つて例年百萬俵持ち越すのが本年は四百萬俵も持越してゐます まあ普通小賣値が手拭中形昨年の一圓七、八十錢に比して本年は一圓四、五十錢、眞岡地が昨年の二圓五十錢前後が本年は一圓九十錢、絽、ボイルは昨年七八圓だつたのが本年は二圓五十錢乃至五圓といふ有樣です、また生糸の暴落はひどいもので例年なら毎月七、八萬俵米國へ輸出するんですが昨今では三萬五千俵前後といふ有樣で半分以下です、大體◇…生糸の 相場が全然米國に左右されてゐるんですから殘念なことです

魔の山東角沖合で ノールウエー船沈沒す

今曉、濃霧のため奉天丸と衝突 乘組員全部救出さる

濃霧シーズンに入つた、霧り碍子の中を行く樣な今日近頃の航海、船舶にとつては生命とりといはれるガス季節、七日午前四時五十五分この忌むべきガスの中で船首の鼻先に他船をひつかけ瞬間に沈沒せしめた最近珍しい海難事件が發生した

大連汽船所有の上海—青島定期船奉天丸(三千九百七十六噸、船長穗積一精氏)は七日大連入港の豫定で昨夕青島を出帆し濃霧のうちを航行中であつたが、今曉四時五十五分、北緯卅七度、東經百廿二度三分山東高角と南島角の間卽ち山東角を去る三十浬の地點において折柄秦皇島を出帆して**上海に** 向け航行中の開灤炭坑傭船ノールウエー船ダムプト號(二千四百九十四噸)と衝突、密閉したガスの中に關東州廳遞信船としては曾てなき海難事件を惹起した、奉天丸は幸ひ大した損害もなかつたがダムプト號は遂に積荷のまゝ沈沒の災に遇ひ濃霧中に阿鼻叫喚の世界を現出した、幸ひ奉天丸乘組員の獻身的努力によつてダムプト號乘組員船長ほか白人五名、支那人三十五名は完全に救出した、奉天丸では突嗟のうちに午前五時四十分 **第一信** を發したが、右によると 衝突相手は沈沒船長以下乘組員全部を救助收容 とあり、次いで第二信として七時前衝突當時の模樣を報告してゐる卽ち

午前四時五十五分濃霧中において衝突、他船の右舷一番船艙の中央に奉天丸の船首を打つけて本船は僅か左舷スラム船首、外板水線上部に擦損を受けたのみであつたが他船は遂に沈沒したとあるが、大連汽船本社では乘組員を全部救出したと聞いて安堵の胸を撫下してゐた、尙同地は濃霧時期において航海業者にとり魔の箇所といはれてゐるが、昨年のガスシーズンにおいても今回の事件と同樣の事件卽ち郵船所有 **龍野丸** が同じ山東高角において支那汽船と衝突し支那船を沈沒せしめ乘組員を全部救助した事もあると

中であるがダムプト號船長ほか白人三名、支人三十五名を收容、午後六時大連入港の豫定であると

全乘組員を救出 先づ安堵した

奉天丸は豫定通り大連出帆 大連汽船で語る

檣事入報と共に大汽本社は色めき渡り次々に來る情報に善後策を講究中であるが大汽では語る

大變な事です、細い事は判りませんが相手方を沈沒せしめたと云ふので人命にもしやと心配しましたが幸ひ一人殘らず救ひ上げたといふので安堵しました、こちらの船は僅か許りの擦損で濟んだ樣です、まあ船が六時に入港しますからその上でよく聞く事にしてゐます、なほ奉天丸の出帆時が變更しないかと心配される向もありませうが期日通り出帆する事になつて居ります

珍らしい海難事件

目下材料蒐集中 岡本海務局長談

大連無電局より右報告を受けた當地海務局では港務課が主となつて當時の材料蒐集に多忙を極めてゐるが岡本海務局長は語る

私もさつき聞いて驚いてゐるところだ、關東州遞信船で相手方を沈沒せしめた事件としてはまあ珍らしい方だ、種々聞いて見ない限りどちらが惡いか好いかこゝで判定する事は出來ないしまたソウ輕々に口外は出來ないが要するにガスの故ではないかと思ふ航行者にとつてこのガスと云ふものは實に恐ろしいもので海難事故統計の上でもかなりの數に上つてゐる、何れ入港と共に穩積船長並びにダムプト號船長を呼び出したうへ色々聞く事にしてゐるがやがて海事審判に廻る事と思つてゐる、コウいふ問題は相手方が何分外國船で國際關係を加味してゐるから少しばかり難しい問題である、當局では目下港務課員に色々材料を集めさせてゐる

今夕六時入港

午前七時四十分當地大汽本社へ奉天丸よりの入電によると七時半衝突現場を出帆濃霧の爲め警戒航行

安協か決裂か

漁撈海員組合と海上勞働同盟にゴタ〳〵

過般創立された關東州漁撈海員組合と大連海上勞働同盟組合との間に早くも勢力爭ひが惹起し目下紛糾を續けつゝあるが、所轄大連署では正面衝突を懼れ双方の態度に嚴重警戒の眼を放つてゐる **紛糾の** 原因につき探聞するに今回創立した漁撈海員組合は其の使命と目的を同じうする海上勞働同盟組合が別個に存在し對立することは海員の權利及び利益增進のため共同戰線の上に立つてゆくに支障を來すといふので、今回海上勞働同盟組合に對し合併加入方を申込んだところ、同盟組合側は漁撈海員組合創立に當り何等一言の挨拶もなく、そのうへ古くから存在する組合に對し **加入方** を慫慂するといふは橫暴であると憤慨し之を拒絕したことより紛糾を生じたものである、而して双方代表者は七日午後一時會見し意見の交換を行ふ筈であるが、この結果妥協か決裂か非常に注目されてゐる、なほ漁撈海員組合には資本家の勢力が多分に注入されてゐるのに反し、海上勞働同盟組合は資本家に對抗すべき純勞働團體であるが爲め、萬一漁撈海員組合と合併加入するが如きことある場合は組合員間に動搖を來し勞働團體の瓦解をおそれてゐる

全滿洲軍 練習を開始

慶應陸上選手の來征に備ふ

既報の如く全滿洲對慶應大學の對抗陸上競技は八月九、十の兩日大連運動場に於て擧行されるが、全滿選手として選ばれた卅二名は六日大連運動場に於て開かれたハンディキャップレース終了後午後六時三十分より「いろは」に於て第一回選手會議を開催して練習方法等を協議した結果、コーチに岡部平太氏、マネーヂャーに高橋俊夫、松重秀雄兩氏を、また主將に小數賀源一郎選手を推薦し、毎日午後四時より大連運動場に於て練習を開始することになつたが一般の練習希望者の參加も歡迎する由

海水浴場に 救護所開設

赤十字支部で十一日から

日本赤十字社大連支部では例年の通り今年も七月十一日から(毎日午前十時より午後六時まで)夏家河子および星ケ浦、靜ケ浦の各海水浴場に常設救護所を開設し、一般傷病者を無料診療することにした、尙このほか市内十四小學校の兒童水泳および海濱聚落期間中はその校附添の赤十字看護婦をしてこれまた兒童は勿論、公衆のためにも手當をなさしむることにした、因みに看護婦の所在地には必ず赤十字旗を樹てゝあるから何人でも遠慮なく申込んで治療を受けて貰ひたいと

初音町の夫人殺し 下郡有罪と決定す

昨年十月朝鮮から押送取調中 けふ豫審終結公判に

過ぐる昭和二年の秋、殘虐な殺人事件として市民に多大の恐怖を與へた市内初音町南滿工業專門學校教授小河内星男氏夫人ハマ子、當時(三〇)殺しの犯人容疑者として昨年十月平壤警察署より大連地方法院に押送されて來た原籍大分縣北海部郡佐賀關町、當時市内西通一〇二番地蒲鉾商西村松藏方店員下郡春二郎(三〇)は、爾來川畑豫審判官の手で豫審續行中のところいよ〳〵七日午前十時豫審終結、有罪と決定し强盜、强盜致死、橫領、詐欺、竊盜、背任の罪名で公判に附せられた(寫眞は下郡春二郎)

逃走を發見され 絞殺暴行す

犯行後平氣で蒲鉾店で働き 潮時を見て高飛び

嫌疑人と決定した下郡春二郎は昭和二年八月より市内西通西村蒲鉾店の信濃町販賣店の販賣主任として雇はれてゐたが、豫審決定書に現はれた小河内工專教授夫人殺し當時の模樣を見るに、同年十月二十八日平和臺栗田次郎方に蒲鉾の配達を終つての歸途、同町二番地南滿工業專門學校教授小河内美男氏宅前に來り同家を覗くと急に竊盜がしたくなり、裏口に廻つて勝手口より家内に忍び入り應接間の机の抽斗から赤銅側時計、銀側ストップウオッチ一個を竊取し逃走せんと廊下に出たところ、小内山夫人ハマ子に發見され **格闘中** 急に劣情を起して布切れでハマ子の兩手を縛り上げたが、なほ抵抗するので勝手口より食堂に通ずる廊下に突き倒し布切れを頸部に卷きつけて絞殺し、遂に暴行の目的を遂げ死體はそのまゝにし、裏口から何喰はぬ顏で西村方に逃げ歸つたものである、それより春二郎は全市警察の大活動をよそに信濃町販賣部で眞面目に仕事に從事し、巧にその筋の目を晦ましてゐたが昭和三年二月ごろ世間の騷ぎもどうやら靜まつたのでこれを潮時に大連から逃れんと同月廿五日かねて **橫領し** ゐた店の金を攫んで朝鮮に高飛びしたのであつた

彼は性來の遊蕩兒

重ねた罪の數々

夫人殺し春二郎は性來の遊蕩兒で西村蒲鉾店に雇はれ中、昭和二年十月ごろから翌年一月までに前後數十回に亘つて賣上金および集金中より約一千圓を橫領し遊興に使ひ果し、なほ三年一月四日市内壹岐町井上和助方で主人の使ひの如く裝ふて四十圓を借用騙取し、越て二十一日市内信濃町市場下村正夫方でも同樣手段で四十圓を詐取してゐる、更に工專小河内夫人を殺害し朝鮮に高飛びしてからは生活に窮し各地で竊盜および詐欺を働き、昭和四年七月六日朝鮮平壤府內賑町遊廓 **文明樓** こと小山永次方で十四圓七十錢の無錢遊興をなし、賑町警察派出所へ自首して出たものである、當時春二郎は惡運の盡きと見てか、平壤警察署の取調に對しても今日までの積惡を逐一自白し、更に上郡山大連署刑事の手で大連地方法院に押送されて以來豫審廷においても罪の一切を自白し法の裁きを潔く受けると豪語してゐるさうである

『久米正雄を暗殺』

深刻な世相に麻雀趣味の鼓吹 怪しからぬとAKに凄い電話

【東京特電七日發】六日午後六時から久米正雄氏が東京中央放送局で「麻雀と人生」なる題のもとに麻雀趣味に關する放送をせんとしてゐた矢先突然放送局多田講演部主任に「この深刻な世相に麻雀趣味を鼓吹する如き放送は怪しからぬから久米正雄を暗殺する」と物凄い電話をかけて來たものがあつたので、放送局では大いに驚きその男の名乘つたところにより日本橋區瀨戸物町佐藤寬治につき嚴重取り調べたが判明せず、當の久米正雄氏は正私服巡査多數に護られて漸く放送を終つた

同志社大學 柔道部來征

關西の大學專門學校の柔道界に雄姿する同志社大學柔道部は同大學先輩大每支局員今尾登氏の斡旋に依り滿鐵柔道部の招聘に應じ八月五日神戶出帆のばいかる丸で八日着連することになつた、一行十五名は同校教授藤田義彥氏、師範田畑昇太郎八段に引率され七日旅順見學八日大連に於て試合を行ひ奉天撫順に於て一戰を交へ長春ハルビンを見學のうへ陸路朝鮮經由歸校の筈であるが、一行は左の如くである

▲部長藤田義彥教授▲師範田畑昇太郎八段▲選手三段林義雄、黑川博、二段二宮武雄、福島晃一、木下銳五郎、初段川合新司、春名齊、金岡初雄、森口榮一、永谷光雄、綱島光男、一級石田重内、上田千代次、上田三郎、名倉彥一

許嫁なしと素見され阿片自殺を圖る

市內王陽街一一三番地宿屋業王家泰の長男王先再(二七)は六日朝友人と共に附近の氷店において會飲中お前の弟等は皆んな許嫁があるのにお前のみは許嫁がないのは男として意氣地がないではないかと友人より素見されたのを悲觀して、同日歸宅後阿片を嚥下して自殺を圖り苦悶中家人に發見されて直ちに同議病院に收容し應急手當の結果生命は取止めた

大連運送業組合內の不正事件不起訴

多大の疑惑をかけられてゐた大連運送業組合內の不正事件は春木檢察官代理の事で連日山根理事長以下關係者を召喚取調中であつたが犯罪となるべき證明なく七日不起訴處分となつた

線路に轢死體

七日午前四時十五分大連驛發第七三列車が大連驛から三キロ沙河口驛附近を進行中線路附近に支那人の轢死體あるのを機關士が發見、この旨沙河口署に屆出でたが右支那人は年齡廿七、八歲白ズボンをはいてゐるのみで懷中には何物もなく、六日午後十時ごろ同所通過の下り列車から飛び降りた無賃乘車者ものらしく目下身元取調中

艶色生膽祕譚 (165)

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

哀別(一)

「あいつア、御存知の通り足疾自慢の男でさア、とつくの昔小屋へゆきついてるか知れやせん」

反つて重五郎は左近を慰めるやうに云つた。

「さア、さうであつてくれゝばよいが」

「とにかくお伴しやせう、いつまでもこゝいらにまごついちアゐられませんぜ」

「それもさうだ」

大刀を鞘ぐるみ、杖に突き、やつと身を起したが、忽ちうづく脚の痛み……

「あッ、痛ッ……」

「や、御脚を怪我なさつたか、こいつア弱つたな」

重五郎は心配さうにのぞきこむ

「なアにたいしたこともあるまいて……」

左近は齒をくいしばり、痛みを耐へて歩きだした。

「ええ、そいつア無理だ、さ、あつしの肩におつかまんなせえ、とにかくブラ／＼ゆきやせう、反つて夜が白むでくりやアまた云ひぬけも出來ますが、恰度こゝいらは奴等が關路、うかつにとがめられたらひでえ眼にあつちまふ」

年は老つてもガッシリした重五郎の體軀、たのもしげな幅廣の肩に、左近は全身を託して歩きだした。

「重五郎どの、三藏とはどう云ふ御縁邊かな?」

まさかに三藏が生命までもと打込んだお染が重五郎の養女とは知らなかつたからである。

「義理ある仲でさア」

重五郎は重く答へたが、どこかに云ひ足らぬらしい口吻。

「して、三藏が卅年の月日一度も逢ふたことのない生みの母とやら?」

「宵のことで、實アあつしが三藏の野郎、他の見る眼もみじめなほど母親に逢ひたがつてゐますんで、つい心當りをつきとめてゆくてえと、やつとのことにさがしあてたて譯で」

「ほう、どう云ふ御婦人かな?」

「……ええ、旦那樣、さう根に葉と問ひつめられちやア、もうこの上默つてもゐられねえ、何もかもぶちまけちまいやせう。きいておくんなさい」

重五郎はポツリポツリと唇を開いた。

それによるとこの重五郎、三藏の父親であつた。

つまりは重五郎と妖婆お力との間に生れたのが三藏、夫婦ともども御嶽にこもり行をつづけてゐる留守の間に、嫁のお力を追ひだしにかゝつた重五郎の兩親つまりは三藏の祖父母、神かくしにあつたと隱れて三藏を他村へあづけてしまつたのである。

處がこれを信じた重五郎お力の夫婦は、家に居耐れぬ辛さに加へて、三藏の行衛さがしもありかたがた家を捨、郷國に背いて旅に出たのであつたが、ついしたはづみで夫婦の間にもひびが入り別れ話となつてしまつた。

で、それから三十年の歳月、重五郎は甲信の山々かけて獵師生活も營んで居り、その間には三藏ともめぐり逢ふ機會も再三あつたが明らさまに親の名告りも出來ずにゐたわけ、その揚句がお染と云ふ養女あいてにこの十年江戸に出で猿芝居の太夫元として糊口の途を講じてゐたのである。

「そのお力が、まさかに御嶽で修業した口寄せを商賣にしてもゐまいと考へたがあつしの落度で、處が旦那樣、今日も今日、午さがりにヒョンなことからやつとお力の在所つきとめましてな、三藏めに別れて卅年夫婦が別れて卅年いまとなつちやア二昔三昔前のいざこざも忘れ、お互どうでたより少い身でさアね、せめては親子の名告りをしあはうと……、旦那樣御覺なすつて、年を老つたせいか、やたらに涙もろくばかりなつちまいやして」

重五郎は泣いた。

「縁邊も縁邊、三藏が生みの親とは驚いたなア」

左近はかうしためぐりあいを涙ぐましく且また羨ましくさへ感ずるのだつた。

「ああ、それに比べると、俺などは、骨肉相喰む鬪爭のみつゞけて來た」

われとわが身を顧みれば傷だらけで、血まみれな、姿をまざ／＼見るが如く、驚かずにはゐられなかつたのである。

キネマと演藝

大日活に集る人氣　本社の映畫會

花形俳優片岡千惠藏主演の「風雲天滿草紙」に集る人氣と本紙連載中の映畫物語「この母を見よ」をスクリーンに見る興味によつて本社主催の大日活に於ける「この母を見よ」の會は初日以來大入滿員の盛況をつゞけ好評を博し、殊に女性間に異常なセンセーションを巻き起しつゝあるが、本紙讀者は刷込みの優待割引券を利用されたい

帝キネ問題はその後この頃の天氣のやうに一向ぱつとせないが▲吉田氏も既に大阪から歸り木村帝キネ事務長も昨日の船で歸連した▲その話によると矢張り一時保留であるが、結局は麗館に行くのでないかと見られてゐる▲近く來演するスズラン座のレヴュウ團の第一回公演曲目は「忠臣藏」二十四景が呼び物▲そして約一ヶ月滯連して次から次へと新しいものを公演してふんだんにレヴュウを見せると

大連棋院臨時稽古碁戰

四段　都筑米子女史　五子　鳴尾直人氏

○一ハの六　●二への四　○三トの十六　●四ニの十四
○五ハの十二　●六ホの十三　○七ホの十二　●八への十二
○九ホの十一　●一〇トの十四　○一一ルの十七　●一二ヌの三
○一三レの十四　●一四タの十四　○一五タの十三　●一六ヨの十四
○一七レの十三　●一八レの十六　○一九レノ十　●二〇カの十六

▲四段都筑米子女史講評　黒十八(い)に打つ方がよろしい　黒二十は此場合にては(ろ)の處がよろしい

◇◇都會双曲線◇◇

都會に出て來た青年男女が都會の凡ゆる感觸に生活する樣を描いた林房雄の小説を帝キネが高見貞衛が監督映畫化したもので「何が彼女」に次ぐ前衛映畫として宣傳されてゐる【演藝館上映】

遠山滿の小劇場　再連して組織

目下沿線巡業中の劔劇遠山滿一驚は旅順奉天長春を經て五、六日撫順、八、九日安東、十、十一日平壤、十二日より十八日まで京城に出演し釜山打ち上げ後、再び來連して一時休養の上、座員の一部分を以て小劇場を組織し公演するとのことであるが、小劇場の內容その他は一切不明であるも小劇場運動を興すものでないかと見られてゐる

大連　JQAK

七月八日午後七時三十分

▲ラヂオ體操
▲支那語講座(初等第五課)滿鐵學務課秩父固太郎
▲講話(人物觀察方法に就て)公正社長兼井林藏
▲オーケストラ(一)夕の星歌劇タンホイゼルよりワグネル作(二)バグダットの酋長序曲ボイエルデー作ヤマトホテル管絃樂團
▲長唄(娘道成寺)(唄)杵屋榮多賀(三味線)深野ひな子(三味線)河野ゆき子
▲支那唱(趙五娘)(唄)齊蓮香(師付)王振泉
▲料理獻立
▲天氣情報

異常な期待裡にけふから滿洲見本市蓋明く

早朝より續々押寄する被招待者　何れも自慢の陳列品

日滿貿易並に滿洲商業界の取引改善上特筆大書すべき第一回滿洲見本市は異常の期待裡にいよいよ今七日より華々しく開かれた、此の日、朝來雨模樣であるが招待された二千五百餘名に上る全滿及北支の有力商人達は八時の開市を待ちかねて續々つめかけ、十一時頃には早くも日商七百八十名、華商二百四十名に上る、準備全く整つた大連取引所、商工會議所の兩會場は三府、一道、二十五縣、一州の自信ある出品物、約六七萬點にて五百の小間をうづめつくし、各府縣それぞれ凝つた意匠のもとに陳列され、贅澤品や日用必需品の殆ど總てを網羅してゐる、會場を一巡すれば綿密にゆつくり下見してゐるもので各小間とも充滿し、商談室や各小間の商談卓等は何れも殆ど總てが使用され商談を進められた

大藏理事參觀

大藏滿鐵殖産部長、武部同次長は七日午前八時滿洲見本市第一會場に到り、神成輸組聯合會理事長案内のもとに約三時間を費して各小間を綿密に見廻り、理事長や各府縣團長と腑に落ちるまで質疑應答するといふ熱心振りであつたが八日は第二回會場を參觀すると、なほ神田民政署長を初め各方面の有力者も參觀した

豫想よりも成績は良好か

賣手買手の批評

元來第一日並に第二日の午前中位は見本につき買手の愼重な比較研究が行はれるので七日午前中の釣上高は少額であつた、然し一般の觀測によれば豫想より餘程活氣あり、買氣相當に潛在してゐると謂はれてゐる、有力筋の賣手及買手達の談話を綜合すれば左の如し

賣手側　萬端行屆いてゐて結構です、一例を申せば内地の見本市と違つて船車割引券や徽章などが前以て送附された事なども小さな事の樣ですが我々としては氣持よく乘込めました、强いて不足を申すならば小間が狹隘なのが苦痛です、大阪あたりは收容しきれずに倉庫に入れてゐる見本が少くありません、商談室も結構ですが小間内に帷を樣にしてあるのがよろしいですそれでその内でゆつくり話せるたれてバラツク式でもいゝからもつと廣い會場を歡迎します、それから買手の銓衡も隨分苦心されたと聞いてゐますが我々の大切な得意先中には隨分洩れてゐる向きがあります、一例を擧ぐれば安東には四、五軒の有力な金物商がありますがその中一軒しか招待されてゐません、今日は下見日ですが相當買手があるやうに見受けられ喜んでゐます、

買手側　貴紙の報道により大いに期待してやつて參りましたがその期待が裏切られなかつたのを喜びます、我々商人にとりましては絶好の機會が與へられた譯で、從來の見本市と違つて各府縣ものを自由の比較研究することが出來るので、意外に割安で品のよいのを發見し直接取引が出來ます、自分の取扱品はいふまでもなく、その他の商品についても實物を前に種々の知識等を身につけることが出來ます、それでいろいろの事情のため取入れない向きがあつても、得るところの無形の利益は決して少くないでせう

滿洲見本市

寫眞◇上＝陳列場に於ける參觀者　下＝參觀中の大藏滿鐵理事(中)武部殖産部次長(右)並に案内中の神成見本市總務部長

滿洲(四)見本市前書

雜觀的批評と希望

最も肝要なことは約定がスムースに履行されるといふことである約定高の豫想については今回の開市が計畫發表後期間が短かつたこと、銀價慘落のため華商方面の約定が殆ど見込まれぬこと、不景氣が深刻なるのみならず物價低落の一途を辿りつゝあること、從來の取引關係を俄に絶ち難いこと、滿洲見本市の先廻りをして買込に力めた筋が多いこと等々の爲に十人十色で殆ど豫想立たぬが、恐らく試驗仕入が多く約定高は餘程少なからうといふ點に於ては殆ど一致してゐる、無論主催者や後援者方面でも約定高の多少は初めから問題とせず、專ら滿洲見本市の宣傳に力め取引の圓滑を期することにより見本市の信用を築くことを主眼としてゐる、かくて成績如何は約定等によらず、約定が圓滑に履行されたかどうか、少量でよいから試驗仕入品が多種にわたつたかどうかといふことによつてのみ測定されねばならぬ

◇

從來の個別見本市の成績を徵するに府縣廳の内務部長や關係課長等が附添ひ來り、地元の輸入組合あたりでも相當努力したのに拘らず見本と現物の相違、發送期日の遅延、荷造の不完全、値下り等のため受荷拒絶、支拂の不首尾等トラブルが甚だ多いのに惱まされた、これには種々の原因があるであらうが、一般關係者が見本市に訓練されてゐないこと、内地の見本市と違つて從來殆ど取引がなかつた當事者間に約定成立すること(これは滿洲見本市においても同樣である」なども有力な原因として擧げることが出來る、そしてトラブルの原因は半ば賣手側にあるのだから强ち買手側の素質のみが惡いとはいへないやうだ

◇

されば滿洲見本市に於てはこの點に熱心な考究を加へ、千名以上に上る輸入組合員に對しては組合を經由して成約した取引に付てのみ組合が責任を以て約定品の受渡及び代金の取立をなすことになつたからこの分は先づ心配はない、次に組合員外の約定に於ても輸入組合を經由したものに對しては買主を支拂人とする代金取立爲替手形及び貨物引換證を組合宛送らせ買主は組合理事と其仕拂方法を協議決定し貨物引換證を組合から受取ることになつてゐるので、これも相當の效果があるのだらう、その他賣手買手共各地別に團長制度を採用して取引上のアドバイザーたらしめてゐるが實際のところ賣商人の取引に關しては有効な策がないのが事實である

◇

そこで日華商の何れを問はず取引當事者は時節柄、思惑乃至は投機的商法を用ひず、最も愼重な態度で堅實に約定し、專ら誠意を以てこれが履行を果すと同時に主催者側並に各地團長は公平な立場において取引の遂行に盡力せんことを望んで已まぬ、半公的取引場裡に於て敢て不信行爲の暴を犯さんとするものがあるならばその人は先づ已の信用が地に墜ちることを覺悟せねばなるまい

◇

最後に滿洲見本市界は今や滿洲見本市によつて統一されたが必要あつて本市利用のほかに開市せんとする向きがあるならば、それは決して拒まるべき性質のものでない、滿洲見本市主催者側に於ても府縣主催と個人主催とを問はず從前通り斡旋する方針であると聞及んでゐることを一言しておきたい(完)

三省製粉業者聯合大會

窮狀打開協議

ハルビンに於ける支那側製粉工場の同業者は哈大洋票の暴落と財界不況に東三省同業者の聯合を必要として來る二十日東北三省の製粉業者聯合大會を開催し現下の窮狀から如何にして局面を打開するかの協議をすることになつた

哈大洋票市價維持策發令

哈爾賓大洋票の市價維持策のため金票の抵制を唱へ、金票は貯藏せぬこと、一切の取引は哈大洋票とすること、若し投機的に哈洋の暴落を計畫するものあれば直に處罰する旨の通令を總商會に發した

大連港の貿易激減を來す

銀價暴落の祟りに華人の購買力減で

六月中の大連港貿易は輸出一千六

分八厘弱の著るしき減少であるが更に本年上半期中の貿易額を見るに輸出一億五千百八十六萬四千圓輸入一億百九十四萬八千圓、合計二億五千三百八十一萬三千圓にして、前年上半期に比ぶれば輸出四千一百六十七萬八千圓(二割二分)輸入五千二百七十九萬八千圓(三割四分一厘强)合計九千四百四十七萬七千圓、即ち二割七分强の減少にして特に輸入貿易において激減をみた、而してこれは一般財界の不況と見るべきも、銀價暴落による支那側購買力の減退にその主因を置くべきと見られてゐる

六月中大連港貿易(單位金圓)

	本年六月	昨年六月
輸出額	一六、五五九、六七	一六、一四、五〇四
輸入額	一一、三三〇、八四〇	一三、一六九、五三四
合計	二七、八〇七、五〇七	三二、三八〇、〇三八
前年に比し減	四、五七二、五三一	

上半期大連港貿易(單位千圓)

	本年度	前年度
輸出額	一五一、八六四	一九三、五四二
輸入額	一〇一、九四八	一五四、七四七
合計	二五三、八一三	三四八、二九〇
前年に比し	九四、四七七	

發達せしむべき滿洲の重要工業

紡績、製麻、毛織、柞蠶の分　經調小委員會答申書

(二)

而して之等工業會社の使用原料關係を見るに大連絨毯製造所、滿蒙毛織會社、富士瓦斯紡績會社、安東柞蠶工場は其の一部又は全部の原料を滿蒙産を用ひ、滿洲製麻及奉天製麻會社も原料の一部を滿洲産に仰ぎ滿洲紡、滿洲紡績及内外棉の各會社は現在としては多からざれども其の原料に滿洲産棉花を混用し逐年使用量の漸増を見るべき狀勢に在り

更に叙上工業會社の製品販路に付之を考察するに大連絨毯製造所、滿蒙毛織會社、滿洲紡績會社、奉天製麻會社は其の殆んど全部の製品は之を滿洲に滿洲紡、滿洲製麻會社は製品の一部を日本内地、朝鮮及臺灣に仕向けらるゝも其の大部は之亦支那を主たる販路と爲し居れり次に富士瓦斯紡績、安東柞蠶工場及内外棉株式會社の製品は極めて少量の製品を滿洲に於て賣捌く外印度地方に仕向け居るも内外棉の如きは元々滿洲の市場を目當に企業したるものなるを以て關税其の他販賣條件の好轉を見んか何時にても其の製品市場を滿洲に轉換するの用意あるものなり

且又以上製品の需要地に於ける將來消費の消長如何を觀るに支那に於ける綿織物の消費量は一人年當り平均一圓十六錢にして之を世界人の平均額二圓四十錢と比較せば尚未だ低位に在るを以て支那人の消費が將來世界人の平均額に達するものとせば其の需要激増の途に在ると見て不可なかるべく滿洲に於ける製麻工業は主として穀物用容器たる麻袋を製造し居るものなるを以て本品の需要に付その將來を考ふるに滿洲未墾地の開拓其の栽培技術の進歩等は相俟つて穀類の増收を來し其の容器たる麻袋の需要を將來一層喚起すべきは自明の理なり

更に毛織物の需要に在りては最近支那服地として毛織物の優良なることを支那人間に認めるゝに到り其の需要頓に増加し來れると雖現在日本に於ける毛織物の消費量一人當り一年三圓なるに對し支那人は僅に十錢に過ぎず將來支那人の毛織物の需要が如何なる程度に普及するやは豫斷し難きも現在の情勢を以てせば支那に於ても絹綿布の領域を冒し相當莫大の需要を喚起すべきは推知するに難からざるを以て之亦製品の需要漸増すべき商品たるを失はず次に柞蠶工業を觀るに目下に在りては富士瓦斯安東工場に於ては柞蠶紡紬絲以外他に製産なく而して支那に於ける柞蠶絲の需要は年々漸増すべき見込ありと云ふを得ざるも印度に於ては歐洲よりの輸入品と對抗し其の聲價を認められ居るも更に製絲技術の進歩と相俟つて同地に於ける需要の漸増すべき確信あり

展覧會記念押印

大連局で六月二十八日から七月六日まで開催した遞信展覧會の記念日附印の消印數は郵便局で押捺したもの一千八百六十三、記念消印のため押捺したもの八千五百四十六、合計一萬四百九であると

黄塵

◇…滿洲見本市開かる、出品者は三府一道二十五縣一州の當業者五百餘名、出品點數八萬點といふ空前の盛況である。

◇…今回の見本市は從來の個別的群小見本市を綜合統制した最初の滿洲見本市として極めて意義あることである。

◇…吾人は滿洲見本市が將來日滿貿易に對して重大なる役割を演ずるであらうことを信じて疑はぬ共に回を重ねる毎に名實共に國際的見本市として發達飛躍せんことを希望しておく。

市況

特産　大豆反落　仕手關係で

頃日來大豆は續騰を呈しつゝあつたが今朝は專ら仕手關係で反落を呈した、高粱は人氣引き立たず商内薄にて無味閑散なる場面を辿りて大引

◇定期前場(銀建)

▲大豆(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇
八月末	八三〇	八三〇	八三〇	八三〇
九月末	八三六〇	八三六〇	八三〇	八三四〇
十月末	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇	八〇〇〇
十一月末	七七〇〇	七七〇〇	七六九〇	七七〇〇
出來高	二百五十八車			

▲普通大豆　出來不申
▲豆粕(區々)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	二六三〇	二六三〇	二六三〇	二六三〇
八月限	二六三〇	二六三〇	二六三〇	二六三〇
九月限	—	—	—	—
十月限	—	—	—	—
十一月限	二五四〇	二五四〇	二五四〇	二五四〇
出來高	二萬二千枚			

▲豆油(保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
七月限	一四〇〇	一四〇〇	一三〇〇	一三六五
八月限	一三九五	一三九五	一三九〇	一三九〇
九月限	一三九〇	一三九〇	一三九〇	一三九〇
十月限	一三八五	一三八五	一三八五	一三八五
十一月限	一三一〇	一三一〇	一三一〇	一三一〇
出來高	一萬三千箱			

▲高粱(軟調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
七月末	五三一〇	五三一〇	五〇八〇	五〇八〇
八月末	五三〇〇	五三〇〇	五一〇〇	五一〇〇
九月末	五一三〇	五一三〇	五一一〇	五一一〇
十月末	四九八〇	四九八〇	四九七〇	四九七〇
十一月末	四六八〇	四六八〇	四六三〇	四六三〇
出來高	二十二車			

▲包米　出來不申

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保(袋込)	八二〇〇	八二四〇
大豆(裸物)	—	—
出來高	三十五車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	二六三五	二六四〇
出來高	四萬枚	
豆油	出來不申	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

定期喰合高(五日暇入)(前日對比較 △印減)

大豆	二〇八一車	九九車
高粱	七七一車	三九車
豆粕	三八六千枚▲	九十枚
豆油	一〇四〇〇箱	五百箱

錢鈔　銀塊安標金高　鈔票弱氣配

今朝の海外材料としての倫敦銀塊は十五片十六分の九と(十六分の一安)先物は十五片二分の一と(同事)紐育は三十三仙八分の五と(八分の一安)孟買は休み、滙申は七十三兩五七五、大洋は九十八圓丁度、日米は四十九弗八分の三と(同事)米日は四十九弗十六分の七と(同事)米英は八十六仙十六分の七と(十六分の一安)米支は三十六弗十六分の九と(十六分の三安)上海標金は六百五兩丁度とよりアト上伸し六百十一兩二と止める當市の銀價は弱氣配に推移した

◇定期取引(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
近期	五四二〇	五四六〇	五三八〇	五三八五
遠期	五四二〇	五四五五	五三八〇	五三八〇

出來高(期近二百八十四萬圓　遠期二百三十八萬圓)

◇現物取引(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	五四三五	一二七〇	二三〇〇
十時	五四五〇	一二七三五	二三〇〇
十一時	五四三五	一二七四〇	二三八〇
十二時	五三八〇	一二七二五	二三六五

出來高(銀對金十萬九千圓　銀對洋一萬七千圓)

商品　前場

麻袋(氣迷ひ)　產地は青十六分の十三高鐵四分の一安と區々を入れ銀塊十六分の一安銀票低落に地場氣迷ひ濃厚にて依然手合せなし

綿糸(軟弱)　米棉休會銀塊十六分の一安大阪三品前場寄各限二圓方下放れ引ボンヤリにて當市先物…

市場電報　七日

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一五片一六分九
同　先物	一五片二分一
紐育銀塊	三三仙四分三
孟買銀塊	休會
英米爲替	四弗八六仙十六分七
米日爲替	四九弗十六分七
米支爲替	三六弗十六分七

棉花

●米棉(換算)

現物	休會
七月	—
十月	—
十二月	—
一月	—
三月	—

●印棉

ベンコール	休會
ヴローチ	—
オームラ	—

株

休日明けの大阪は鐘紡の一圓九十錢安を筆頭に諸株共軟弱を示し新東短期の寄もボンヤリを入れたので地場も氣乘らず無味閑散の場面を呈した▲財界安定策も何等効果なしと見縊られて了つた形で人氣は再び氣迷ひ濃厚を加てゐる折柄海外材料皆惡く更に内には生糸の慘落綿糸の依然たる軟調を眺めて株式も再び脆弱性を加へて來た▲結局は新東の如きも敢派の目標以上の凄い深押しをみせなければこのまゝで立直りは困難ではないかと考へられる、▲連日チリ貧的商狀を辿つてゐるが上旬貿易でも依然として入超を示すにおいてはいよいよ深刻なところを見せなければ納まるまい。

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	十月限	一二二〇	一〇〇
同	十一月限	一二一六	二〇〇
同	十二月限	一二一四	一〇〇

出來高　百三十梱

豆

休日明け今朝の市場は概して各品共に人氣引き立ず殊に高粱は無味閑散なる場面を辿つた▲大豆は歐洲方面の買氣ありて續騰を呈し五日は當市場開始以來の新高値に躍進したが今朝は專ら仕手關係にて反落を呈した▲しかし弗々乍ら歐洲方面では買氣がある模樣であるから銀の弱氣配出迴減少等も手傳ひて目先き强氣配と一般に觀測されてゐる▲豆信新事務田村君も良い頭の持主であるがこの手數料問題には今後相當弱らせられることであらう▲しかし氏の手數料問題に對する考へは—要するに會社は取引人と共存共榮で行かなければならないから額をしめてまで取りたくないものである自己のことばかり考へてゐる株主には良藥口に苦しだ

—▲この意見はたしかに立派なものである

銀

海外材料としての銀塊は一齊に低落し又上海標金は買氣あり好調を呈した▲地場鈔票は銀塊安、標金高を眺め弱氣配に推移した▲銀塊は依然大勢弱氣配で一服後尚安見込みであり上海では最近金現物の密輸出多く標金先行高豫想であるが此弊一氣に暴騰するかは疑問である▲從つて地場鈔票も先行き弱氣配に推移するものと一般に觀測されてゐる▲手數半減問題につき信託及び取引人の意見は先日記載したごとくであるが信託では相當研究もしたし又高崎事務の腹も決まつたから最近重役會大株主會を開きたる後取引人と懇談をなすそうだ▲しかし取引人組合では組合長選擧後相當の日數を經過するが赤塚氏はいまだに確答を與へないので相當不平の聲を耳にする、早く確答を與へては如何

株式　内地株不冴　地場も凡調

北濱前場寄は大株九十錢安大新二十錢安鐘紡一圓九十錢安鐘新一圓五十錢安を示し新東短期の寄も十錢安と不冴えを入れて地場も氣乘…

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株	六〇三〇	六〇二〇
大新	四四一〇	四四〇〇
東紡新	一三〇一〇	一三〇〇〇
鐘新	五三二〇	五三二〇
日郵	三九一〇	—
東新	八四六〇	八四九〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東株	九六八〇	九六七〇
東新	八四四〇	八五四〇
五品(當 中 先)	—	五品
豆新(當 中 先)	—	—
同(短期)寄値	東新 八五二〇	—
引値	八五二〇	七一二〇
高値	八五五〇	—
安値	八四九〇	七一〇〇

前場

◇定期

らず現物の大新同事新東二三十錢安新豆十錢安五品は保合出來高期八十枚現物四百枚

後場(保合)

滿鐵株(軟弱)

▲東短前場　▲滿鐵新株二十八圓十錢　▲大阪現物　▲鐵舊株五十九圓

上海爲替情報

【上海七日發電】銀塊下げ不足と銀輸入課税傳はり、金恒興賣りも賣あと突込みしも、標金現物、津及び日本へ密輸出出來ると噂れ、福昌、信孚、元茂永外大手よく買ひ、あと恒興の買ひマバラ前れ出で、爲替との鞘、四十二兩に縮小す、爲替は三井圓七月百十五兩四分の一買ひ、チリ高より三井圓八月百三十六兩、磅九月片丁度賣りに、爲替標金共あげ引り、引氣配氣迷ひ乍ら爲替稍弱含み

定期現物合計　株式出來高(七日)　一六〇枚　七四〇枚　九〇〇枚

上海標金　寄付　六〇五兩

為替相場(正午七日)

高値 六一一五兩　安値 六〇二兩　大引 六一一四兩二

奧地市況(七日)

錢鈔

特產

大阪期米　東京期米　大阪綿糸　大阪棉花　横濱生糸　神戸豆粕　印度麻袋

滿洲日報

CALIFORNIA
SUN-MAID
SEEDLESS
RAISINS
一握の
サンメード乾葡萄は毎日消耗せられるエナージーを補ひ鐵分を吸收して汚れなき血液と化す
魚肉も必要なり、牛肉も野菜も飯もパンも卵も必要なり
されど
サンメード乾葡萄は必ず毎日一回は一握づゝ攝取せらるゝを要す

社說 時代思潮に對する抗議

何といふ、あわただしい世の中ではないか。ただ〳〵外形客觀にのみ囚はれ、われ〳〵の精神生活にも稀薄に傾きつゝあるのを痛感せしめられるのである。勿論、人間といふものは、霞を喫つて生きてゐられるものでなく、大地を濶歩して行かねばならぬのであるから、また日進月歩の科學の進歩、極言すれば、いはゆる物質文明のうちにあつて生存し、否、生活して行かねばならぬのであるから、主觀の心境を、外象に驅使せられることのあるのは當然である。否むしろ物質文明、科學文化を使役して、主觀客觀の調和點に、吾人の存在を意義あらしめねばならぬのである。進化といふものが、螺旋形的に展開するものとせば、一昂、一低、ある時代には物質的に、またある時代には精神的に、原因が結果となり、結果が原因となつて次ぎから次ぎへと文化の進歩を示すのが原則といへる。

◇

今日の世界人類の文化は、物質科學的に行きつまり、その反動として歐洲大戰なるものを惹起し、機械的文化のみの、如何に危險なるかを實驗した後のこととて、精神的に、相當の對物質文化が反動し來つて然るべしと信じてゐるのである。然るに現實は如何。歐洲大戰の對物質的反動は、依然として淸算せられず、今日なほ反動に反動しつゝあるかの如きは、吾人の現に目擊しつゝあるところといはれぬことはない。近時、一種の流行となつてナンセンスの思想系統を檢討することにおいて、反動に對する反動の、やゝ少しく方向を轉換したかに見ゆるが、とにかく依然として物質文明の壓力に堪ゆること能はず、ただ當面の糊塗として社會的ナンセンス、一種のナンセンスなる人生觀を構成しつゝあるものなることを認めざるを得ぬのである。

◇

經濟上よりするも、歐洲大戰當時の好況時代に反動し、今なほ波瀾重疊といふやうな現象を呈しつゝあるのである。而して失業苦、就職難の問題は、右の如き反動に幾重もの附滯反動を惹起し、殆んど自己を顧み、主觀を反省するといふやうな餘裕なく、ただ盲目的に反動に反動し、つひに一種の輕いアキラメから無價値、無意義なるナンセンスの人生觀を發生し、その人生觀から社會觀を構成し、つひにナンセンスの時代思潮を構成するに至つたものではあるまいか。この思潮の表現として、今日の如き時代世相、ざわ〳〵した、何となくあわただしい社會相を現出するに至つたものではあるまいかと觀るのである。われ〳〵は哲學者にあらず、また哲學者であつたにしても、おの〳〵その人生觀なり、世界觀なりは同一た譯でもないのである。まして況んや吾人は、ただ時代の思潮の流れる方向によつて、今日の世相が、果して如何なるものなるか、その源流を知らんと欲するのみである。

◇

然るに現實の世相は、餘りにも安價な、また餘りにも無價値なる反則的アキラメによつて、殆んど否定的、否、瞬間的なるナンセンスによつて當面の滿足を買はんと欲するものの如きを獵取せしめられるのは、歐洲大戰の反動としては、餘りにも無反省、無定見なる反動ではあるまいかと、心ひそかに寂しさを感ぜざるを得ぬのである。吾人は常に、社會の進歩、人類の進化を信じ、過般のロンドン海軍條約の如きも、その進化進歩の一ツの表現として、最も意義のあるものと做してゐるのであるが、それにも拘らず、昨今のジャズ的の人生觀、ナンセンス的の社會觀が、われ〳〵の構成しつゝあるところの社會觀・世界觀であるといふことになると、すこしくモノ足りなさを痛感せざるを得ぬのである。われ〳〵は、必ずしも唯神論者にあらず、また主觀のみを充實して滿足せんと欲するものでもない。いはば物心併立論者である積りである。すこしく不徹底の感はあるが、然るに昨今の社會思潮を凝視したときに、吾人は何か大に考へさせられることがないであらうか、何か大に反省せねばならぬのではあるまいか。すくなくともわれ〳〵の人生觀、世界觀をして、價値あり、意義あるものたらしめんがためには、とにかく、われ〳〵はジャズ的のナンセンス思潮に對し、一ツの大なる抗議を提起せんと欲するものである。

行政經濟化により結局 約六千萬圓の節約實施
實行豫算十五億五千萬圓に切詰 今週中に決定を見ん

【東京電七日發】本年度實行豫算行政經濟化につき大藏省側の原案を各省に內示して以來既に一ケ月を經過し、その間陸海兩省を除いては各省共に大體原案に近い節約額を承認し之等各省の內には既に節減された支拂豫算を實施してゐるものさへあるが、唯陸海兩省においては大藏省側の要求に近い節約を承諾しないため今年度より豫算の所謂行政經濟化は全體として未だに實施されない貌である然し最近交渉の結果、軍部側の態度も著るしく緩和され漸く讓歩の模樣が見えて來た、即ち海軍側は既に承諾した六百五十萬圓の外、一千五十萬圓の節約を次年度において復活する條件の下に承諾せんとするまでに折れてゐる、又陸軍側でも七百三十萬圓の節約の外に相當の繰延を增加せんとする態度を示して來た、斯くて茲數日中には軍部側との交渉纏まれば全額としても行政經濟化も今週中には實施できる形勢である、從つて本年度實行豫算の節約額は原案の八千一百萬圓に對し、約六千萬圓程の節約を實現し得べく、本年度の一般會計實行豫算額は結局十五億五千萬圓程度に切り詰める事ができるであらうと見られてゐる

七百五十萬圓以上の 節約は不能
陸軍省議で決定

【東京七日發電通】陸軍省では七日午後省議を開き本年度豫算節約につき協議した結果結局七百五十萬圓以上の節約は不可能で夫以上を捻出するには非常手段を講ずる外なしと云ふに意見一致を見たが右の非常手段に就ても意見の交換を行つた

說明材料の諒解を得ず 樞府諮詢手續遲る
軍事參議官の諒解が是非必要 首相裁斷注目さる

【東京七日發電通】ロンドン條約案に對する政府の方針は豫て濱口首相の語る如く目下外務省に於て起草中の條文說明書の成案を待つて至急樞府諮詢の手續きを採ると稱してゐるが、其の條約說明書は既に外相より首相に提示されて居り、樞府諮詢には何等差支へなき程度になつて居るもので、政府が此の事に藉口して諮詢手續きを採らぬ裏面には海軍側の準備が意外な暗礁に乘り上げた爲めであることが明瞭となつた、即ち條約諮詢に關する說明材料たる條約兵力量に依る國防計畫等の大綱は軍令部長の更迭に依つて谷口新部長の手に依つて成案を得たのであるが此の案が容易に海軍首腦部の諒解を得るに至らず、東鄕元帥の如きも加藤前部長の意見に贊成し財部谷口兩大將等の元帥會議開催の要請に對し

元帥府會議を開くも海軍元帥は自分一人で而も老齡であるから斯かる重大事項に關しては軍事參議官の意見をも徵する必要があらうとの意嚮を明かにしたと傳へられてゐる、從つて海相は例へ參議官會議の召集を避くるとするも其の諒解を得る必要があり、茲に加藤參議官等の諒解問題が再び重大となつたのである、一面政府に於ても新國防計畫案の大綱も定めず諮

御眞影を傳達
獨立守備隊司令部其他へ

還御村上副官が奉持し歸旅せりたるが獨立守備隊司令部及び第一乃至第四大隊、遼陽、鐵嶺兩衞戍病院等の隔地部隊へは來る十日大連發列車にて夫れ〳〵傳達せらるゝ由

露支會議は何處へ向く
紛爭以來早や一周年

▼…世界の視聽を聳いた露支紛爭が勃發したのは昨年の七月早くも一周年が來た、一九二九年末をもつて終末を告げてから半歲、露支正式會議の支那側代表は既にモスクワに出發して專門委員の顏合せだけで音沙汰がない現狀である、この鐵道問題は如何なる軌道の上を走るのだらう？

▼…ロシヤ政府は昨年七月事件前の原狀回復の旗幟をかざし、事會及び管理局における…

修正國防計畫案も 意見一致せず遂に物別れ
きのふの巨頭會議

【東京七日發電通】時局重大に鑑み財部海相は七日午前八時半小林次官を私邸に招致し時餘に亙り鳩首協議を遂げる一方谷口軍令部長は午前十時部長室に永野次長、及び…

め國防計畫案に更に修正を加ふる事となり、谷口部長は右修正案を携へ七日午後二時より海相官邸に開會された第三次海軍巨頭會議に臨み四時十五分散會したが、…

…を以て樞府關係を益々苦境に導くものであるから首相は海相と此の點に關して協議をなし已むを得ずんば加藤前部長案を以て樞府への說明材料とするかも知れぬと言はれてゐるが、實際實行し得ざる紙上計畫案を說明して樞府が之に滿足すべしとも見られ…

青訓修了者の 特科兵在營年限
短縮實現不可能か

【東京七日發電通】青年訓練所の所管官廳たる文部省では陸軍の特務にも在營年限短縮の特典を興へ度しとの要求を陸軍省になして…陸軍省內部でも二月若しくは…位の短縮は不可能ならずとの意見を有する向もあるが、參謀本部及び敎育總監部では專業工卒を…せぬ限り特科兵の短縮は不可能であるとて反對意見を有してゐるので當分實現不可能と見られて…併し同じ靑訓の査閱に合格し…

加藤參議官と 海相が論戰
加藤大將は國防案の不充分なるを力說す

【東京七日發電通】七日の第三次海軍四巨頭會議に於て參議官より日本の主張は條約兵力量に依つて…到底之を以つてしては到底反對する意嚮を表明し「期し得ない」と主張し財部海相、谷口軍令部長は之に條約成立せる以上は之に國防計畫を樹てるのが…更らに加藤參議官は一の神充計畫だけでは不…

公正會政調 事會

時局對策を懇談
來る十日民政出身の 閣僚と與黨幹部とが

井上藏相 首相に報告
豫算節約の折衝經過に

根本方針は 依然反對
黨統と西山派

海軍條約批准の アメリカ上院議會
きのふ開催さる

八幡製鐵と滿鐵 契約法改更協議
年度契約に改むべく

時節柄經濟しき鐵材のストックに苦む八幡製鐵所は此の際價格の引下げを行つて滿鐵に賣込みの相談をしたものゝ如く傳へられたが事實は先般上京した滿鐵の富永前用度事務所長が同製鐵所との間に購入契約の更改について協議する筈であつたに拘らず種々の都合により其の儘になつてゐたので、今回改めてその協議をなしたに過ぎぬものであると

李軍淄川を占領
韓軍東方へ退却

共產軍沙市 對岸占領
我居留民軍艦に續々避難

秦皇島海關 奉派て管轄

支那側營口に 市場と碼頭

製鋼所問題 關係協議會日取

汪精衞氏の北上 今月末か來月初
改組派の進出等緩和

東鐵の不況
二旅客列車運休

菱刈司令官 初巡視
きのふ出發

奉天取引所 課稅問題
取引人側減休

社員會選擧
新職制で影響

うらる丸の船客

暴風警報

滿日地方版

奉天

支那の勞働賃銀半額に下落
生活難は漸やく甚し

民國十六年以來鼎斷を示し歐米方面に追從を許さぬ程の勞働賃金時代を示してゐた奉天の勞働工賃は二年經たず十八年末から金融逼迫と銀價暴落のため賃金は總て半値に下落し從前三元のものは二元から一元五角に又一日七、八角のものは三角見當になつたため支那側生活苦は極度に瀕しつゝあると

國粹本部長披露宴

吉川之康氏の後を襲ふて大日本國粹會奉天本部長に就任した皆川秀孝氏は五日午後六時中央亭に設宴同會と特別の關係ある名士、新聞記者及同會役員數十氏を招待した開宴と同時に皆川氏は起つて就任の挨拶を述べ併せて國粹會の綱領使命を力說し且つ奉天本部創始以來終始獻身的に會務の發展に努力し今日の隆盛を致さしめた吉川前本部長の功績を宣揚し終つて皆川氏より吉川本部長に感謝狀と記念品を贈呈した、之に對し吉川氏は懇篤なる答辭を述べ次に守田民會長來賓を代表して謝辭を致し宴の進むに從つて主客の歡し盛會を極めた

東北陸軍旅長と駐屯地

最近の調査に依れば東北陸軍の旅長及駐屯地は次の如くである

- 第一旅　王以哲（奉天）
- 第二旅　丁喜春（打虎山）
- 第三旅　何柱國（灤縣）
- 第四旅　劉一飛（錦州）
- 第六旅　董英斌（同）
- 第七旅　蘇德臣（雙城）
- 第八旅　李桂林（長春）
- 第九旅　李杜（依蘭）
- 第十旅　張作舟（吉林）
- 第十二旅　張廷樞（錦州）
- 第十三旅　吉興（延吉）
- 第十四旅　徐永和（未詳）
- 第十五旅　蘇炳文（海拉爾）
- 第十六旅　繆澂流（新立屯）
- 第十七旅　于兆麟（黑龍江）
- 第十八旅　丁超（哈爾賓）
- 第十九旅　孫兆印（盤山）
- 第二十旅　黃顯聲（洮南）
- 第二十一旅　趙芷香（寧安）
- 第二十二旅　貢景鐘（未詳）
- 第二十三旅　劉乃昌（盧龍）
- 第二十四旅　黃師嶽（昌圖）
- 第二十五旅　姚東藩（高橋）
- 第二十六旅　刑占淸（哈爾賓）
- 第二十七旅　馬廷福（山海關）

奉天四行號庫劵額

中國、交通、邊業三銀行と東三省官銀號を以て組織する奉天四行號聯合準備庫發行の庫劵額は五月は一千〇八十五萬元、六月は一千一百三十萬元で前月に比し四十五萬元の增加であると

鳳凰城

澤畠氏送別會
記念品を贈る

今回瓦房店地事農務係へ榮轉の澤畠煙草試作場主任のために南滿黃煙組合員は四日午後七時より鳳凰館において送別會を開催した、出席者三十六名、富田理事挨拶を述べ次で記念品を贈呈し、これに對し澤畠氏の謝辭ありて閉宴頗る盛會であつた

撫順

翠滴る西公園に水の猛者は躍る
新記錄四つを出す
旺んなプール開き

オール撫順水泳大會は盛夏の綠滴る西公園プールにおいて六日午前十時半から擧行された、何しろ九十八度の熱暑且つ日曜の事とて競技開始前より大小河童連プール目指して殺到、延人員午後三時まで千三百人といふのだから凄い、當日の收穫としては撫順水泳部の第一人者堀が五十米で廿九秒八、五十米バックで四十秒六、二百米自由型で二分四十一秒の新記錄を作つたのと、新選手堤が百米で一分十秒三といふ四つの新記錄を作つたのは曾てない出來であつた、なほ當日の主なる競技の記錄は次の如し

▲五十米自由型　一着堀（二十九秒八）二着堤、三着杉野
▲百米　一着堀（一分十秒三）二着岩根、三着木下
▲五十米バック　一着堀（四十秒六）二着堤、三着杉野
▲百米ブレスト　一着堀（一分三十秒）二着中西、三着三浦
▲二百ブレスト　一着堀（三分三十秒）二着中西、三着三浦
▲四百米自由型　一着木下（七分十四秒三）二着相原、三着山崎
▲千五百米自由型　一着堀（二十六分一秒）二着川路、三着相原
▲三百米メドレリレー　一着A組バック堀、ブレスト古賀、自由岩根　二着B組バック木下、ブレスト中西、自由型槐島
▲曲飛　一等山崎（三十二點五）二等高林（十三點五）三等木下（十一點）
▲二百米自由型　一着堀（二分四十一秒）二着堤、三着岩根

鞍山

榮えある優勝旗遂に鞍山の手に
南部野球大會終る

瓦房店間の南部野球大會の鞍山―營口優勝旗爭奪戰は既報の如く六日午後二時より鞍山滿鐵野球場に於て撫順より招聘した安松（球）又野（壘）兩氏を審判のもとに營口軍先攻にて火蓋は切られた、第二回裏にて鞍山軍二點を入るれば營口軍三回表にて二點を入れ、五、六回戰にて鞍山四點を入れ營口軍の旗色惡しと見えたが九回にて藤崎のホームランにより一擧四點を占め同點となり、補回戰に入り鞍山軍一點を入れ遂に營口軍惜敗した、榮ある優勝旗は再び加藤滿日支局長より鞍山軍坂口主將に授與され萬歲を三唱して散會

佐賀高校演說行脚

佐賀高等學校生徒辯論部員十餘名は暑中休暇を利用して滿洲演說行脚を催すべく部長岩本秀雅教授に引率され來る廿四日來鞍し演藝館に於て演說行脚を開催する豫定であると

四平街

異常の緊張裡に陳情委員決定
山添氏等滿鐵關東廳を訪はん
打通線問題の對策捗る

市民大會後における經過については既報の通りであるが、更に五日午後八時より市民協會事務所において之が實行方法につき協議会を開いた、出席者は協會側山添、鶴見の正副會頭を始め評議員及び添田時計組合長、松田青聯支部長、其他新聞關係者一同で近來になき緊張味を湛へた、先づ山添會長より運動方針につき滿場に諮る處ありしが……

齊々哈爾

小坂拓務次官

滿蒙視察中の小坂拓務次官一行六名は松島農務課長の東道にて二日午後洮南より來齊、當日は邦人官民の同興園に於ける歡迎會に臨みたる後各所を視察し三日自動車にて昂々溪に向つた

間島

赤化委員會へ資金

極東露領ウラヂオストークに在る中國職工聯盟は中國共產黨の發展を要望し東北省赤化革命を間接に幇助する趣旨の下に三年前から日曜勞働をなして貯蓄を續けてゐたところ最近に至りその金額十五萬留に達したので、先月中旬之を浦鹽中國部の手を經てハルビン方面の中國共產黨北滿赤化委員會へ送附したと

反政府は運動防止
ゲペウの指令

撫順

吾等の町を語る
家庭を擧げて働け
斯くて經濟國難も救はれん
炭礦探炭課長　久保孚氏談

撫順の町は今や疲弊のどん底にあり經濟的に行詰まつてゐるとの愚痴をよく聞かされるが、私に言はすれば町の人々が「いばら」の如きこの人生行路に處して餘りに興味が足らないのが主要な原因だと斷ずる、町の人々は餘りに依頼心が强すぎるのではあるまいか、寄生蟲的生活こそ苟くも日本男子を以て任ずるものゝ屈辱であらねばならぬ、屢々町の人々が「仕事がなくて困つてゐる、就職は世話が大きいから何か仕事はないか」とせがんで來る者がある

二三年前是等の人に恰度手頃の仕事を世話した事があるがどうも結果が面白くない、折角仕事を世話しても長續きがしない、種を與へてもそれを成長さし實を收穫するまで努力し得る者が甚だ少くない、

◇

是は撫順には安い賃銀でも相當働く支那人勞働者があるから、是と對抗し得ないと云ふこともあるかも知れんが苟くも日本人たる以上今少し何とか考へを廻らし所謂現下の經濟難に自力を以て對處して行く事を考へる必要はなからうか、現下の疲弊を打開するの名刀は、町の人何れもが一體となつて邁進する事である、私の考へる、撫順の現狀を救ふ唯一のものは「家內全體が一團となつて懸命で働くこと」「現在の生活程度をグッと下げること」この以外にないと

◇

私はかつて白襟失業者が金縁眼鏡や絹の着物をゾロリと纏ひ一人前の紳士面をして町を濶歩してゐるのを見たことがあるが、……

發かれた東陵

【ラ滿特信】故張作霖氏の墓には慣例を破つて遺愛の貴重品を納めないことになつたと傳へられ心ある名流は時勢を嘆いてゐる、北平歷代皇帝の御陵、袁世凱の墓、一として兵匪の爲に荒されないものはないが就中一昨年夏今は河南で戰つてゐる孫殿英軍の爲東陵が發かれたことは餘りにあさましきこととして內外人の心を打つた、最近支那側で同方面の調査が行はれた時、現場を撮影したのが之れである【寫眞は（上）乾隆帝陵×印の小さい穴から盜匪が入つた（下）破壞された拜殿】

鐵嶺

赤痢患者續出

暑さの加はるにつれ赤痢患者漸く續出の兆あり、當地では初發以來日本人患者十四名に達しうち二名死亡三名全快現在九名の入院であるが、警察では居留民一般に防疫觀念を鼓吹するため各種の注意事項を詳しく列記した印刷物を各戶に配付したが患者發生は何れも附屬地で居留地には未だ發生しない

支那人はなほ猛烈

日本側に於ける赤痢の蔓延の如くなるが支那側では更に猛烈を極めてゐるらしく衞生施設が無い爲め隔離も出來ず何れも自宅療法によつてゐる

前借踏み倒し
逃走酌婦捕ふ

去月金波樓が內地から抱へて來た新顏のうち小夜子こと神戶アヤコは內地名古屋にゐる時既に掛川長作（三）といふ內緣の夫がありアヤコが滿洲に酌婦となつて抱へられ渡滿後掛川は彼女の後を追つて來鐵し相談の結果、前借を踏み倒して逃走と腹を決め五日夕方諜し合せて密かに逃走得勝臺まで馬車で落ち延び列車に乘つたところを樓主の屆出でにより手配中であつた警官に發見せられ、亂石山から連戾り

柳澤上等兵昇進

當地憲兵分隊附のまゝ東京教習所……

哈爾賓

チョル事件は解決が困難
多分追放處分せん

支那赤匪の勢力
伊藤外務省事務官談

宇佐美所長七日ごろ赴連

宇佐美滿鐵所長は着任來日、露、支各關係筋との親交に忙殺され其間事務所の事務に關する大體の整理案を得たので七日頃南下本社に報告旁々赴連の由、因に滿島共同事務所は所長の責任によつて決定するものと見られてゐる

白系露人の渡米者
今後益々增えん

八ヶ年間の哈爾賓ロシヤ人墓地守りの生活を捨てアメリカに第二の鄕土を求めて行く――ピオン、イリーチ、ズナーメンスキー僧師は語る

教會師には失業はない、人間が生活してゐる土地には宗教があり教會師は生活して行ける、ブラゴフエシエンスク市から……

滿鐵有志招待

宇佐美所長は五日理事公館に在哈知名邦人を招待し一夕の懇親宴を開催した

大連記者團來哈

大連滿鐵本社出入記者一行は宇佐……

營口

撫順炭賣行激減
北票炭の活躍て銀安

埠頭共同荷揚場
驛長の着任と共に第一埠頭に

拜田氏佐賀へ歸省

前營口醫院內科醫長拜田英之氏は七日十時半の列車にて鄕里佐賀に向け出發した

露學生間に日本研究熱

吉林

吉林省行政計畫
各廳に提案を命令

金州

州內說が有力
東京方面ての觀測
加世田氏は九日頃歸滿の豫定

徐々に發展
貨物集散激增

金大道路完成以來金州と大連とは交通著るしく頻繁を加へ、最近トラックに依る貨物の集散激增し不況時代にも拘らず取引頗る圓滑に行はれつゝあり、從つて新規移住者及び新婚者增加のため家屋拂底を告げ文廟家前や鳥海町方面に住宅を新築するもの多く、徐々ながら發展の途歷然たるものがある

電話の契約金
納入頗る不成績

新義州郵便局の本年度至急電話の抽籤は去る二十五日行はれ百六名の決定をみたので、局においては當選者にそれぞれ契約金納入方を督促してゐるが今日までに僅に五名の納付あつたのみであるこれは製鋼所の新義州設置の實行が頗る怪しくなつたので思案の爲めであらうと

演習參加安中生

滿鐵關東州外中等學校並びに駐滿守備隊聯合野外演習は本月一日より三日間に亘り千山、鞍山附近において擧行されたが安東中學參加隊は一日及び二日の兩夜に亘り鞍山鐵及び鞍山附近において露營をなし他校に劣らぬ奮闘をなし何れも元氣で四日朝歸安した

安東

新舊支署長
出發と着任

五日十一時二十八分發列車にて官民多數見送りの裡に赴旅の途につい た、倘增田新支署長は六日午前十一時二十六分金州驛着の列車にて着任した

大相撲初日
十四日に延期

日本大相撲滿鮮巡業團一行の安東に於ける興行は來る十二日を初日に二日間の筈であつたが、京城の興行地が雨天のため十四日初日となつた

綠水會總會
廿日高女講堂で

安東高女校同窓會綠水會は來る二十日午前十時から母校講堂において本年の總會を開き會計報告（會長）レコードコンサート、談話、餘興、福引等ある筈である

國境雜信

安東臨時競馬第二期の初日は五日午前十時より鎭江山麓において華々しく開催された▲相かわらず慾に目のくらんだ連日早朝より馬場に押掛けあれや？これや？と血眼となつてゐる▲何時の競馬にも顏を出すのが由良ノ助の連中人氣者の巴公前期に巴公と言ふ馬で共食して回每に配當を受けたのに味をしめたが今度は前に儲けた分をきれいさつぱりと投げ出し「之れであつさりしたわ」だとさ同じく由良ノ助の蝶々「妾は馬券なんか買はないわ」と涼しい顏をしてゐるが家來に命じて馬券を買はしてゐるが大の不出來▲蝶公もういゝかげんに引揚げてはと言ふと「何にこのお金だつて妾の可愛いゝあの人が呉れたのですもの なんぼ馬に喰べさしてもかまはないのよ」とは當られる事く

支那を語り我が對策を論ず

在青島 渡邊生

支那を知らず

官紳は常に彼の官憲乃至紳士紳商と交驩するを能とし、宴席の間彼等が巧綴せる辭令に籠絡さる、我外交界に於て常に

支那の有識者決して日本に對して好感情を有せず、唯赤化せる學徒工人一派の意を憚りて斷行する能はざるのみ、隱忍持久誠意を以て彼を指導せば必ず他年功果を收めん

と云ひ「又諸條約の不履行、賠償金の不實行も財政の困難の爲めのみ」と云ふ、何ぞ知らん條約の不履行は巧說を以てす、學徒工人の愱るに足るは大正十二、三年の濟南に於ける大排日が張宗昌の一喝に其影を絕ち之れによりて彼が何等民望を失はざりしに徵して明かなるべく、賠償金に對する不意は大官就職一年一千萬の財を愬ふるによりて知るべし、

所謂支那通なる者の內には多少支那を解するあるも、最近の彼等の多くは國士的風格なく單にその衣食と安逸とを望む無賴の徒にして、支那人の贅によつて衣食し彼に媚び彼の傀儡となれるものなり、所謂支那通の國策を誤る頗る多し、眞に支那を解するものは獨力支那に進展し、直接利害關係を有する在留民及び少數の國士的支那通ならざるべからず、而も此の國士的支那通は悉く不遇にして衣食に窮し、且つ直言の故を以て官邊の壓迫を受けつゝあり、

在留十年以上の居留民間に通語あり曰く「支那通に種別あり支那を漁りたるもの支那通ひをなすもの支那の表面の事情に通じゐるもの」と

余の結論

上海事件、漢口事件、南京事件の總結たる濟南事件は之れを從來の如く長江沿岸の被難と同一視せしが、支那に於ける日本人の發展基礎は目下の長江沿岸同樣絶滅されん、軍は今濟南治安維持會を支持せるも我軍撤せば報復の兇暴、一邦人をも留めざるに到らん、之れに處するの途如何、曰く軍政の實施之れなり、口實は多々あるべし、膠濟鐵路の契約不履行による管理、南軍令下の淄川知事が淄川炭礦罷業指導者たる連日の兵士狙擊、近郊の土匪(多分便衣隊なるべし)の跋扈、而して實施に際し、保を設けて五戶十戶を一自警團とし、一戶兇人を匿せば保中を罰す、此の以外新戶籍の支那に於て治安方法あらざるべし

次に必要なるは機密費の使途なり、支那の機密を知るは支那人に非ずんば能はず、機密費を活用して彼等を善用せば其の效果大なるものあるやゝ必せり、徒らに日支有力者乃至新聞記者を日本料理店へ招待しての饗應果して何の功ありや、機密費を酒色料たらしむる泰平無事の際に於ては或は可ならん、現在は決して然るを許さゞるなり

尙濟南の如き諸外國と交渉多からざる所に於ては、其土地の名望あり且つ廿年以上の在任者を名譽領事とし純官吏書記生二、三警察官若干ならしめば功果あるべしと信ず、英國は支那に三十年在勤の領事あり、日本の事務見學的領事來り居留民の苦む所なり

要するに今にして更に軍をして一歩を進出せしむるに非ずんば、日本の對支交渉及び將來の發展は阻害され現有權利は逐次喪失され再び出兵の轍を踏むに至るべきを憂ふる者なり

(完)

外蒙の現狀 (6)

YX生

(四) 對支關係と對國民軍態度(上)

清朝と外蒙との關係は康熙二十七年(一六八八年)葛爾丹哈爾哈を侵すに始まる當時葛爾丹の部衆が外蒙全土を蹂躙するに際し活佛は張幕を撤して南下せり、時に朝廷特使を派して是等多數避難民を慰問救恤せしめたる爲外蒙との關係を發生し康熙帝親ら兵を外蒙に進め其賊を平定し凱旋後各旗王公臺吉を多倫諾爾に會し帝親臨して之を收撫優恤する等到らざるなく是より外蒙深く清朝に歸服し遂に朝貢するに至れり然るに漢人の天下たりし明代三百年の間は絶えず韃靼(明の洪武二年蒙古を韃靼と改む)の入寇に苦みつゝ遂に一指を觸るゝ能はずして終れり、之れ蒙古人が漢人と滿人に對する感情の相異を看取し得べし蓋し外蒙第一次革命は清朝に對する獨立にあらずしてその眞意は實に漢人に對し所謂民國臨時政府に對する宣戰布告なりしなり、此關係を探究せずして支蒙の關係を論ずるは皮相も亦甚だしきものなり、古來漢人の誇りとする文化は事大思想、又は排外思想となりて現はれ、大なる抱擁力を缺ぎ蒙古民族の如きは彼等劣れる蒙昧無智の遊牧民として之を看過し來れり、予故に曰く、「支蒙兩者は將來も亦常に反目對立の狀態を持續し就中其政治に於て殊に然るにあらざるか要するに其傳統的舊套を脫却し得ざる運命を有するに非ざるなきか」

支那が如何に强權を弄して外蒙共和政府を否認するも外蒙は武力を以て獨立を決行し成就したり、現在の支那が外蒙に其實力を振ふ可能性絶無なる以上區々たる從來の關係を斷念して第二の對策を講ずるに非ずんば實ては唯一の經濟的勢力をすら驅逐せらるゝの運命に遭遇すべし、露支協定において赤露は外蒙の獨立を認めざりしも支那の意嚮を察し窃に外蒙の諒解を得外蒙に於ける支那の主權を一先づ認むることゝしたるものにして、赤露の苦肉策たり、赤露の眞意は外蒙の空文的要求を容れ之が報酬として赤露の承認を得る事を目標とす、而も支那が外蒙との直接交渉に依らずして第三國たる赤露の承認に求めたるは赤露の術中に陷りたるものと稱すべきを思ふ。支那の此の態度が單に輿論を恐れたるものとせば餘りに外蒙の現勢を知らず、或は單に將來の記錄を作らんが爲なりとせば餘りに形式のみに囚はれたるものと評するの外なし、假りに將來に於ける赤露の領土的野心を抑壓せんとする豫防策と見るも、赤露の國際的信義の歷史を知らばこれ一種の空文に過ぎざるを知らん、知つて而して敢て此不條理を行ふ、是恐らく當時の露支協定督辦たりし顧維鈞、王正廷兩人間の勢力爭ひより起りたる功名心の產物として見るの外なし、而も其以前に於て漸く緩和せられつゝありし外蒙の對支感情は、是に依て甚だしく傷けられ益々惡化の狀を呈するに至れり

歐洲大戰回望 ……(5)……

兩軍の戰術的清算

K、O、生

(一)マルヌ會戰(續)

シリイフエンの原案、右翼の步兵六十一ケ師團より成る世界空前の巨大なる戰略單位を以て急進するに於ては、マルヌ河畔に達する以前に英佛軍は完全に潰滅させられて居たらうと言はれて居る。然るにモルトケはこの原案に對しメツツ以南に十ケ師團を增したが、それは何の爲す所無くして過ぎた。而してこの攻擊主力を犧牲にし、それを四十四ケ師團に減じたばかりで無く、佛白國境における勝收束者の爲に二ケ軍團を割き、ブラツセルの白軍の爲に二ケ軍團を割き、その結果、八月二十一日テオンビール——ブラツセル線を出發するに方り五十六ケ師團を以てせる獨右翼の四軍は、マルヌ河畔二百八十基米突の戰線に於ては反對に五十六ケ師團に補强された聯合軍と四十四ケ師團を以て對戰するやうになつた。

獨軍が敵の戰鬪力を餘りに低く評價した事も明かに失敗の一つの原因となつた。英軍はその退却に際して五十時間に六十八哩と言ふやうな記錄を殘して居る慘澹たる晝夜の惡戰苦鬪の後、灼きつく八月の炎日の下、乃至は雨と泥濘と避難民とでごつた返しの道、睡らず食はず、疲勞と飢餓によろめく彼等の背後からは殺到する獨の大軍があつて死傷其他三萬五千、全軍の約三分の一を失つたのであるが、併しジヨンブル一流の頑强さは失はなかつた。その英軍を全く潰滅したものと獨軍が信じたことに無理が無かつたかも知れぬがその退却ぶりが餘りに鮮かであつたが爲に「佛軍は敗戰には弱い」といふ先入の偏見も手傳つて、士氣は全く頽廢し、戰鬪的精神は徹底的に失はれ、收拾が出來ない狀態に陷つて居るものと佛軍を觀測したことは、獨軍の自惚が生むだ大なる錯覺に過ぎず、將驕り、卒驕り、獨の全軍は必勝の夢に醉ひ、愉快に輕率に、世界最大の二要塞の中間に反擊の機を待つ聯合軍の堅陣に向つて、勇躍突入して行つたのであつた。

卽ち獨軍の最右翼たるクルツク軍は八月二十七日英軍を、九月一日佛第六軍を碎破し盡したと信じパリーに對して僅かに一軍團を殘してその東南方に突進した。そのパリーには十五萬に補强されたマヌーリイ軍が存在する事を九月四日の夜七時までモルトケは知らなかつたのである。而してクルツク軍と並なるビユロー軍も亦三十日には佛の第五軍を殲滅し盡したと信じて此れが最後の粉碎をクルツク軍に託し、自らは東南に向つたかくして彼等は豫定の如く佛軍を瑞西國境に壓迫し、パリーを開城せしむるの日が近いことを確信して居た瞬間、突如として側背から現はれたマヌーリイ軍に對すべくクルツク軍が陣形を立て直した時ビユロー軍も亦その右翼を佛の第五軍に脅かされ、共に互に相救ふに遑無く、兩軍の聯繫に二十五哩の間隙を生じ、而してマヌーリイは最後の一兵までも率ゐて猛烈なる側面壓迫を加へ、こゝに獨軍の主力を成す右翼軍は全滅の危險に瀕しこの危局を救ふべく佛軍の右翼に對し加へられた九月九日の獨第五軍の大夜襲も、結局獨富各隊間の目苦き混亂衝突により失敗に終つた。

退却を開始した者がモルトケかビユローか、それとも傳令ヘンチ中佐の過失か、第二軍司令部の行李輜重の罪か、いづれにせよ獨軍は崩れ出さゞるを得なかつたが爲に崩れ出したのであつて、ビユロー軍とクルツク軍とは八日間に亘り混亂と潰滅の苦に惱みつゝ退却し、クリスマス迄には終結すべき筈の戰局は、四年後のクリスマスまで、而して夫れは屈服の最後に終るべく引伸ばさるゝことになつた(此項終り)

八相欄

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以內のこと

『八相欄』の利用

小生

東京朝日の「鐵箒」をはじめ東京の諸新聞の投書欄はいづれも大繁昌で、時々の社會問題に關しては甲論乙駁頗る異色があり、同時に輿論の一部を窺ひ、又は教へらるる事尠少でありません、處が貴紙の「八相欄」はどうも原稿が勘いやうに思はれますが、これは投稿が無いからの結果でせう、大連人が文化が低く、文字に遠く單に卑俗な自己生活の安逸にのみ飽滿する以外に他を顧る事ができないとすればその心情は憫れむべしとして官廳その他がこれ等の文字に無關心なのは不都合至極です、先々月だつたか寒天の方が滿鐵に何かの試驗の事を「八相欄」で禮儀正しく質問してゐられたが、答は見られませんでした、最近では大阪屋號書店からも當然期待された聲明も載せられません。

不愉快な現象です、先づお役人サン達も、偉い人達も、井戶の蛙でなく少し正しい努力をしてはどうですか

家庭

シーズンの水泳 初心者のおよぎかた 先づ面かぶりから

暑熱が 日にく加はるにつれ水がなつかしくなります、各小學校、中等學校あたりではボツボツ水泳が始まり日曜などは老若男女の別なく星ケ浦、夏家河子などは少なからず賑はひを呈してゐます、一般民衆の水泳熱は年々盛んになりますが、特に婦人の間に水泳の盛んになつたことは喜ぶべきことで婦人體育の向上から見るも大いに奨勵すべきことです、又水泳を覺えて置くことは第一の場合

危難を 逃れることも出來一通りは各人の心得て置かねばならないことです、以下初心者の泳ぎ方につき其の心得を書いて見ませう、泳ぎを覺える上に最も必要なことは水を恐れないことです、一寸水が頭にかゝつても眼を白黒させたり、呼吸が出來なくなつたりしては水泳に上達する事は出來ません、先づ初心者は順序として面被りから始めます、その方法は體を水中に沈めて左右の手は水を腕の下に搔込むやうにし、足は左右交互に曲げて水を蹴れば身體が自然に浮いて進むやうになります俗に云ふ犬搔きとか

ばた足 と云ふ方法で、これは淺い所で練習するのです、次に背泳ぎと云つて仰向けに水上に浮んで頭の後半を水中に入れ、兩手を體に付けて前進するには手で水を搔き、足で水を蹴るのです、以上の二つの方法を暫く練習しますと體が樂に浮ぶやうになります此の平泳ぎは水泳の基本となるもので、最も安全確實で疲勞も少く遠泳ぎには必ず此の方法によらねばなりません、平泳ぎには水府流と觀海流の二つの方法がありますその違ふ所は足にあるので、即ち水府流は體を充分に伸ばして水面に俯し、面を少し上げ兩手はたゞ上體を浮べるやうに伸ばすので、

兩手を 掌を下に向け、平に並べて前に伸ばして手を伸ばすと同時に…とにかく身體が水に浮ぶやうになつたらもう占めたものです、あとはトンく拍子で上達します、そして次は平泳ぎを練習します、直ちに左右に肩を畫かくやうにしてだんくに兩腕を腹のあたりに持つて來ます、即ちこれは手で水を押して單に上體の沈むのを支へるためです、さうする間に兩脚を屈めて手を伸ばすと同時に屈めた脚は左右どちらでも片方は蹠で水を押し、片方は足の甲で押して最後は兩脚を强く合せ、つまり水を蹴つて進むのでこれを蹴り足と云ひます、これに反し

觀海流 では手は同様ですが、脚は左右同じく蹠を水と直角に保つて水を蹴つて進むので、俗に云ふ蛙泳ぎと云ふ方法です、その動作の速さは一呼吸に一回位です、蹴り足の方は川などの流れのある場所で泳ぐに適し、蛙泳ぎの方は海に適します、平泳ぎが出來ますと一重伸し、二重伸し、片拔手、大拔手などになるのですが、要は

平泳ぎ の脚が基本となつて手の動作と身の位置が變るだけです、尚水中で色々の遊戯をしたり、又手を休めやうとする時などには立泳と云つて體を直立せしめ兩手は體に添へて兩脚ばかりで水を下方に蹴つて浮んでゐる方法と水を蹴らずに兩脚の膝から下をぐるく廻すやうにし、水を捌つて浮ぶ方法とあります

男女の行衛 ……四…… 一次郎

トン吉は洋車の上で酒の醉ひが出て睡くなつて來たので自分で自分の太股をしつかり捻つて睡魔に抵抗した。

洋車は街角を曲つた、それはトン吉の町の方へであつた、彼が五回目に太股を捻つた時、男女の洋車は三度目の街角を曲つた、そして愈々彼の町へ來た。

「これはおかしいぞ」

興味が増して來た、彼は六回目の太股をぐつと力一ぱひに捻つた。

男女の洋車は遂にトン吉等が住んでゐる露路へ曲つた。

齒の衛生 よい齒磨とブラシの使ひ方

理想的 な齒磨きはその粉末が細かで口中に入れると比較的早く溶解し、爽かな香味を持つてゐるものでなければなりません、元來は齒の清掃が目的ではありますが、殺菌の効があるものは更に理想的と云へませう、粉末の悪いものだとか、硬くて溶解し難いものは齒牙の琺瑯質を磨滅しますから、齒の壽命を短くします、齒を磨くには夜分寢る前が一番よいとされて居りますが、これは齲齒の發生は眠つてゐる間に生ずるからです、朝や毎食後などにはむしろ水齒磨で含嗽する方がよい、俗に齒を磨くと言つてゐますが

實際は 齒を磨くのが目的でなくて齒の間にはさまつてゐるものを掃除することが目的でなければなりません、それから一般に忘れられてゐるごとは齒ぐきを磨くことで、これは齒を支へてゐる齒ぐきを丈夫にする上に非常に必要なことです、ブラシは毛の柔かいものより硬いものがよく、夜店などで安く賣つてゐる毛の不揃ひのものは齒の間にはさまつたものを掃除するには最も不適當です

罐詰にもヴイタミンがある

ヴ イタミンは加熱すると破壊されるのが原則となつて居りますが、その意味においては罐詰にされたものはすべてヴイタミンを失つてゐる事になります、處が必ずしもさうでないと云ふ事が最近稱へられて居ります、すなはちコロンビヤ大學で研究の結果、ヴイタミンの破壊される原因は勿論加熱による場合もあるが、むしろ酸化による場合が多いと云ふ事が分りました、コロンビヤ大學のコールマン教授の説では罐詰はすべて眞空にして煮つめるので

酸 化する事が少く、從つてヴイタミンは立派に存在して居り普通の調理法によつて煮た場合よりも變化させられる事が少いといふ事が分りました、それで豌豆、ほうれん草その他の野菜や林檎や桃等の罐詰にはヴイタミンA及びBは勿論含有して居り、Cも相當含まれてゐるから理想的な食品保有法であり、これによつて一年を通じて利用に適すると云ふのであります、勿論食品は總ての榮養成分を一品で具備してゐる筈のものでなく、混食によつて完全食となるのでありますからたとひヴイタミンを破壊されてゐると見ても食品を取り合はせれば良いのです

けふのラヂオ 初等科支那語

滿鐵學務課 秩父固太郎

第五課

1 你來
2 甚麼事
3 快來
4 就來
5 你去麼
6 我去
7 他去不去
8 他不去
9 咱們走
10 一塊兒走
11 快走
12 你慢走

譯文

1 おいでなさい
2 何ですか
3 速くおいでなさい
4 直ぐ行きます
5 貴方往きますか
6 私は往きます
7 彼人は往きますか
8 彼人は往きません
9 サア出掛けませう
10 一緒に參りませう
11 速くお歩きなさい
12 貴方そろく歩いて

趣味の令孃を訪ねて 豊かな天分に惠まれた 優れた能筆家 神明高女卒業の 宅和滿枝孃

一藝一能に通ずる者は或は惠まれたる天分によるものもあり、本人の努力の結果に成るものもあり、よりよき教育によつて達成されたものもあらう、いづれにしてもさした一藝一能が決して偶然の産物でないことは明かである、そこには必ずや、優れた芽生えがあり、之を育くみ育てた滋味ある環境があらねばならぬ、かうした一藝一能がすべて美の表現であるべき若き婦人に如何に現れてゐるか、大連在住の令孃を訪ねてその天分と環境と努力とを尋ねて見やう。

伊勢町九十一番地、宅和周造氏令孃滿枝さんは本年十八歳、本春三月、神明高女五年を卒へられたのだが級中一の能筆家である。堂々流の雄麗な筆致は同年輩の女性には見られない。

▽同家△△を訪へばお母さんは

「滿枝はお轉婆でして學校に居る時もバレー、水泳、ピンポンの選手をさしていたゞいて跳廻つてゐましたが習字なんて、書くといふ稽古もございません、一、家でろくにお稽古さへ致しません位です、五年になりましてから先生等から喧しく勸められまして、神明高女の小熊鶴堂さんについて習つて居りますがそれも日曜毎に書いて持つて參りますものを仲々その日の朝にならないと書かない位でして、上手なんてお恥かしい次第でございますよ」

とおつしやる。

▽然し△△神明高女で學藝會展覧會等がある時、先づ滿枝さんの字が出ないことはなく、先生や御兩親からも專門にやつて習字の先生をやつては、と遂勸められた程だが當人の滿枝さんは至つて暢氣で何方かと云ふと字の稽古より飛び廻る方が好きな程、活潑なお孃さんだ。

御本人も

「私、先生から吩咐けられたもの丶外は滅多に自宅で書いたことはございません」

とおつしやるから天才的なのだらう。小學校から習字は續けて甲許りで年と共に上達して行つた。

▽お父△△さんの周造氏は大工さんで終日、隣の仕事場に立籠つてゐるおとなしい職人肌の人だが

「滿枝の兄の周一は勉强もしましたが字はこれより上手でございました、朝鮮の方面へも書いたものを大分とられてゐますが後藤子爵の御手許にも差上げたこともありますし又御手本として書いたものをいたゞいたこともあります、私は一向字は書きませんが多分母に似たのでせう」

と語られた。

▽其の△△兄さんも東京商大在學中、亡くなつて惜んでゐられるが、滿枝さんは飽くまでも無邪氣に、先生から書けと言はれゝば書くといふ未だ慾もないすなほなお孃さんである(寫眞は宅和滿枝さんと扇に書かれた水莖…)

探偵小說 女妖 (135)

江戸川亂步作 横溝正史 伊藤幾久造畫

奔馬(十二)

澄子はさうした由良子の様子を凝つと見詰めてゐたが、やがて、何んと思つたのか薄らと涙さへ浮べながら、

「由良子さん。あなたが昂奮なさる譯をこのあたしもよく存じて居りますわ」

由良子はその言葉を聞くとハツと息をのみ込んだ。一瞬間彼女は燃えさかる焔に水を打ちかけられたやうに、じつと澄子の顔を眺めてゐたが、ふいに彼女の目からは大粒の涙がホロ〳〵とこぼれ落ちた。

「澄子さま、澄子さま、あなたは何も彼も御存知なのですね。あたしの事も、そして、あの春巣街で殺された女の事も……」

「えゝ、知つてゐます。この頃漸く、あなたの不幸な身の上を何も彼も知ることが出來たのです」

澄子は優しく由良子の背を撫ながら、

「あなたが、あの篠崎龍子といふ人と、春日龍三氏の間に出來た子供である事、從つて、あなたは花子さんの腹違ひの姉さんになる事さうした事も、この頃漸く覺とる事ができたのです。それにしてもあなたは何といふ不幸な身の上でせうね。花子さんがあゝして、何不自由なく暮して來られたのに、あなたは反對に……」

「いゝえ、いゝえ、あたしそんな事何とも思つて居りませんわ」

由良子は涙にぬれた目を上げると、

「貧乏な暮し――それに就ては、あたし何の不平もありません。却つて獨立獨步の力をあたしに與へて下すつた事を、神様に感謝する位でゐます。けれど、けれど……現在立派な親があり乍ら、何年もの間見捨られ、漸く會ふ事ができても、親子の名乗りもできないのが一番残念でございますわ」

「さうでせう、然し……」

「いゝえ、いゝえ、あなたはまだ御存知ではない。あの春巣街の事件の噂、新聞であの被害者の寫眞を見た時のあたしの驚き、今迄探しに探してゐた親の主、その人こそあたしの產みの母だと、誰からともなく教へられてゐたその人とすん分違はぬ寫眞を見た時のあたしの驚き、でもまさかそんな事が…と思ひ乍ら死體陳列所へ行つてみました。然し、あゝ、間違ひもなくその女だつたのです。あたしのお母さまだつたのです。その時の惨めな母の姿を見て、あたしがどんな思ひにうたれたか、それは到底他の人には想像できない事ですわ。假令どんな悪い事をしたにもせよ、現在自分の母といふ女があんな惨めな姿になつたのを見せつけられては、誰しも血の煮へくり返らない人はないと思ひますわ」

「よく分りますわ。よく分りますわ」

「でも、それよりもつと大きな驚きは、それはあなたのお宅で夜會が開かれたあの晩の事です。あたしはふと白根辨造といふ人と春日龍三氏の話を漏れ聞いたのです。そして初めて龍三氏が嘗てあたしの母の良人だといふ事を知りました。さうとすれば、あたしはあの人の娘だといふ事になるのです。あたしは初めて兩親の身の上を知りました。然し、それを誰に打明る事も出來ないのです。現在の父親が金持であればあるだけ、あたしは名乗つて出る事ができませんでした。おまけにあたしには確な證據と言つては唯あの額より他にはないのですからね。それにあたしが名乗つてでれば、花子さんを初めどんなに多くの人が迷惑するか、それも考へなければならなかつたし、結局あたしは一生涯を唯の木澤由良子で押し通さうと決心してゐたのでございますわ――でも唯一ツ心にかゝるのは、あの不幸な母を殺した犯人の事です。その人だけは是非探し出して、あたしは敵を打ちたい。母の敵を討ちたいのです」

さう言つて咽び泣く由良子の首筋を、澄子はベツトの上から泌々と眺めてゐた。然し、由良子の言ふやうに、この敵が討てる事だらうか。幾度も〳〵言ふ通り、相手は到底、並大抵の人間ではないのだ。篠崎龍子を殺し、白根辨三を除き、お和枝を殺し、安藤婆さんを殺し、そして春日龍三を殺した人物――これから先、幾人の血潮がその男の手を染めてゆく事だらう。或は自分達の血潮もその中に含められるのではなからうか。

さう考へると澄子の胸は思はず冷たく、凍えて了ふのであつた。

痒くて堪らぬ不快な皮膚病

汗疹、膿疱疹、濕疹、汗疱、頑癬、の手當

汗疹

皮膚病は一般に輕視され易い、殊にあせも等全く氣にかけない人がある、成程あせも其ものは少々痒い位で、直接生命に關はるものでも無いが、これは恰度「風邪が萬病の母」である如く「あせも」が皮膚病の母となることが餘りに多い。

あせもは涼しさ、暑さにつれて消褪し、再現する、それを放任した上に、痒いにまかせて搔く、搔くと小水疱が破れて、黴菌が侵入し腫れ上つたり、化膿したり、俗に夏ぼし、といふものになると、痒い上に痛みが伴つて來る。

これは大人でも辛いもので、子供は尚更苦痛である、のみならず傳播が旺んで、直に次ぎ次ぎへ擴がり、それが濕疹になることが頗る多いのである。

濕疹

濕疹はこの外、體内の原因から發生する、子供は頭部、顔面、或は股に多く、老人は四肢や、軀幹の屈曲部に多い。

子供の胎毒と云つて「クサ」を治療すると、内攻するなど〻根據のない迷信から打捨て置く親達があるが、若し放任して置けば、頸部に淋巴腺腫脹(イネゴ)が生じ又濕疹面より種々の黴菌が侵入して、その爲め生命の危險を來すこともある、假令このやうな危險がなくとも、毛根が侵され成年になつて、其所に禿の殘ることなどはよくある例である。

汗疱

この汗疱は靴履きの人、水仕事をする人に多く、頗る頑癬で、耐ねられぬ痒さと、痛みを覺ねる、初期は、皮膚の表面に變化が無いが、深部に水疱又は膿疱のある事は、入浴後ハツキリと見へる、それが遂には破れて靡爛し、又續發的に白癬菌が感染して、悪疾のものになる。

この黴菌は内地の如く、濕度の高い處に發育し易く、今は其の繁殖の時期である。

頑癬

頑癬は、たむしいんきん、ぜにがさ等をいふので、小さな赤い斑點を生じ、漸次擴大すると、周圍部が土俵のやうに隆起して中心部から外部へ〳〵と擴がり痒さも可なり烈しいものである。

蚤、羽虫、蜂、南京虫、蟻等に刺咬された事が原因で、搔痒性皮膚病になることも多い。

注意

皮膚病の多くは傳染性で、近來は各階級の人を通じて多く見るやうになつた、それは電車、寄席、活動、錢湯等の人込みで傳染するのである。天氣のカラリと晴れた日には左程病菌も活動せないが、濕氣の多い日は、旺んに繁殖を行ふもので、電車に乗つて、人の腰かけした溫味のある處や、脂ぎつた吊革を攫ることなど、餘程注意をせねばならぬ。

適藥

皮膚病に何が一番適切であるかといへば、先づ硫黄である、然し在來の硫黄劑は、皮膚に吸收し難く、且つ惡臭、又は衣類を汚す杯の點から頗る嫌惡されて居たが、此種の缺點を根本から改善して製出されたのが、皮膚病新藥アスターである。

アスターは芳香性クリームで、其含有する硫黄が可容性狀態にある故、皮膚に吸收し易く、從つて特性作用が充分に發揮され皮膚病治療上の一大革命だと、安藤醫學博士が稱讃されて居る。

「アスター」は其强烈なる殺菌力に依つて、寄生菌を絶滅すると共に患部を消毒し、局部を收縮して、速に治癒せしむる顯著なる効驗がある。

定價 小瓶三十五錢、大瓶一圓チューヴ入五十錢、各地の藥店に販賣して居る。

成功の糧は健腦丸

社會へ進出する唯一の途は自分の能力を充分に發揮する事にある。それには第一、頭腦を健全にせなければならぬが、その頭腦の保護條件として、精神の過勞を恢復せしめねばならぬ。

さて精神の疲勞を感ずる場合どういふ現象があるか、茲に素人として最も解り易いのは、ワグナ博士が學童に試みた方法が一番よい。

それは手の位置を見て、疲勞の有無を知るので、例へば腕を垂直に伸し、手の掌を水平にさせる、疲が普通なれば水平に保てるが、疲勞してゐると、其手先がダラリと下る。

又注意の散漫してくる事も疲勞の特徴と見て差支へない。一例を擧げると、讀書や、裁縫をしてゐる時、ガタリと音がすると其方へ氣を取られ、手許が疎かになる、その時は疲れてゐるので本能の力が氣分の轉換を行はしめて、疲勞の恢復を要求してゐるのである。

□

疲れた頭腦を其儘酷使すると、疲勞は一層募つて遂には神經衰弱や、精神病に陥つて了ふ。疲勞を癒す方法としては、精神を安靜にすること勿論、よく安眠すること、腦の榮養藥健腦丸を服用することである。

殊に此頃は短夜で、兎角睡眠不足になり易く、而も春期に發芽した神經病が、其鋒鋩を現す危險な時で、此際是非共腦神經の健全を圖る必要がある。

睡眠不足の結果、心身倦怠く仕事に飽き易く、絶ず頭痛や頭重を覺ね、眩暈、逆上、耳鳴、便秘等が起れば、一日も早く治さねばならぬ。」

□

健腦丸は根本的に頭腦を明快にするのみでなく、疲勞を恢復し、記憶力を增進し、恐るべき中風、卒中を未然に防ぐ、驚くべき偉効がある。

病は豫防が第一、冒された場合は一瞬も早く治療するが最善の策であり、然して傑出した頭腦の持主となる唯一の糧として、健腦丸を推奬する、本舖は大阪東區丹平商會で、全國の藥店にあり、價は五十錢より十圓迄。

濃霧に禍されて 今度は利生丸坐礁
大孤山韮菜砣子附近岩石に 乘客乘組員一同は幸ひ無事

奉天丸の海難事件の惹起により濃霧時期の航行の危險である事は今更の如く感ぜられるところであるが該事件發生と殆ど時を同じうして關東廳命令航路宇田商會所有長山列島定期船利生丸(百九十六噸船長谷口善三郎氏)が同じく濃霧に禍され七日午前十時十分大孤山韮菜砣子附近の岩石の間に坐礁し大騷ぎを演じたが同船は午前九時大連港を出帆したもので乘組船員十五名、乘客は日本人一名支那人十名が幸ひ船體及貨物人命に損害はない模樣であるが右情報を受取ると共に乘船員一同救出の爲鶴丸を現場に向はせた、尚同船は滿潮時に自力で離礁可能と見られたが再報によると船體は使用に堪えない迄に破損したと、しかして乘船者一同は本船危險とみて鶴丸の到着までに皆大孤山に上陸避難したと宇田商會あてに電話があつた由

奉天丸は假泊 三山島附近に
霧で動きがとれず

山東高角を去る三十哩の地點において衝突ノールウエー船ダムプト號(二千四百九十四噸)を沈沒せしめた大汽の上海定期船奉天丸は直ちに他船の乘組員一同を完全に救出の上大連に向つて拔錨したが奉天丸はその後益々たてこめる濃霧中のうちを徐航しつゝあつたが午後六時入港豫定のところその後濃霧の爲、遂に身動きもならず午後六時、漸く三山島附近に辿り來たつたが遂に假泊のやむなきに至り午後七時二十分本社、海務局、水上署等關係當局に向つて「六時過三山島附近にくろ信號聞えず假泊した」と打電するところあつた尚海務局では明八日早朝入港と共に檢疫する筈である

三間先きは闇 物凄い昨日の霧
埠頭は萬一を警戒 一夜中を寢ずの番

濃霧、ガス、船の坐礁、沈沒、衝突これらの海難事故が次々に報道されてゐるが、七日午後からの霧は又一入で大連埠頭の如き三間先は乳白色な一色で塗りつぶされて殆ど手足も出せないと云ふ有樣で無氣味な霧的信號がボウ〳〵と唸り立てゝゐる海上を遮つてゐる尚埠頭ビル信號所においても萬一を警戒すべく係員一同寢ずの番をと云ふ形で水上署においても警戒おさ〳〵怠りない

高松宮兩殿下
王立植物園の園遊會御出席

【東京特電七日發】ロンドン御滯在中の高松宮同妃兩殿下には六日松平大使夫妻その他主なる日本人と御ともども兩殿下を主賓とする王立植物園の大園遊會に御出席遊ばされた、內外の貴顯紳士淑女の會するもの六百餘名頗る盛會であつた、なほ七日はポーツマス軍港に成らせられ英海軍の精鋭を御見學あらせらる

製鋼所問題 京城で運動
政務總監に陳情

【京城特電七日發】昭和製鋼所問題は仙石總裁の鞍山設置說固執のため、朝鮮內設置は形勢不利となつたので地元新義州府民はこの形勢に奮起し、多田榮吉氏を初め七名の代表者は入城、七日午前十時から京城商工會議所に於て昭和製鋼所鮮內設置期成會委員と會見、後援を求め、一方多田榮吉渡邊京城商議會頭は午前十時、政務總監を訪問、大體の陳情をなし更に午後一時半から新義州代表八名は打揃つて政務總監に會見陳情し、當局の奮起を望みたる上、午後二時から甲子クラブに開催の昭和製鋼所鮮內設置期成會委員會に出席、今後に於ける運動後援等に就き協議する所あり、尚代表等は數組に分れて各道に出張、全鮮的に輿論を喚起する段取りを以て愈々猛運動をなすことになつた

全日本水上選手權種目
オリムピック第一主義で

【東京特電七日發】日本水上競技聯盟は五日理事會を開催本年度選手權大會につき協議したが、最近わが水泳界中長距離に新進の活躍目覺ましくいま一段の努力を續ければ二年後に迫れる萬國オリムピックにて四百、千五百、八百リレー等に優勝するも決して不可能でなく、從つてオリムピック水上に優勝する可能性も大いにあるので此の二年間は專らオリムピック第一主義で進むといふに決した、從つて選手權種目もオリムピックを中心として選定するに決し六日左の如く發表した

△男子之部▲自由型百米、二百米、四百米、千五百米▲背泳五十米、百米▲平泳百米、二百米▲スプリングボート、高跳込、混合競技、水球

△女子之部▲自由型、百米、二百米、四百米▲背泳百米▲平泳二百米▲スプリングボート、高跳込

見本市を公開
九日の午前中だけ

滿洲見本市では閉市翌日たる九日の午前八時より正午まで一般に解放して商品生產の系統、內地各府縣の特產等を紹介する筈

午後の入場者 三百五十人

第一回滿洲見本市第一日午後も午前より居殘りの買手並に午後入場の買手三百五十餘名(內日商二百七十八名、華商七十六名)が下見を爲しなか〳〵の盛況であつた、從つて小口の約定も相當成立した模樣であるが明細及約定高は八日朝にならないと分らない、八日も午前八時より引續き開市されるが午前中大平滿鐵副總裁の參觀があると

一日一人づゝ生れる醫博
其他の博士さんを合せて 現在五千百廿七名

【東京特電七日發】文部省では今回昭和五年三月末日現在の學位錄が完成した、それによると明治二十一年學位令制定以來大正九年七月の新學位令制定以前に博士の學位を認可されたもの二千四十六名で、新學位令による者は三千六百七十七名である、この內死亡せるものは全部で五百九十六名だから現在の博士の總數は五千百二十七名となる譯である、此の內にて頭拔けて多いのは醫學博士で最近は毎日一人平均の割で增加してゐるのである

學位別に示すと左の如く

△醫學博士
舊學位令に依るもの八百四十四人
新學位令によるもの三千百十八人
內死亡せる者二百二十一人

△工學博士
舊學位令による者三百八十七人
新學位令による者百五十一人
內死亡せる者百九人

△法學博士
舊學位令による者二百二十二人
新學位令による者三十六人
內死亡せる者六十八人

△文學博士
舊學位令による者三百八十七人
新學位令による者四十一人
內死亡せるもの七十八名

△藥學博士
舊學位令による者三十六人
新學位令による者三十二人
內死亡せる者十八人

△理學博士
舊學位令による者百八十二人
新學位令による者百六十八人
內死亡せる者六十一人

△農學博士
舊學位令による者百十四人
新學位令による者百二人
內死亡せる者三十五人

△林學博士
舊學位令による者三十九人
新學位令による者七人
內死亡せるもの九人

△獸醫學博士
舊學位令による者二十六人
新學位令による者十七人
內死亡せる者十一人

△經濟學博士
舊學位令による者 —
新學位令による者十七人
內死亡せる者 —

△商學博士
舊學位令による者 —
新學位令による者 五人
內死亡せる者 —

△政治學博士
舊學位令による者 —
新學位令による者 二人
內死亡せる者 —

而して日本で最初に博士になる人は明治二十一年五月七日付で授與された法學博士箕作麟祥、田尻稻次郎、菊地武夫、穗積陳重、鳩山和夫、醫學博士池田謙齋、橋本綱常、三宅秀、高木兼寬氏等であるが今は何れも故人となつてゐる

阿片賣買權
詐欺事件公判

【東京七日發電通】阿片賣買の權利を支那から取つてやると島總藏氏から三萬圓を卷き上げ詐欺罪に問はれた例の阿部義成(名)の續行公判は七日午前東京地方裁判所で開廷證人として喚問された島總藏氏は裁判長の問に答へて「阿部と知合になつたのは三年程前で小遣ひをせびられゝば五萬、十萬と黃金を渡した、二千、三千の端た金は覺えて居らぬ」とても大きいところを見せ阿部に渡した問題の三萬圓は支那政府から阿片賣買の權利を得る目的で渡したものだが二萬三萬の金を出すことは私としては何でもないことで結局阿片賣買の權利が成功しなくても差支へないと云ふ氣持で出した、久原から支那問題について話があつたからそれで三萬圓を出したと答へた、次回の公判は八月一日で久原前遞相を證人として喚問するに決した

奉天空輸陸軍機 一機平壤に到着
一機は京城に不時着

【京城七日發電通】所澤より奉天へ空中輸送の陸軍偵察機三機は七日午前八時十五分太刀洗發午後零時五十五分京城通過平壤に向つたが中藤中尉操縱の五百二十一號機は途中より引返して京城に不時着陸した他の二機の中藤田中尉操縱の百三十二號機は午後二時十五分辻中尉操縱の五百二十號機は二時半無事平壤飛行場に着陸した明八日午前八時平壤發奉天に向ふ筈

在滿鮮支赤黨の工作漸く尖鋭化
第三インターと提携

【ハルビン特電七日發】滿洲における鮮人團體の工作は舊黨に屬する正義府、參議府、統議府の如き吉林省延吉、輝南地方を根據とせる各府も露支紛爭を一期として左翼行進の傾向を帶びて來たことは事實である、彼等の既成團體が從來の型によつて進んで行くことは時代の潮流に逆行し團體としての價値を失ふのみならずその存立の生命がなくなる譯であるから自然共產黨系の思想團體化し第三インターのバツクにより地盤を鞏固にすることに努めつゝある結果であると見られてゐる、時に浦鹽における五一倶樂部中心とした中韓共產黨の革命工作は滿洲における鮮人團體のみならず上海天津、北平と連絡し遠くは歐米の在外者と合從して氣脈を通じ共產革命の旗幟のもとに連絡を執り最近ハルビンでは朴某一派の首腦者が參集し密かに協議會を開催して統議府、鮮農團體、協會を

糾合して 愈々積極的運動を開始した如き或は浦鹽の中韓共產黨協議會では支那における水平運動と日本への挑戰に對するテーゼーを起案し反動團體の彈壓テロ團の組織と工作及び各地との連絡は毎月一回代表を往復せしめること、テロの直接行動に要する武器彈藥の類は中國共產黨が援助することゝ等を決議し露支國境、北韓には宣傳部員を派遣し黨の主義綱領を宣傳し青年韓人の加入を勸告し特に中韓共產黨の運動は黨是のもとに滿洲各地にその魔手を伸ばして來た、ハルビン附近村落には

共產主義 テロ團が約三十餘名潛入し各所に出沒して內外の狀勢を調査し南北滿洲における日露支の政狀については特に材料を蒐集して第二計畫を極秘裡に進めてゐるといはれてゐる

間島暴動事件の不逞鮮支人殆んど逮捕
總領事館警察署連日の活動で 殘るは二十三名

【間島特電七日發】五月二十日不明の間島暴動事件關係者は引續き總領事館警察署にて搜査中のところ數日前、龍井村に中國共產黨延邊黨部鮮人部責任秘書李○○が潛入し第二暴動計畫中を確め五名の警官にて逮捕した、李○○逮捕の結果、鮮支共產黨合流の經緯明瞭となり李○○は滿洲總局より暴動の命を受け先般、逮捕された金哲のもした計畫を採用して之を實行するため經費○○圓を金哲に手交したこと判明した、而して李○○は暴動後、滿洲總局に報告のため潛行し、このほど歸來したものである、なほ總領事館警察署では五日未明に龍井村の暴動隊長ら二名を逮捕し結局、今までに暴動關係者○○○名を擧げ取調中であるが主なるものは二十三名を除き殆ど逮捕したといつてゐる

事業費豫算を說明
滿鐵地方部員に

滿鐵地方部は山西次長を始め土肥庶務、粟野地方兩課長を始め新任命が多いので數日前から毎日午前中大藏部長から六年度事業費豫算について說明を受けてたが七日大體終了した、尚山西次長は本部の事務が一段落つき次第近く沿線派行に上り各地々事の事務を巡視すると

滿鐵社員の住宅建築熱

滿鐵社員の住宅組合制度實施以來社員間には住宅建築が盛となつたが、本年も既に二百九十二名が組合組織を認可された、この內大連が百二十二名、沙河口三十名で二十八組合は手續を了してゐる住宅建築地としては一般に郊外を希望してゐるが、星ケ浦方面は近來土地の騰貴を來してゐるので本年の大部分は老虎灘街道に沿ふ方面であると

一柳仲次郎氏起訴さる
選擧違反で

【札幌七日發電通】選擧違反に問はれてゐた民政黨北海道支部長代議士一柳仲次郎氏は證憑僞造の廉で六日夜で拘束のまゝ起訴された

關東州水產會
臨時總代會

關東州水產會では左記各項附議の爲め來る八月十二日午前十時より關東廳に於て臨時總代會を開會する由

一、西部日本水產大會に關する件
一、役員選任の件(正、副會長、評議員補缺)

宮城縣下の水害

【仙臺七日發電通】宮城縣宮城郡松島町下竹谷地內の鳴瀨川の堤防が數日來の豪雨のため六日夜十時半ごろ決潰し下流の水田約三十町步は泥海と化した、なほ刻々增水しつゝあるので附近住民は徹宵警戒中である

2—1 最後の攻擊空しく 八幡軍惜敗
對實業團決勝戰

八幡對實業決勝戰は七日午後四時三十五分より實業球場に於て折からの霧雨をおかして二神(球)南條(壘)兩氏審判の下に實業先攻で開始したが二對一で實業勝つ閉戰七時、八幡正投手長友を立て加藤を一番に二回戰に當つた正田を五番にすえ大岡を六番に代える實業もまた岩瀨主將自らプレートに立ち安藤、中島兩老雄出で死守す、前半實業優勢を續けて居たが後半八幡軍に押され氣味で遂に九回裏興ふべからざりし一點を與ふ第一回宮武の中飛で中川本壘を衝いて死し貴重なる一點を逃し又第三回に安藤(兄)の一二間單打で一擧三壘に走つて死し兩チャンスを逃す八幡の外野手一樣に肩好く加ふるに中川は足に自信ありとの感よりこの結果を生んだのではなからうか、一二三回も長友大膽に投げて好く切拔く、コントロールも好く度々打者の虛をつき成功す一回裏八幡二死後坂口二盜の際捕手渡邊壘手居らざるに二壘に投球して生かす、このあたりより所謂景物付きの試合となる、八幡軍岩瀨の球を打つの自信あり?と見え安藤渡邊等の代走に盛に木下を名指して彼を疲れさすが結局七回三振三者の景物付で牛耳られる、第四回勝頭中川中前に安打を放ち好走好スライディングで二壘打となり續く木下網好の遊前單打に生き渡邊バントで送り續く岩瀨バントしそこなつて遂に木下岩瀨と併殺さるこの際渡邊にバントをさせずして打たして出でた方が結果はよくなかつたらうか、第五回一三四回のチャンスをつかみ得なかつた實が遂にチャンスをつかんだ即ち中島安打に出で津田の犧バントで送られ中川二ドロップにひつかゝつて空振後凡打し安藤四球宮武凡打と見えしが遊匍二失この間中島本壘を奪はんとし二壘坂戶あわてゝ本壘に投げんとしたが二壘投手捕手一直線上にあつたため投球意のまゝにならず遂に一點を與ふ五六回八幡チャンスに見舞はれしも凡退に終り實業も八回に滿壘の好チャンスありしも成らず一—〇實業リードでラストインニングに入る、九回實業無死滿壘實業ファンを熱叫せしめたが中川(金)の中飛に中川本壘を衝いたがベースにタッチせずして死し中川として第三回目のチャンスを逃し折角の無死滿壘の好機も僅に一點を得たのみ、同裏八幡正田の二匍惡投に出でしを門鐵驟走部の選手として活躍したことのある帶牧(加藤遊擊手の兄)をPRとして立ていさゝか暴盜の感ありしも順次進壘して一點を得たが打順惡く遂に二對一で破る、加藤遊擊の好守はさておき中島安藤選手の打擊準五割で老雄デーの觀、捕手インターフエヤー、中川の本壘のノータッチ、スタンドのファンの喧嘩、ボールドに零枚が缺乏して一二三回の零が八九回のところへ移轉等々可成の景物〳〵そへて實業團勝つ

經過

△第一回 實業中川遊擊單打安藤兄一二間單打に中川一擧三進したが(木下安藤兄の代走)宮武の中飛で中川本壘を衝き死す、此の間木下二進中川(金)四球(津田木下の代走)に出たが木下中飛▲八幡二死後坂戶左前單打中村四球=田遊匍

△第二回 實業渡邊三匍一失に生き(代走木下)たが岩瀨の二匍に重殺中島中飛單打津田中飛▲八幡大岡投手猛襲單打し花田のバントと長友の遊匍に三進したが戶川中飛

△第三回 實業中川四球に出たが安藤兄の一二間單打で一擧三壘に走つて刺され宮武投匍に安藤兄重殺▲八幡三者凡退

△第四回 實業中川(金)左中間二壘打木下遊前緩單打渡邊のバントに走者二三進したが岩瀨二飛木下岩瀨重殺▲八幡三者凡退

△第五回 實業中島三遊間單打津田のバントに二進中川遊飛安藤(兄)四球宮武の遊匍二失に安藤生き中島本壘を衝いて一擧生還中川(金)中飛▲八幡花田左前テキサスし長友のバントに二進戶川の三匍野手二壘に投じて兩者生き加藤の二匍失に花田一擧本壘を衝いたが安藤の好投に刺され戶川加藤二三進滿德四球坂戶遊匍

△第六回 實業三者凡退▲八幡中村左中間二壘打し正田の遊匍に三進したが大岡三振花田二飛

△第七回 實業二死後中川三遊間單打安藤遊匍▲八幡三者三振

△第八回 實業宮武四球中川(金)中飛後木下の三匍トンネルに走者二三壘に據る渡邊四球で滿壘岩瀨投匍で宮武本壘に封殺中島中飛▲八幡三者凡退

△第九回 實業津田二匍失中川四球(八幡大岡退き白木三壘に入る)安藤兄遊匍一失に無死滿壘に津田生還(八幡長友退き森川投手となる)中川(金)中飛に中川本壘に走つたがベースにタッチせずして死し木下中飛▲八幡正田二匍高投に生き(PR荒牧と代る)投手牽制球に挾まれたが木下の惡投に二壘に生く荒牧三盜し白木の左犧飛に生還花田遊匍後前川(森川のPH)捕手の妨害に一壘に生き(PR稻垣)たが戶川投匍

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
(實)得點	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
(八)得點	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

(實業)

	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
7中川	3	0	2	0	0	0	2	2	0	0
4安藤兄	4	0	2	0	0	0	1	1	4	1
6宮武	4	0	1	0	0	0	1	0	5	0
9中川金	3	0	1	1	0	0	1	0	0	0
3木下	5	0	1	0	0	0	0	16	0	1
2渡邊	2	0	0	1	0	0	1	7	0	0
1岩瀨	4	0	0	0	0	0	0	0	4	0
8中島	4	1	2	0	0	0	0	1	0	0
5津田	3	1	0	1	0	0	0	0	3	0
計	32	2	9	3	0	0	6	27	16	2

(八幡)

	打數	得點	安打	犠打	盜壘	三振	四球	刺殺	補殺	過失
6加藤	4	0	0	0	0	2	0	3	5	0
8滿德	3	0	0	0	0	0	1	6	1	0
4坂戶	4	0	1	0	1	0	0	4	2	2
7中村	3	0	1	0	0	0	1	1	1	0
3正田	4	1	0	0	0	0	0	8	0	2
PR荒牧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5大岡	3	0	1	0	0	2	0	1	0	1
5白木	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
2花田	3	0	1	1	0	0	0	4	0	0
1長友	2	0	0	1	0	0	0	0	4	0
1森川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PH前川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9戶川	4	0	0	0	0	1	0	0	1	0
PR稻垣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	30	1	4	3	1	5	2	27	14	5

▲二壘打 中川(金)中村—一 ▲併殺 坂戶、加藤、正田—一 長友、加藤、正田—一 坂戶、加藤—一 ▲ボーク 渡邊—一 ▲殘壘 八幡—九、實業—十二 ▲試合時間 二時間二十五分

對滿倶戰の日程

尚八幡對滿倶戰の日程左の如くであるが九日入港のうらる丸で小牧外野手(法大出)が來連して一行に加ふることになつた

第一回戰 十日午後四時より
第二回戰 十一日午後四時より
決勝の場合十二日午後四時より

全滿少年野球大會 けふ決勝戰を擧行
朝日小學校—日本橋小學校戰 午後三時 實業球場にて

日活現代劇臺本より

この母を見よ

（五五）

崎面座同人構成

映畫キャスト

原作　エリイザ、オルゼシュコ「寡婦マルタ」より
脚色　八木保太郎
監督　田坂具隆
撮影　伊佐山三郎

父　桑木元　　南部章三
母　倭子　　瀧花久子
子　中子　　松平千鶴子
街の女　胖子　　入江たか子
乾氏夫人　　英百合子
おみつ　　佐久間妙子
臼田夫人　　津島ルイ子
娘瑠璃子　　小西節子
婦人用品店主　　常盤操子
よね　　島村靜子
滿村　等　　大原仁美
大村書店主　　村田廣壽

倭子は造花工場の戸口を出る時に、自分の背後に非常に低い囁きも、それよりも猶一層低い笑聲を聞いた。それを聞いた瞬間、彼女は自分が二十に餘る人々の嘲笑と役に立たぬ憐れみとの對稱になつてゐる事を覺つた。同時に彼女の臉は又しても火のやうにほてつて來た……

併し往來へ出てしまふと、すぐ一つの考へだけが彼女を支配した——こんな手ぶらで私は家に歸れない。今日はどうあつても温かい着物を持つて歸り明日はあの子に何か滋養になる食物を拵へてやらなければならない。でないと……

あの子は死んでしまふ……

暫く彼女はこんな風にして自分の行先が、どこであるかも知らないやうにして歩いてゐた。右へ左へ、彼女は方向を變へた。歩道の眞ん中に而うなだれて立止まつた倭子は悲愁に暮れたのだ。

欄の上……お光は其の戀人と話をしてゐた。十二月の川面を冷たい風が通り過ぎて行く、

そんな花を附けたって誰も偉いと思ひはしないよ、貴婦人達の遊び相手になるのはおよしよ

お光はじつと自分の臉に附いてゐる同じ臙脂の造花をみつめ乍ら戀人の言葉を默つて聞いてゐたが

やがて無言で其の白ばらを胸からはずし、川の中へ投げ捨てた。そして二人は顔を見合せて、高らかに笑つた。

お光の手から捨られた白ばらは靜かな川面を流れてゐたが、やがてそれは船頭の子供の手に拾はれた。そして子供は誇らし氣にそれを胸に附けて肩を張つて見せた。

其の樣を見てゐたお光とその戀人は又一しきり高く笑つた。お光の戀人はお光に新聞紙で包んだ本を渡して別れていつた。

倭子は新聞店の前に立つて、そこに張出してある新聞の職業案内欄に吸ひ寄せられてゐた。が求める職も見出せなかつたのか、倭子の顔には淡い失望の色が現れてゐた。

お光は歩きながら、何心なく手にしてゐる新聞紙を見た。

あッ！姉さんがッ

お光は思はず叫んだ、

倭子も驚いてゐた。案内欄に失望して何心なく讀んだ三面記事、そこには驚くべき記事がのせられてゐたのである。

狂女嬰兒を掴んで紳士を毆る 騙されて棄てられた派出婦……

……此の女の名は木村すみ子と云ひ……そしてそこには、先日お光が街上で倭子に見たと同樣なお光の姉の寫眞までのつてゐるではないか……

倭子は自分の身に引くらべて、悲慘なお光の姉の運命を思ひなやんでゐた。

お光は狂つた如くに街を走りつづけてゐた。

姉の身を思へば……

姉の苦みを思へば……

お光は悲しんだ。そしてのゝしり叫んだ。

姉の恐怖におのゝく顔、姉をだまし、姉を捨た男の恐ろしい顔、そして小さい丸はだかの赤ん坊

お光は嫉惧みに本當に氣が狂つて來た。

鬼だッ

お光は益々狂ひながら街を走りつてゐた。

倭子も新聞記事による昂奮がまだおさまらぬのか、眼を血走らして歩いてゐた（寫眞は佐久間妙子）

滿日俳壇 募集規定

次回課題「日盛り」「夏帽子」「夏草」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲各用紙に住所姓雅號を記入の事▲締切七月十日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲宛先東京市牛込區若松町八二島田靑峰

川柳募集課題

▽題「弱」「雨」「ハンモック」
▽句 各題五句限必ず別記の事
▽締 七月十日（住所記入の事）
▽宛 大連彌生町一六高山月南

滿日文藝係

新雜誌『健康時代』生る

めまぐるしくも渦巻く事業を乘り切つて現代生活の第一線に立つことの出來るのは、健康の持主にある。シツカリした肉體の保持者にある。

憂鬱なる現代生活、病める現代生活、疲勞したる現代生活、この中に處して、シツカリと自己の歩みを踏みしめて行くことの出來るのは、健康なる魂の持主にある。健全なる心の保持者にある。

すべてに健康であらねばならぬ現代實業之日本社から「健康時代」の發刊されることは當然にすぎる當然ではなからうか。むしろ其の出づべくして出でざりしことの何ぞおそかりし感があるかも知れぬ「健康時代」とは所謂昭和時代である、まこと「健康時代」は今日生活の理想である。身の健康、心の健康「健康時代」は今日生活の標語である。政治の健康、經濟の健康、教育の健康、思想の健康、倫理の健康——「健康時代」は今やはつきりと雪白の旗幟を碧空にひるがへして創刊されることは慶賀に堪えない（七月十二日發賣八月創刊號三十五錢）

海、山、温泉への旅

婦人の旅に就いて「夏の座談會」海水浴場、登山案内等七月號婦人倶樂部に記載されてゐる

巧く當てた小賣商

大連の小賣商人が聯合艦隊の入港の際「狙ひ打ち販賣法」と云ふ宣傳販賣をした巧く當てた實例が七月號の現代雜誌に出て居る

夕刊 滿洲日報

七月七日

發行所 大連市東公園町廿一番地 株式會社滿洲日報社

日傭勞働者に對する失業保險制度を確立

九日東京大阪兩市當局を招き内務省が宣傳を聽取

【東京特電七日發】内務省の失業防止委員會對策部特別委員會は來る九日東京、大阪兩市當局を招致し日傭勞働者の救濟施設の完備助成に關する實狀を聽取した後、政府に對し

救濟施設 に就いて國庫より助成金を交附せられたしとの答申案を作る事になつてゐるが、内務省ではその答申案を參考として愈々懸案の日傭勞働者失業保險制度を確立し國家の助成監督の方法を講じ之に要する經費を明六年度豫算に計上すると内定してゐる現在右保險を實施してゐるのは六大都市のうち東京、大阪、神戸の三市であるが、大體の方法は都市直營で日傭勞働者が勞働により賃金を取得した場合、十錢乃至五錢の掛金をなさしめその代り失業三日目から賃金の約半額の

保險金を 交附し保險金給附三日連續の上一時消滅せしめ、再び仕事を獲れば同樣の方法を繰返す事となつてゐる、今回の内務省で立案せんとするものも之と大同小異であるが、法令又は準則を完備して國家が之に統制を與へ補助金を交附し、且つ監督の方法を講ずる處に新鮮味ありといはれてゐる、その要項として研究されてゐるのは左の通りである

法令の形式 法律によらず他の形式により準則を定め各重要都市をして實施せしむ

保險料 勞働者並びに老人勞銀に對する一定割合の保險料を徴す

國庫補助金 被保險者たる勞働者數又は保險給附額に對し一定割合の補助金を交附する事

强制加入 勞働者の登錄と同時に强制的に保險に加入せしむる事

實施範圍 東京、京都、大阪、神戸、名古屋、橫濱の六大都市とする事

監督 保險制度の圓滑なる運用を企圖するため必要なる監督規定を設けその効果を擧ぐるに努める事

成べく暑休み前に條約御諮詢を奏請

首相鐵相の意見一致

【鎌倉七日發電通】濱口首相は六日午前九時日下海濱ホテルに在る江木鐵相を扇ケ谷別莊に招致し靈公訪問の模樣を告げたる後ロンドン條約御諮詢奏請に關する腹府その他の情報を聽取して打合せを行つたが既に政府が議會で說明もして居り政府としては飽く迄當初の方針に從つて行動し暑中休暇前になるべく御諮詢を奏請するに意見の一致を見た

次の軍縮會議で三大原則を確保

新國防案解決せん

【東京七日發電通】海軍新國防計畫案は加藤軍事參議官の强硬な反對論で停頓狀態に陷つたが氏の反對と作戰、用兵に亘りて畫されその反對意見の根幹は三大原則の放棄を招來した條約の規定そのものにある爲め解決の困難は免れ難い然し條約の批准は國際信義上容易に拒否し難いから政府及び軍令部は潜水艦二萬五千噸の不足はその性能を全く異にする航空機を以てしては完全に補充し難きのみならず一九三六年以後對米六割に低下する八吋巡洋艦の不足は如何にしても補充不可能であるからこれ亦六吋艦を以てしては如何にしても補充不可能であるから若しロンドン條約規定の兵力量が永久に帝國海軍を拘束するものとすれば帝國々防の安全は期し難い

この點に一縷の希望を繋ぎ諒解を得るに努むべく結局は紆餘曲折を經て計畫案は加藤前軍令部長時代の方針を出來得る限り取り入れ一九三五年の會議においては飽く迄三大原則の確保を爲すべきを條件として解決がつくのではないかと見られてゐる

海軍四巨頭會議

けふ海相官邸に開く

【東京七日發電通】財部海相、谷口軍令部長、岡田、加藤兩大將の四巨頭の條約兵力量に依る新國防計畫案審議の第三次會議は七日午後二時より海相官邸に開催さるゝ事となつた

政府の方針不變

奏請の時期は未定

濱口首相鎌倉で語る

【鎌倉特電七日發】鎌倉の別莊に靜養中の濱口首相は七日午前十時自動車で歸京したが、出發に先立ち軍縮問題に關し左の如く語つた

五日國公にお目にかゝつて了解を求め、更に昨日江木鐵相に會つて軍縮條約の話にも觸れたが條約御諮詢に對する政府の方針は從來と何等變りはない、即ち政府は御諮詢期の成る可く速かならんことを希望し暑休前にも御諮詢を經たい考へで目下海軍外務兩省で準備を急いでゐる、海軍側で色々問題があるといふが、御諮詢前に元帥會議を開くか、參議官會議を開くかは全く軍部内部のことで海相が考慮判斷すべきことだから口を挿むべき筋合でない、海軍側で正式會議を開きたい意嚮であれば、政府はその終了を待つために御諮詢奏請を伸ばすことになるか否かはその時になつて考ふべきことである、何れにしても政府としては條約御諮詢の一日も早からんことを期待するが故に海軍側の準備もまた成る可く早く完了すべきことを希望してゐる

參議官會議

十四日以後か

【東京七日發電通】條約兵力量に依る國防計畫については元帥、軍事參議官の間に異論あり、目下の情勢では今明日中に開かれる第三次四巨頭會議にても何等最後的決定を見るには至るまじく、而して岡田大將は特命檢閲のため八日より東京不在となるので非公式元帥軍事參議官會議は岡田大將の十四日歸京後となる見込みである

永井外務次官

加藤大將と會見

【東京七日發電通】永井外務政務次官は七日午前九時五十分加藤軍事參議官を四谷の私邸に訪ひ會談約一時間にして辭去したが、右は海軍四巨頭會議における加藤大將の態度强硬にしてそのため新國防計畫案が未だ決定せず條約案の樞府諮詢奏請を急いでゐる政府の方針に大なる影響を及ぼすを以て永井次官は加藤大將の眞意を聽取したる上政府側の所信を披瀝して諒解を求めたものと見られてゐる

西北軍兩三日中に歸德攻擊を開始

主力戰は徐州に移る

【天津特電七日發】南北の戰ひは疲れ切つたまゝ持久狀態をつゞけてゐるが天下分目の戰ひとて蔣閻兩氏とも更に新作戰に智囊を絞つてゐる、閻錫山氏は再び濟南に出馬し山西全軍に一週日を限りて徐州を攻略すべしとの嚴重な命令を下し後方各地の治安維持に當つてゐた保安隊をも出動せしめ前線に兵力を加へつゝある、蔣介石氏は津浦線明光、張八嶺に堅固な陣地を築き萬一の場合にこれによつて最後の決戰を試み湖南から五ケ師を移動し隴海、津浦兩線に反攻を試みる新作戰を樹てゝゐるが湖南兵の移動は頗る困難とされてゐる山西軍の南進と西北軍の歸德攻擊も兩三日内に決行さるべく斯くて主力戰は徐州方面に移りつゝある

戰雲漠々たる歸德地方

九十八度の炎天下に惡戰苦鬪

戰死兵の屍をあさる鳶烏の群

▽…【歸德四日發電通】外國記者團は新徵募兵を輸送する軍用列車で三日午後三時半徐州發歸德に向ふ九里山驛の南北に白雲山、九里山の二つの丘が隆起し山麓一帶は野營部隊の天幕が立並び丘は塹壕陣地が堅固に築かれてゐる、擔れ違ふ列車は津浦線へ移動する兵と負傷兵を滿載した無蓋車ばかり九里山驛以西は見渡す限り綠野で歸德驛附近は激戰の跡明かに荒寥たる景色である、

▽…歸德驛構內には軍需品彈藥を滿載せる兵站車が溢れ驛から約一町の飛行場からは數臺の飛行機が爆音もけたゝましく離陸してゐる、午前九時兵站總監兪飛鵬氏の案內で列車を乘替へ柳河に向ふ、車中で兪氏を捉へ中央軍一月の食糧を聞けば米十萬俵、メリケン粉三十二萬袋といふので然らば中央軍は七十萬位ゐるかと聞けば兪氏はそんなものだと答へる、

▽…午前十一時柳河に着く、驛の寒暖計は九十八度い暑さだ、總司令部の置いてある列車は炎熱に包まれ嚴重な護衞を附けてゐる午後一時驛附近のポプラの影に設けられた會見所で蔣介石氏と會ふ蔣氏は邵力子、宋子安（子文氏の弟）氏と中山服にニコ〳〵しながらやつて來る、なか〳〵如才ない態度振りだ、氣のせいか白髮が少し增えたやうに見える、

▽…午後二時過會見を終り蔣氏は更に西の戰線視察のため午後四時柳河發李叭集に着く前線までは尙ほ七哩もあるが、遠雷のやうな銃聲が大地を震撼し夕日を浴びて草原には鳶烏が戰死兵の遺骸をあさる光景は酸鼻を極めてゐる、記者團は再び汽車で歸德へ向つた

南軍妥協を畫策

西北軍に對し交渉

【天津特電七日發】南京側では頻りに東北軍の援助を求め關內進兵を促してゐるが一方戰局が長引けば閻馮兩氏の關係は決裂するものとし凡ゆる手段を講じて反蔣派の切崩しに努めてゐるが最近西北軍方面へ手を伸ばし馮玉祥氏を副司令に任命し河南、河北、陝西、甘肅、湖北の五省を地盤として與へることを條件に于右任、潘毅氏等をして運動せしめてゐる、勿論成否は疑問だが更に蔣介石氏の放つた有力な便衣隊は北軍の後方が空虛になつたのを機會に一大暴動をも策してゐるので閻錫山氏としては如何に戰線が擴大されても保定隊を全部南下せしむることは危險だと觀られてゐる

劉氏、南京系の官吏全部を罷免

膠東の公安局長避難

膠東一帶の戰機熟して七日朝龍口より入港の高松丸で龍口、掖縣の公安局長が一家眷族を引具して避難して來た、龍口公安局長程紀叔氏掖縣公安局長謝爾敏氏は一行を代表し交々語る

自分達は南京政府の命令で現職にあつたものだがこの程劉珍年軍の形勢の變化と共に劉氏は私達初め南京政府系統の官吏を全部罷免して新たに自分の部下をこれに代らせた、自分達は永く居る事に危險を感じたので大急ぎでこちらに來たのだが便船あり次第青島へ行くつもりだ、そして青島の民政廳に退官手續をして南京に歸る意志である、劉氏と韓復榘軍とは最近とみに惡化して劉氏は平度、昌邑方面に兵を集中してゐる、尙南京政府系統の官民は續々避難してくる事だらう

膠濟線の主力戰激戰と化す

青島濟南軍の通信連絡にわが領事館が努力

【青島特電六日發】六日拂曉來の南北兩軍主力戰はその後益々激戰と化し膠濟鐵路は昨日より遂に不通となり、濟南發東行列車は濰縣に停車し、青島發西行列車は濰縣以東、張店、濟南間のみ通じ青島、濟南間は全部不通となつた、電信は勿論一般公衆電話は濰縣以東、張店、濟南間のみ通じ孤立となつた沿線濟南へ對する連絡の方法につき領事館當局は最善の努力中である

膠濟線不通

【青島六日發電通】山西軍の前敵總指揮曹福林氏の攻擊開始令に對し時中の中央軍韓復榘軍は五日午後九時半より開戰十時より主力戰が演ぜられたが、韓軍は鐵甲車の威力を示し山西軍は空軍で爆彈を投下して一進一退今や兩軍の陣地は酣である、今朝に至り山西軍は主力を樂安に移し敵の側面を衝く作戰が相當効を奏しつゝあり、韓軍は陣形はこの方面から龜裂する模樣である、なほ膠濟戰はこのため本日不通となつた

閻軍地雷火敷設

【濟南六日發電通】山西軍は韓復榘軍の鐵甲車に備へるたため辛店の東方線路上に地雷火を敷設した兩三日中に劉珍年軍とこれを挾擊して韓軍を擊退する計畫であるが、韓軍が頑張つて長延くやうであれば改めて懷柔の方針を取り長

東北艦隊は將來葫蘆島に駐防か

張學良氏近親に漏す

【天津特電七日發】確實なる方面の消息では張學良氏は將來葫蘆島を軍港とし東北艦隊を同地に駐紮せしむる方針である、これは張作霖氏生前からの希望で北寧鐵路の收入で取敢ず築港だけを急ぎ完成の曉は直ちに軍港に變更するものであることが張學良氏より最近近親に漏らされたと

工事を始めた葫蘆島築港（上は築港中の苦力、下は築港中の新工廠）

走馬燈

滿鐵（其七）　狄川

滿鐵を退きし人に、滿鐵は滿洲で、他に職を與へる如く努めよと云つたが、其人も之を待たないで、滿洲に留まるよう、其處での仕草を求めて欲しい、職を求むる必要なきものでも、遊ぶ仕草を考へようじやないか、同じ遊ぶでも、滿洲で遊べば、こゝで眠る廿萬の忠靈を慰め得る此忠靈こそ、其の人々と否在滿邦人と滿洲との緣を繋ぎ、滿洲を今日あらしめたものならずや

併し遊ぶよりは、稼がにやならぬ、曾て滿鐵は、獨立守備隊の滿期兵に、土地を貸與したことがある。◇

其結果は面白くなかつた、开は制度其者よりは、指導監督の宜しきを得なかつた爲と思ふが、爾者大連農事なんどの起つて、此業に從ふ、それで何も滿鐵が職を與へないとて、滿鐵を退きし人は、奮つて其經營に從じ、自力本願を立て通すことも出來る、ならうことなら斯る自力を發揮して、國家の爲め、滿洲で働いて貰ひたい、已むを得ねば同じ國家の爲に、殖民地の經驗を應用して、他の殖民地に移る方法もあるようだが、之も惡いとは云はぬ。◇

されど其地の經驗を、其地で活用するに越したことはない、就け此途に、滿洲にも花は咲くではないか、斯くて滿鐵は、職制を改革し、關係會社を整理し、之が爲に淘汰した從業員の間にはさしたる失業問題をも起さしめずして、これから一路事業に邁進せんとす、そこで考ふべきは、滿鐵の事業が國際經に營まれそこに民國と露國との競爭あることとなるが、露國との競爭は東支鐵道を本位とし、其東支鐵道は露支合辦なるが故に、勢ひ競爭の主體は民國と云ふことになる。◇

滿鐵は常に民國側と妥協調和の精神に立つが、近頃此競爭が絶へず民國側から仕向けられ、最近日東京の滿鐵株主總會に於て仙石總裁は實に此競爭に言及して其覺悟の一端を披瀝す、第一に協定、次には競爭と、是なるかな、總裁の新經綸がこゝから迸り出ねばならぬ、滿鐵に在るものは、先づ覺悟の臍力をそれに固めてかゝると、近今滿洲での問題となつて居る、葫蘆島の築港、其起工式も濟んだが、敢て問題とならない。

濟南放棄は豫定の作戰

南軍參謀長談

く交通の阻害はせぬと司令部では說明してゐる

【歸德四日發電通】中央軍參謀總長楊杰氏は記者團に對し左の如く語る

中央の作戰は北軍を追拂ふのではない、これを全滅して將來の禍根を去るに在る、だから敵を引寄せて一度に殲滅しやうとしてゐる、濟南放棄も山西軍を黃河以南に誘ひ寄せる豫定の作戰だ山西軍が濟南に籠城すればこれを攻めねばならぬが、外交問題を起す虞れあり、中央は暫く自重するが、若し南下したらその時は思ひ切りやつつける、しかし若し何時までも籠城したら外人の退去を求めて攻擊せねばなるまい

山西軍保安隊南下

【濟南特電七日發】當地方の山西軍はその後續々南下したので後方の治安維持の爲め北平の保安隊第十二旅は六日入濟した、尙保安隊は續々南下して戰線に加はりつゝあるが山西軍も戰線擴がると共に兵力の不足を感じて來た

滿鐵定員制更正

職制改正に伴ふて

滿鐵は職制改正以來各箇所共殆ど根本的に改組されたので從來の定員制は全く用を爲さぬこととなつてしまつたので近く新たに新定員を定める筈であるが五年度更正豫算を急ぐ關係上取り敢ず暫定員を定めることゝなつたと

滿鐵檢查課の規定成案

滿鐵改組に依る新設の總務部檢查課は部内にて檢查規定の作成を急いでゐたが漸く出來上つたので七日文書課に提出審査中である、尙同課はその事務の性質上事務分掌規定は設けず定員の決定次第檢查心得ともいふべき內規を定めると

次官、資源長官歡迎會

來滿中の宇佐美資源局長官は九日午後八時三十分同小坂拓務省政務次官は十日午後八時三十分着列車で何れも來連するので大連では神田民政署長、田中市長、村井商工會議所會頭、張大連、關小崗子兩華商公議會長發起の許に來る十二日午後七時より大廣場ヤマトホテルにおいて官民合同の歡迎會を開催する事になつたが會費は金三圓當日持參の事、出席希望者は十日まで市役所總務課まで申込んで貰ひたいと

駐日佛大使

信任狀を捧呈

【東京七日發電通】曩に新任した本邦駐劄佛大使マルテル博士は七日午前十時半宮中に參內鳳凰間において天皇陛下に拜謁仰付られ恭しく信任狀を捧呈し一旦退下正午再び參內御陪食仰付られた、なほマルテル大使の捧呈に引續きペルシヤ公使アワネス、ハーン、モエサツー氏も信任狀を捧呈した

日支連絡電話成績

遞信局管內における六月中の日支長距離連絡通話取扱數は五月以降漸次利用數を增し總計三百五十二通で前年同期の二百三十五通に比較し約五割の增加を示してゐる、その主なる利用區間は奉天、天津間の二百五十三通を初めとして安東縣、奉天、支那間の四十三通、大連、天津間の三十八通、大連、奉天支那間十一通等でまた奉天における日支市內連絡數は日本側發信六千五百五十七通で支那側發信六千二十九通であると

支那電報利用範圍擴張

支那內地相互間に發着する電報で從來關東廳遞信局管內を通過する場合は大連芝罘線に限られてゐたが今回大連、長崎線および長崎、上海線とも通過せしむる事の出來る途が開かれた、右は遞信省から七日當地遞信局に入電あつたもので多分支那動亂に依り支那內部通信機關の萬一における故障を顧慮しての結果斯く利用範圍を擴張したものゝ如くである

人事

▲中尾大次郎氏（大連市衞生課長）七日新任挨拶のため市內各方面歷訪

▲杉山虎雄氏（大連市社會課長）同上

大觀小觀

ロンドン海軍條約、御諮詢奏請政府はあらゆる手順を踏んで萬、遺漏なきを期すものの如し

◇

元帥や軍事參議官連も、國防兵力量の重大問題であるから、充分納得の行くまで質問し、消窮するも、國家のため當然といはねばならぬ。

◇

而してまた樞密院が、御諮詢に對し奉り、慎重審議、遺憾なきを期する、これまた當然の歸結である。

◇

連日の濃霧、奉天丸とタンプト號との衝突を餘儀なくす。不可抗力とはいふもの、危險、危險、注意肝要。

天氣豫報

八日（南東の風）曇模樣驟雨亦は

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二二、二	二八、七
旅順	二二、三	二七、八
營口	二九、一	三一、三
奉天	三〇、三	三二、九
長春	二七、六	二九、七

滿潮 午前八時三十五分 午後八時四十五分
干潮 午前一時二十五分 午後三時〇分

今年こそは

浴衣黨の大萬歳

インドに於る關税引き上げと銀安で輸出がバッタリ止つて

吳服屋さん大滾し

後から後から押寄せる世界的不況の狂瀾の中に揉み流され、我國の商業界は今や衰微の極に達してゐるが、なかんづく機業、紡績界の慘狀最も甚だしく、生糸の値段は四日に六十六圓臺となり取引所開所以來空前の安値を示し、綿糸は先月二十五日に九十八圓となり、いづれも前年に比して半額の相場であるが、その結果、吳服類の小賣値は昨年に比して、ぐつと下り絹物、木綿物共に二割、三割方安い、三越の嵯峨一物として目下賣出してゐる手拭中形一反五十錢、白縮などは昨年の半値で、こうなると布よりも綿の方が高くなつて來る、その他銘仙も三圓から五圓前後で賣出してゐるが、五十錢の浴衣が着れるのだから本年の浴衣黨大萬歳だ、右に就いて三越吳服部では語る

從來、日本綿糸の二大出先であつた印度が關税引上のために、支那が銀安の爲め何れも全く出なくなりましたので實に無茶苦茶な安値で、大正三年以來の暴落ですが、弱氣は八十圓位まで下るだらうと見てゐます、また原棉が本年餘

◇…米國の つて例年百萬俵持ち越すのが本年は四百萬俵も持越してゐますまあ普通小賣値が手拭中形昨年の一圓七、八十錢に比して本年は一圓四、五十錢、眞岡地が昨年の二圓五十錢前後が本年は一圓九十錢、紹、ボイルは昨年七八圓だつたのが本年は二圓五十錢乃至五圓といふ有樣です、また生糸の暴落はひどいもので例年なら毎月七、八萬俵米國へ輸出するんですが昨今では三萬五千俵前後といふ有樣で半分以下です、大體

◇…生糸の 相場が全然米國に左右されてゐるんですから殘念なことです

魔の山東角沖合で

ノールウエー船沈沒す

今曉、濃霧のため奉天丸と衝突

乘組員全部救出さる

濃霧シーズンに入つた、曇り硝子の中を行く樣な今日近海の航海、船舶にとつては生命とりといはれるガス季節、七日午前四時五十五分この忌むべきガスの中で船首の鼻先に他船をひつかけ瞬間に沈沒せしめた最近珍しい海難事件が發生した。

大連汽船所有の上海—青島定期船奉天丸（三千九百七十六噸、船長穩田一橋氏）は七日大連入港の豫定で昨夕青島を出帆し濃霧のうちを航行中であつたが、今曉四時五十五分、北緯卅七度、東經百廿二度三分山東高角と南島角の間即ち山東角を去る三十浬の地點において折柄菜島を出帆して

上海に 向け航行中の開欒炭坑傭船ノールウエー船ダムプト號（二千四百九十四噸）と衝突、密閉したガスの中に關東州置籍船としては曾てなき海難事件を惹起した、奉天丸は幸ひ大した損害もなかつたがダムプト號は遂に瞬時のまゝ沈沒の災に遇ひ濃霧中に阿鼻叫喚の世界を現出した、幸ひ奉天丸乘組員の獻身的努力によつてダムプト號乘組員船長ほか白人五名、支那人三十五名は完全に救出した、奉天丸では突嗟のうちに午前五時四十分

第一信 を發したが、右によると 衝突相手は沈沒船長以下乘組員全部を救助收容 とあり、次いで第二信として七時前衝突當時の模樣を報告してゐる即ち

午前四時五十五分濃霧中において衝突、他船の右舷一番船艙の中央に奉天丸の船首を打つけて本船は僅か左舷スラム船首、外板水線上部に擦損を受けたのみであつたが他船は遂に沈沒したとあるが、大連汽船本社では乘組員を全部救出したと聞いて安堵の胸を撫下してゐた、尙同地は濃霧時期において航海業者にとり魔の場所といはれてゐるが、昨年のガスシーズンにおいても今回の事件と同樣の事件即ち郵船所有

龍野丸 が同じ山東高角において支那汽船と衝突し支那船を沈沒せしめ乘組員を全部救助した事もあると

い限りどちらが悪いか好いかこゝで判定する事は出來ないしまたソウ輕々に口外は出來ないが要するにガスの故ではないかと思ふ航行者にとつてこのガスと云ふものは實に恐ろしいもので海難事故統計の上でもかなりの數に上つてゐる、何れ入港と共に穩積船長並びにダムプト號船長を呼び出したりへ色々聞く事にしてゐるがやがて海事審判に廻る事と思つてゐる、コウいふ問題は相手方が何分外國船で國際關係を加味してゐるから少しばかり難しい問題である、當局では目下港務課員に色々材料を集めさせてゐる

今夕六時入港

午前七時四十分當地大汽本社へ奉天丸よりの入電によると七時半衝突現場を出帆濃霧の爲め警戒航行

全乘組員を救出

先づ安堵した

奉天丸は豫定通り大連出帆

大連汽船で語る

衝突事入電と共に大汽本社は色めき渡り次々に來る情報に善後策を講究中であるが大汽では語る

大變な事です、細い事は判りませんが相手方を沈沒せしめたと云ふので人命にもしやと心配しましたが幸ひ一人殘らず救ひ上げたといふので安堵しました、こちらの船は僅か許りの擦損で濟んだ樣です、まあ船が六時に入港しますからその上でよく聞く事にしてゐます、なほ奉天丸の出帆時が變更しないかと心配される向もありませうが期日通り出帆する事になつて居ります

珍らしい

海難事件

目下材料蒐集中

岡本海務局長談

大連無電局より右報告を受けた當地海務局では港務課が主となつて當時の材料蒐集に多忙を極めてゐるが岡本海務局長は語る

私もさつき聞いて驚いてゐるところだ、關東州置籍船で相手方を沈沒せしめた事件としてはまあ珍らしい方だ、種々聞いて見な

妥協か決裂か

漁撈海員組合と海上勞働同盟にゴタ〳〵

過般創立された關東州漁撈海員組合と大連海上勞働同盟組合との間に早くも勢力爭ひが惹起し目下紛糾を續けつゝあるが、所轄大連署では正面衝突を虞れ双方の態度に嚴重警戒の眼を放つてゐる

紛糾の 原因につき探聞するに今回創立した漁撈海員組合では其の使命と目的を同じうする海上勞働同盟組合が別個に存在し對立することは海員の權利及び利益増進のため共同戰線の上に立つてゆくに支障を來すといふので、今回海上勞働同盟組合に對し合併加入方を申込んだところ、同盟組合側は漁撈海員組合創立に當り何等一言の挨拶もなく、そのうへ古くから存在する組合

加入方 を慫慂するといふ漁撈海員組合の態度は横暴であると憤慨し之を拒絶したことより紛糾を生じたものである、而して双方代表者は七日午後一時會見し意見の交換を行ふ筈であるが、この結果妥協か決裂か非常に注目されてゐる、なほ漁撈海員組合には資本家の勢力が多分に注入されてゐるのに反し、海上勞働同盟組合は資本家に對抗すべき純勞働團體であるが爲め、第一漁撈海員組合に合併加入する如きことある場合は組合間に動搖を來し勞働問題の惹起をおそれられてゐる

逃走を發見され

絞殺暴行す

犯行後平氣で蒲鉾店で働き

潮時を見て高飛び

犯人と決定した下郡春二郎は昭和二年八月より市内西通西村蒲鉾店の信濃町販賣店帳場主任として雇はれてゐたが、豫審決定書に現はれた小河内工專教授夫人殺し當時の模樣を見るに、同年十月二十八日平和臺栗田次郎方に蒲鉾の配達を終つての歸途、同町二番地南滿工業專門學校教授小河内美男氏宅前に來り同家を覗くと急に窃盗がしたくなり、裏口に廻つて勝手口より家内に忍び入り應接間の机の抽斗から赤銅側時計、銀側ストップウォッチ一個を窃取し逃走せんと廊下に出たところ、小内山夫人ハマ子に發見され

格鬪中 急に劣情を起して布切れでハマ子の兩手を縛り上げたが、なほ抵抗するので勝手口より食堂に通ずる廊下に突き倒し布切れを頸部に卷きつけて絞殺し、遂に暴行の目的を遂げ死體はそのまゝにし、裏口から何喰はぬ顔で西村方に逃げ歸つたものである、それより春二郎は全市警察の大活

初音町の夫人殺し

下郡有罪と決定す

昨年十月朝鮮から押送取調中

けふ豫審終結公判に

過ぐる昭和二年の秋、殘虐な殺人事件として市民に多大の恐怖を與へた市内初音町南滿工業專門學校教授小河内美男氏夫人ハマ子、當時(三一)殺しの犯人容疑者として昨年十月平壤警察署より大連地方法院に押送されて來た原籍大分縣北海部郡佐賀關町、當時市内西通一〇二番地蒲鉾商西村松藏方店員下郡春二郎(二)は、爾來川畑豫審判官の手で豫審續行中のところいよ〳〵七日午前十時豫審終結、有罪と決定し強盗、強姦致死、横領、詐欺、窃盗、背任の罪名で公判に附せられた（寫眞は下郡春二郎）

彼は性來の

遊蕩兒

重ねた罪〇數々

横領し ゐた店の金を攫んで朝鮮に高飛びしたのであつたと同月廿五日かねて

動をよそに信濃町販賣部で眞面目に仕事に從事し、巧にその筋の目を晦ましてゐたが昭和三年二月ごろ世間の騒ぎもどうやら靜まつたのでこれを潮時に大連から逃れん

夫人殺し春二郎は性來の遊蕩兒で西村蒲鉾店に雇はれ中、昭和二年十月ごろから翌年一月までに前後數十回に亘つて賣上金および集金中より約一千圓を横領し遊興に使ひ果し、なほ三年一月四日市内壹岐町井上和助方で主人の使ひの如く裝ふて四十圓を借用騙取し、越て二十一日市内信濃町市場下村正夫方でも同樣手段で四十圓を詐取してゐる、更に工專小河内夫人を殺害し朝鮮に高飛びしてからは生活に窮し各地で窃盗および詐欺を働き、昭和四年七月六日朝鮮平壤府内賑町遊廓

文明樓 こと小山水次方で十四圓七十錢の無錢遊興をなし、賑町警察派出所へ自首して出たものである、當時春二郎は悪運の盡きと見てか、平壤警察署の取調に對しても今日までの積惡を逐一自白し、更に上郡山大連署刑事の手で大連地方法院に押送されて以來豫審廷においても罪の一切を自白し法の裁きを深く受けると豪語してゐるさうである

全滿洲軍

練習を開始

慶應陸上選手の來征に備ふ

既報の如く全滿洲對慶應大學の對抗陸上競技は八月九、十の兩日大連運動場に於て擧行されるが、全滿選手として選ばれた卅二名は六日大連運動場に於て開かれたヘンデイキヤツプレース終了後午後六時三十分より「いろは」に於て第一回選手會議を開催して練習方法等を協議した結果、コーチに岡部平太氏、マネーヂヤーに高橋俊夫松重秀雄兩氏を、また主將に小數賀澂一郎選手を推薦し、毎日午後四時より大連運動場に於て練習を開始することになつたが一般の練習希望者の參加も歡迎する由

海水浴場に

救護所開設

赤十字支部で十一日から

日本赤十字社大連支部では例年の通り今年も七月十一日から（毎日午前十時より午後六時まで）夏家河子および星ケ浦、黑石礁の各海水浴場に常設救護所を開設し、一般傷病者を無料救護することにした、尙このほか市内十四小學校の兒童水泳および海濱聚落期間中はその校附添の赤十字看護婦をしてこれまた兒童の救護、公衆のためにも手當をなさしむることにし、因みに看護婦の所在地には必ず赤十字旗を樹てゝあるから何人でも遠慮なく申込んで治療を受けて貰ひたいと

中であるがダムプト號船長ほか白人三名、支人三十五名を收容、午後六時大連入港の豫定であると

『久米正雄を暗殺』

深刻な世相に麻雀趣味の鼓吹

怪しからぬとAKに凄い電話

【東京特電七日發】六日午後六時から久米正雄氏が東京中央放送局で「麻雀と人生」なる題のもとに麻雀趣味に關する放送をせんとしてゐた矢先突然放送局多田講演部主任に「この深刻な世相に麻雀趣味を鼓吹する如き放送は怪しからぬから久米正雄を暗殺する」と物凄い電話をかけて來たものがあつたので、放送局では大いに驚きその男の名乘つたところにより日本橋區瀨戸物町佐藤寬治につき愛宕署で取り調べたが判明せず、當の久米正雄氏は正私服巡査多數に護られて漸く放送を終つた

黑川博、二段二宮武雄、福島勇一、木下銳五郎、初段川合新司、春名齊、金岡初雄、森口榮一、永谷光雄、綱島光男、一級石田重内、上田千代次、上田三郎、名倉彥一

同志社大學

柔道部來征

關西の大學專門學校の柔道界に雄姿する同志社大學柔道部は同大學先輩大每支局員今尾登氏の斡旋に依り愈々滿鐵柔道部の招聘に應じ八月五日神戸出帆のばいかる丸で八日當地に到着することになつた、一行十五名は同校教授藤田義彥氏、師範田畑昇太郎八段に引率され七日旅順見學、八日大連に於て試合を行ひ奉天撫順に於て一戰を交へ長春ハルビンを見學のうへ陸路朝鮮經由歸校の筈であるが、一行は左の如くである

▲部長藤田義彥教授▲師範田畑昇太郎八段▲選手三段林義雄、

許嫁なしと素見されて阿片自殺を圖る

市内王陽街一一三番地宿屋業王家泰の長男王先再(二七)は六日朝友人と共に附近の氷店において會飲中お前の弟等は皆んな許嫁があるのにお前のみは許嫁がないのは男として意氣地がないではないかと友人より素見されたのを悲觀して、同日歸宅後阿片を嚥下して自殺を圖り苦悶中家人に發見されて直ちに同濟病院に收容し應急手當の結果生命は取止めた

大連運送業組合内の不正事件不起訴

多大の疑惑をかけられてゐた大連運送業組合内の不正事件は窪木檢察官代理の手で連日山根理事長以下關係者を召喚取調中であつたが犯罪となるべき證明なく七日不起訴處分となつた

線路に轢死體

七日午前四時十五分大連驛發第七三列車が大連驛から三列車が大連驛から三キロ沙河口驛附近を進行中線路附近に支那人の轢死體あるのを篠原機關士が發見、この旨沙河口署に屆出でたが右支那人は年齡廿七、八歲白ズボンをはいてゐるのみで懷中には何物もなく、六日午後十時ごろ同所通過の下り列車から飛び降りた無賃乘者ものらしく目下身元取調中

艶色生膽祕譚 (65)

伊藤松雄作
河原塚龜太郎畫

哀別(一)

「あいつア、御存知の通り足疾目纔の男でさア、とつくの昔に小屋へゆきついてるか知れやせん」

反つて重五郎は左近を慰めるやうに云つた。

「さア、さうであつてくれゝばよいが」

「とにかくお伴しやせう、いつまでもこゝいらにまごついちやアゐられませんぜ」

「それもさうだ」

大刀を鞘ぐるみ、杖に突き、やつと身を起したが、忽ちうづく脚の痛み……

「あッ、痛ッ……」

「や、御脚を怪我なさつたか、こいつア弱つたな」

重五郎は心配さうにのぞきこむ

「なアにたいしたこともあるまいて……」

左近は歯をくいしばり、痛みを耐へて歩きだした。

「ええ、そいつア無理だ、さ、あつしの肩におつかまんなせえ、とにかくブラブラゆきやせう、反つて夜が白むでくりやアまた云ひぬけも出來ますが、恰度こゝいらは奴等が關路、うかつにとがめられたらひでえ眼にあつちまふ」

年は老つてもガッシリした重五郎の體軀、たのもしげな職人の肩に、左近は全身を託して歩きだした。

「重五郎どの、三藏とはどう云ふ御縁邊かな?」

まさかに三藏が生命までもと打込んだお染が重五郎の養女とは知らなかつたからである。

「義理ある仲でさア」

重五郎は重く答へたが、どこかに云ひ足らぬらしい口吻。

「して、三藏が卅年の月日一度も逢ふたことのない生みの母とやらは?」

「宵のことで、實アあつしが三藏の野郎、他の見る眼もみじめなほど母親に逢ひたがつてゐますんでつい心當りをつきとめてゆくてえと、やつとのことにさがしあてたてえ譯で」

「ほう、どう云ふ御婦人かな?」

「……ええ、旦那樣、さう根に葉に問ひつめられちやア、もうこの上默つてもゐられねえ、何もかもぶちまけちまいやせう。きいておくんなさい」

重五郎はポツリポツリと唇を開いた。

それによるとこの重五郎、三藏の父親であつた。

つまりは重五郎と妖婆お力との間に生れたのが三藏、夫婦とも〴〵御嶽にこもり行をつゞけてゐる留守の間に、嫁のお力を追ひだしにかゝた重五郎の兩親つまりは三藏の祖父母、神かくしにあつたと觸れて三藏を他村へあづけてしまつたのである。

處がこれを信じた重五郎お力の夫婦は、家に居耐れぬ辛さに加へて、三藏の行衞さがしもありかた〴〵家を捨、郷國に背いて巡禮の旅に出たのであつたが、ついしたはづみで夫婦の間にもひびが入り別れ話となつてしまつた。

で、それから三十年の歳月、重五郎は甲信の山々かけて鑛師生活も營んで居り、その間には三藏ともめぐり逢ふ機會も再三あつたが明らさまに親の名告りも出來ずにゐたわけ、その揚句がお染と云ふ養女あいてにこの十年江戸に出で猿芝居の太夫元として糊口の途を講じてゐたのである。

「そのお力が、まさかに御嶽で修業した口寄せを商賣にしてもゐまいと考へたがあつしの落度で、處が旦那樣、今日も今日、年さがりにヒョンなことからやつとお力の在所つきとめましてな、三藏めに別れて卅年夫婦が別れて廿年いまとなつちやア二昔三昔前のいざこざも忘れ、お互どうでたより少い身でさアね、せめては親子の名告りをしあはうとた……、旦那樣御覽なすつて、年を老つたせいか、やたらに涙もろくばかりなつちまいやして」

重五郎は泣いた。

「縁邊も縁邊、三藏が生みの親とは驚いたなア」

左近はかうしためぐりあいを涙ぐましく且また羨ましくさへ感ずるのだつた。

「ああ、それに比べると、俺などは、骨肉相喰む醜事のみつゞけて來た」

われとわが身を顧みれば傷だらけで、血まみれな、姿をまざまざ見るが如く、嘆かずにはゐられなかつたのである。

キネマと演藝

大日活に集る人氣 本社の映畫會

花形俳優片岡千惠藏主演の「風雲天滿草紙」に集る人氣と本紙連載中の映畫物語「この母を見よ」をスクリーンに見る興味によつて本社主催の大日活に於ける「この母を見よ」の會は初日以來大入滿員の盛況をつゞけ好評を博し、殊に女性間に異常なセンセーションを卷き起しつゝあるが、本紙讀者は刷込みの優待割引券を利用されたい

帝キネ問題はその後この頃の天氣のやうに一向ぱつとせないが▲吉田氏も既に大阪から歸り木村帝キネ事務長も昨日の船で歸連した▲その話によると矢張り一時保留であるが、結局は營館に行くのではないかと見られてゐる▲近く來演するスズラン座のレヴュウ團の第一回公演曲目は「忠臣藏」二十四景が呼び物▲そして約一ケ月滯連して次から次へと新しいものを公演してふんだんにレヴュウを見せると

「この母を見よ」映畫會開催
會場 磐城町大日活に於て
會期 七月三日より一週間
會費 讀者階上七十錢階下五十錢
片岡千惠藏主演の時代劇「風雲天滿草紙」
主催 滿洲日報社

『この母を見よ』讀者優待割引券
七月三日から大日活でこの券持參者に限り 階上七十錢 階下五十錢
主催 滿洲日報社

『この母を見よ』讀者優待割引券
七月三日から大日活でこの券持參者に限り 階上七十錢 階下五十錢
主催 滿洲日報社

大連棋院臨時稽古碁戰

四段 都筑米子女史
五子 鳴尾直人氏

—【1】—

○一への六 ●二への四 ○三トの十六 ●四ニの十四
○五への十二 ●六ホの十三 ○七ホの十二 ●八への十二
○九ホの十一 ●一〇トの十四 ○一一ルの十七 ●一二ヌの十三
○一三レの十四 ●一四タの十四 ○一五タの十三 ●一六ヨの十四
○一七レの十三 ●一八レの十六 ○一九レノ十 ●二〇カの十六

▲四段都筑米子女史講評 黒十八(い)に打つ方がよろしい黒二十は此場合にては(ろ)の處がよろしい

◇◇都會双曲線◇◇

都會に出て來た青年男女が都會の凡ゆる感觸に生活する樣を描いた林房雄の小説を帝キネが高見貞衞が監督映畫化したもので「何が彼女」に次ぐ前衞映畫として宣傳されてゐる【演藝館上映】

遠山滿の小劇場 再連して組織

日下沿線巡業中の劍劇遠山滿一黨は旅順奉天長春を經て五、六日撫順、八、九日安東、十、十一日平壤、十二日より十八日まで京城に出演し釜山打ち上げ後、再び來連して一時休養の上、座員の一部分を以て小劇場を組織し公演するとのことであるが、小劇場の內容その他は一切不明であるも小劇場運動を興すものでないかと見られてゐる

大連 JQAK

七月八日午後七時三十分
▲ラヂオ體操
▲支那語講座(初等第五課)滿鐵學務課秩父固太郎
▲講話(人物觀察方法に就て)公正社長衆井林藏
▲オーケストラ(一)夕の星歌劇タンホイゼルよりワグネル作(二)バグダットの酋長序曲ボイエルデー作ヤマトホテル管絃樂團
▲長唄(娘道成寺)(唄)杵屋榮多賀(三味線)深野ひな子(三味線)河野ゆき子
▲支那唱(趙五娘)(唄)齊蓮香(師付)王振泉
▲料理獻立
▲天氣豫報

異常な期待裡にけふから滿洲見本市蓋明く

早朝より續々押寄する被招待者　何れも自慢の陳列品

日滿貿易並に滿洲商業界の取引改善上特筆大書すべき第一回滿洲見本市は異常の期待裡にいよ／＼今七日より華々しく開かれた、此の日、朝來招待標であるが招待された二千五百餘名に上る全滿及北支の有力商人達は八時の開市を待ちかねて續々つめかけ、十一時頃には早くも日商七百八十名、華商二百四十名に上る、準備全く整つた大連取引所、商工會議所の兩會場は三府、一道、二十五縣、一州の自信ある用品物、約六七萬點にて五百の小間をうづめつくし、各府縣それ／＼凝つた意匠のもとに陳列され、贅澤品や日用必需品の殆ど總てを網羅してゐる、會場を一巡すれば緻密にゆつくり下見してゐるもので各小間とも充滿し、商談室や各小間の商談卓等は何れも殆ど總てが使用され商談を進められた

大藏理事參觀

大藏滿鐵殖產部長、武部同次長は七日午前八時滿洲見本市第一會場に到り、神成輸組聯合會理事長案內のもとに約三時間を費して各小間を緻密に見廻り、理事長や各府縣團長と腑に落ちるまで質疑應答するといふ熱心振りであつたが八日は第二回會場を參觀すると、なほ神田民政署長を初め各方面の有力者も參觀した

豫想よりも成績は良好か

賣手買手の批評

元來第一日並に第二日の午前中位は見本につき買手の愼重な比較研究が行はれるので七日午前中の賣上高は少額であつた、然し一般の觀測によれば豫想より餘程活氣あり、買氣相當に潜在してゐると謂はれてゐる、有力筋の賣手及買手達の談話を綜合すれば左の如し

賣手側　萬端行屆いてゐて結構です、一例を申せば內地の見本市と違つて船車割引券や徽章などが前以て送附された事なども小さな事の樣ですが我々としては氣持よく乘込めました、強いて不足を申すならば小間が狹隘なのが苦痛です、大阪あたりは收容しきれずに倉庫に入れてゐる見本が少くありません、商談室も結構ですが小間內に帷をたれてその內でゆつくり話せる樣にしてあるのがよろしいです、それでバラック式でもいゝからもつと廣い會場を歡迎します、それから買手の銓衡も隨分苦心されたと聞いてゐますが我々の大切な得意先中には隨分洩れてゐる向きがあります、一例を擧ぐれば安東には四、五軒の有力な金物商がありますがその中一軒しか招待されてゐません、今日は下見日ですが相當買手があるやうに見受けられ喜んでゐます、

買手側　貴紙の報道により大いに期待してやつて參りましたがその期待が裏切られなかつたのを喜びます、我々商人にとりましては絶好の機會が與へられた譯で、從來の見本市と違つて各府縣ものを自由の比較研究することが出來るので、意外に割安で品のよいのを發見し直接取引が出來ます、自分の取扱品はいふまでもなく、その他の商品についても實物を前に種々商品等を身につけることが出來ます、それでいろ／＼の事情のため仕入れない向きがあつても、得るところの無形の利益は決して少くないでせう

寫眞　滿洲見本市　上＝陳列場に於ける參觀者　下＝參觀中の大藏滿鐵理事（中）武部殖產部次長（右）並に案內中の神成見本市總務部長

滿洲見本市前書（四）

雜觀的批評と希望

最も肝要なことは約定がスムーズに履行されるといふことである、約定高の豫想については今回の開市が計畫發表後期間が短かつたこと、銀價慘落のため華商方面の約定が殆ど見込まれぬこと、不景氣が深刻なるのみならず物價低落の一途を辿りつゝあること、從來の取引關係を俄に絶ち難いこと、滿洲見本市の先廻りをして買込に力めた筋が多いこと等々の爲に十人十色で殆ど豫想立たぬが、恐らく試驗仕入が多く約定高は餘程少なからうといふ點に於ては殆ど一致してゐる、無論主催者や後援者方面でも約定高の多少は初めから問題とせず、專ら滿洲見本市の宣傳に力め取引の圓滑を期することに依り見本市の信用を繋ぐことを主眼としてゐる、かくて成績如何は約定等によらず、約定が圓滑に履行されたかどうか、少量でよいから試驗仕入品が多種にわたつたかどうかといふことによつてのみ測定されねばならぬ

◇

從來の個別見本市の成績を徵するに府縣廳の內務部長や關係課長等が附添ひ來り、地元の輸入組合あたりでも相當斡旋したのに拘らず見本と現物の相違、發送期月の遲延、荷造の不完全乃至下り荷の爲め受荷拒絶、支拂の不圓滑等トラブルが甚だ多いのに惱まされた、これには種々の原因があるであらうが、一般關係者が見本市に訓練されてゐないこと、內地の見本市と違つて從來殆ど取引がなかつた當事者間に約定成立すること（これは滿洲見本市においても同樣である）なども有力な原因として擧げることが出來る、そしてトラブルの原因は半ば賣手側にあるのだから強ち買手側の素質のみが惡いとはいへないやうだ

◇

されば滿洲見本市に於てはこの點に熱心な考究を加へ、千名以上に上る輸入組合員に對しては組合を經由して成約した取引に付てのみ組合が責任を以て約定品の受渡及び代金の取立をなすことになつたからこの分は先づ心配はない、次に組合員外の約定に於ても輸入組合を經由したものに對しては買主を支拂人とする代金取立爲替手形及び貨物引換證を組合宛發送させ買主は組合理事と其仕拂方法を協議決定し貨物引換證を組合から受取ることになつてゐるので、これも相當の效果があるのだらう、その他賣手買手共各地別に團長制度を採用して取引上のアドバイザーたらしめてゐるが實際のところ外國商人の取引に關しては有效な適策がないのが事實である

◇

そこで日華露商の何れを問はず取引當事者は時節柄、思惑乃至は投機的商法を用ひず、最も愼重な態度で堅實に約定し、專ら誠意を以てこれが履行を果すと同時に主催者側並に各地團長は公平な立場において取引の遂行に盡力せんことを望んで已まぬ、半公的取引場裡に於て敢て不信行爲の暴が犯さんとするものがあるならばその人は先づ己の信用が地に墜ちることを覺悟せねばなるまい

◇

最後に滿洲見本市界は今や滿洲見本市によつて統一されたが必要あつて本市利用のほかに開市せんとする向きがあるならば、それは決して拒まるべき性質のものでない、滿洲見本市主催者側に於ても府縣主催と個人主催とも問はず從前通り斡旋する方針であると聞及んでゐることを一言しておきたい（完）

三省製粉業者聯合大會

窮狀打開協議

ハルピンに於ける支那側製粉工場の同業者は哈大洋票の暴落と財界不況に東三省同業者の聯合を必要として來る二十日東北三省の製粉業者聯合大會を開催し現下の窮狀から如何にして局面を打開するかの協議をすることになつた

哈大洋票市價維持策發令

哈爾賓大洋票の市價維持策のため金票の抵制を唱へ、金票は貯藏せぬこと、一切の取引は哈洋の標準とすること、若し投機的に哈大洋の騰落を計畫するものあれば直に處罰する旨の通令を總商會に發した

大連港の貿易激減を來す

銀價暴落の祟りに華人の購買力減で

六月中の大連港貿易は輸出一千六百五十萬九千圓、輸入一千百二十三萬七千圓、合計二千七百八十二萬七千圓にして前年六月の貿易高に比し輸出一千百五十七萬四千圓（四割一分强）輸入一千百九十七萬四千圓（五割一分强）合計二千七百八十二萬七千圓、即ち四割五分入厘弱の著るしき減少であるが更に本年上半期中の貿易額を見るに輸出一億五千百八十六萬四千圓輸入一億百九十四萬八千圓、合計二億五千三百八十一萬三千圓にして、前年上半期に比ぶれば輸出千一百六十七萬八千圓（二分）輸入五千二百七十九萬八千圓（三割四分一厘强）合計九千[illegible]、即ち[illegible]の減少にして特に輸入貿易に於て激減をみた、而してこれは財界の不況と見るべきも、銀落による支那側購買力の減退の主因を置くべきと見られてゐる

六月中大連港貿易（單位金圓）

	本年六月	昨年六月
輸出額	[illegible]	[illegible]
輸入額	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]
前年に比し減	[illegible]	

上半期大連港貿易（單位千圓）

	本年度	前年度
輸出額	[illegible]	[illegible]
輸入額	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]
前年に比し	九四、四七七	

發達せしむべき滿洲の重要工業

紡績、製麻、毛織、柞蠶の分　經調小委員會答申書

（二）

而して之等工業會社の使用原料關係を見るに大連絨毯製造所、滿蒙毛織會社、富士瓦斯紡績會社、安東柞蠶工場は其の一部又は全部の原料を滿蒙產を用ひ、滿洲製麻及奉天製麻會社も原料の一部を滿洲產に仰ぎ滿洲紡績、滿洲紡績及內外棉の各會社は現在としては酌く多からざれども其の原料に滿洲產棉花を混用し逐年使用量の遞增を見るべき狀勢に在り

更に叙上工業會社の製品販路に付之を考察するに大連絨毯製造所、滿蒙毛織會社、滿洲紡績會社、奉天製麻會社は其の殆んど全部の製品は之を滿洲に、滿洲紡績、滿洲製麻會社は製品の一部を日本內地、朝鮮及臺灣に仕向けらるゝも其の大部は之亦支那を主たる販路と爲し居れり次に富士瓦斯紡績、安東柞蠶工場及內外棉株式會社の製品は極めて少量の製品を滿洲に於て賣捌く外印度地方に仕向け居るも內外棉の如きは元々滿洲の市場を目當に企業したるものなるを以て關稅其の他販賣條件の好轉を見んか何時にても其の製品市場を滿洲に轉換するの用意あるものなり

且又以上製品の需要地に於ける將來消費の消長如何を觀るに支那に於ける綿織物の消費量は一人年當り平均一圓十六錢にして之を世界人の平均額二圓四十錢と比較せば尚未だ低位に在るを以て支那人の消費が將來世界人の平均額に達するものとせば其の需要遞增の途に在ると[illegible]可なかるべく滿洲に於ける[illegible]工業は主として穀物用容器[illegible]麻袋を製造し居るものなるを以て本品の需要に付その將來を[illegible]ふるに滿洲未墾地の開拓[illegible]增技術の進步等は相俟つて穀物の增收を來し其の容器た[illegible]の需要を將來一層喚起すべきは自明の理なり

更に毛織物の需要に付て[illegible]近支那服地として毛織物[illegible]なることを支那人間に認[illegible]るに到り其の需要頓に增加[illegible]ると雖現在日本に於ける[illegible]の消費量一人當り一年三[illegible]に對し支那人は僅に十錢[illegible]ず將來支那人の毛織物の[illegible]如何なる程度に普及する[illegible]斷じ難きも現在の情勢を[illegible]ば支那に於ても絹綿布の[illegible]目し相當莫大の需要を喚[illegible]きは推知するに難からざ[illegible]て之亦製品の需要遞增す[illegible]品たるを失はず次に柞蠶[illegible]觀るに目下に在りては富[illegible]安東工場に於ては柞蠶紡[illegible]外他に製造なく而して支[illegible]ける柞蠶絲の需要は年々[illegible]べき見込ありと云ふを得[illegible]印度に於ては歐洲よりの[illegible]と對抗し其の聲價を認め[illegible]るも更に製絲技術の進步と相俟つて同地に於ける需要の遞增すべき確信あり

展覽會記念押印

大連局で六月二十八日から七月六日まで開催した遞信展覽會の記念日附印の消印數は郵便局で押捺したもの一千八百六十三、記念消印のため押捺したもの八千五百四十六、合計一萬四百九であると

黄塵

◇…滿洲見本市開かる、出品者は三府一道二十五縣一州の當業者五百餘名、出品點數八萬點といふ空前の盛況である。

◇…今回の見本市は從來の個別的小見本市を綜合統制した最初の滿洲見本市として極めて意義あることである。

◇…吾人は滿洲見本市が將來日滿貿易に對して重大なる[illegible]するであらうことを信じ[illegible]ぬ共に回を重ねる毎に[illegible]國際的見本市ともして發[illegible]んことを希望しておく[illegible]

市況

特產　大豆反落　仕手關係で

[illegible]

錢鈔　銀塊安標金高　鈔票弱氣配

[illegible]

株式　內地株不冴　地場も凡調

[illegible]

上海爲替情報

[illegible]

市場電報（七日）

銀塊及爲替、棉花、大阪株式、東京株式、大阪期米、東京期米、大阪綿糸、大阪棉花、神戶豆粕、橫濱生糸、印度麻袋

[illegible]

爲替相場（七日正午）

正金（銀勘定）、正金（金勘定）、鮮銀（金勘定）

[illegible]

奧地市況（七日）

錢鈔、手形交換、特產

[illegible]

前場、後場（保合）、滿鐵株（軟弱）

[illegible]

債券賣買相場

[illegible]

新刊發賣

新民事訴訟法註釋 第二卷

前大審院部長 法學博士 松岡義正先生著

◇第一卷 菊版總布一二五〇頁 定價金貳圓五拾錢 送料十八錢 ◇續刊
◇第二卷 菊版總布一二〇〇頁 定價金貳圓 送料十八錢 ◇執筆中

難解な新民事訴訟法の解をなして先づ第一卷を上梓せしに果然斯界の思潮を吸收し劃期的註釋書として續刊を待望された本書は愈々著者が急速脱稿を快諾せられこの機會に全編の完結に邁進せらるゝこととなつた。その内容の如何は今更茲に縷言の要なきところ。珠玉の文字は凝つて紙背より讀者に迫るの感がある。近來稀に見るの名著として敢て朝野法家諸彦の必備を慂むる所以である

長島民事局長 森田司法書記官 共著 改正 民事訴訟法解釋 菊版背革 五五〇頁 定價四圓五拾錢 送料廿七錢

瓶淵大審院判事著 改正 民事訴訟法註解 菊版背革 五五〇頁 定價四圓五拾錢 送料廿七錢

清水の 昭和五年版

文官普通及裁判所書記 試驗問題答案集

最新刊 普文學會編纂 三六版 九〇〇頁 定價貳圓八拾錢 送料書留二十七錢

最近十數年間に全國及び各植民地で實施された普通文官、裁判所書記試驗問題中から一、四〇〇題を撰び答案作成上に留意して最も適切簡明な模範的解答を與へ各受驗者の爲に萬全を期してゐる。敢て受驗者各位の熟讀を慂む。◇巷間類書多し特に『清水の』答案集と御指定を乞ふ◇

最寄書店品切の節は直接本社へ御申越を乞ふ。

東京神田今川小路貳丁目 合資會社 清水書店 電話九段五七八・振替東京七八六二七

特別分賣開始

修養全集　講談全集　落語全集

絶好の機會來る！

本社が曩にこの三大全集を發行するや、滿天下熱狂空前の大盛況を示し、わが出版界に驚嘆すべき新記錄を作つたことは未だ御記憶に新なることであります。それから既に二年、今日に至つても是非欲しい、特別に頒けて貰ひたいと熱望の聲絶えぬ有樣であります。それ故に、今度分賣の計畫を發表するや、蒙る大評判、大部數の註文殺到に本社は今や晝夜兼行の大活動を續けて居ります。

大特價 一冊 一圓二十錢 (送料修養講談兩全集十八錢 落語全集十六錢)

特賣期間後は斷然定價一圓五十錢になります

好きな本を選り取り自由！

一冊でも買へます。短期特賣につき早いが勝！

修養全集

面白いく感動感激！各戶必備の寶籍！

身を立て家を興し國を良くする全集と見る人悉く賞讃！由來修養書と云へば六ケ敷い肩の凝るものが多かつたが、これは小說の樣に面白い一家の寶、立身出世の基これこそ誰方もぜひ御覽下さい！

四六判八百頁 背革天金函入 どう見ても三圓以上の値打、トテモ安い、

▲(第一卷)聖賢偉傑物語
▲(第二卷)東西感動美談集
▲(第三卷)金言名句 人生畫訓
▲(第四卷)寓話道話お伽噺
▲(第五卷)修養文藝名作選
▲(第六卷)滑稽諧謔教訓集
▲(第七卷)經典名著感話集
▲(第八卷)古今逸話特選集
▲(第九卷)訓話說教演說集
▲(第十卷)立志奮鬪物語
▲(第十一卷)處世常識寶典
▲(第十二卷)日本の誇

講談全集

日本人の趣味にピッタリと合つた國民讀本！

面白い點に於ては正に天下一品！然も感動感激の名講談！古來の名講談を一流文豪が苦心書改め、それを講談師が口演した今迄にない名篇揃ひ各卷長篇講談の外に短篇數篇を添ふ。どれもこれも非常な苦心

四六判千二百頁の大冊、綾織裝函入美本 二圓でも三圓でも安い

第一卷 ▲水戶黃門 ▲梁川庄八
第二卷 ▲幡隨院長兵衞 ▲寬政力士傳 ▲寬永三馬術
第三卷 ▲赤穗義士本傳 ▲赤穗義士銘々傳 ▲赤穗義士外傳
第四卷 ▲荒木又右衞門 ▲清水次郎長 ▲大久保彥左衞門
第五卷 ▲伊達誠忠錄 ▲宮本武藏 ▲大岡政談 ▲紀國屋文左衞門
第六卷 ▲笹野權三郎 ▲佐倉宗五郎 ▲雨越大評定 ▲木村長門守
第七卷 ▲太閤一代記
第八卷 ▲夕立勸五郎 ▲日蓮上人 ▲岩見重太郎 ▲鹽原多助
第九卷 ▲乃木將軍 ▲田宮坊太郎 ▲朝顏日記 ▲柳生三代
第十卷 ▲關取千兩幟 ▲元和三勇士 ▲笹川の繁藏 ▲肥後の駒下駄
第十一卷 ▲塚原卜傳 ▲新門辰五郎 ▲勸王藝者 ▲由井正雪
第十二卷 ▲相馬大作 ▲壺坂靈驗記 ▲定忠治 ▲千葉周作

落語全集

大いに笑ひませう！明るく！賑やかに！

お爺さんもお婆さんも、お孃樣も坊ちやんも御覽下さい よく笑ふ人は常に快活で、健康で、元氣で、能率も上り、出世もする、長生もする！笑の寶庫！幸福の源泉！古今の名作落語が悉くこの三冊に！

四六判八百頁 綾織裝、函入 すばらしい美本 トテモ安いと大評判

▲上卷 ○天災○無筆の女房○粗忽の使者○小言幸兵衞○牛褒め○巷どろ○けんつく床○非常線○近藤男○長屋料○ボン引○のめる○外三十餘席。
▲中卷 ○雁の内○夏どろ○女傭志願○二十四孝○三千兩○蛋の活惚○士族の商法○七度狐○百年目○野ざらし○もと犬○かつぎ屋○歸入り○外三十餘席。
▲下卷 ○強情くらべ○心眼○猫久○お旅旦那○化物屋敷○九官鳥○富八○代り目○噓つき村○女房孝行○身投屋○あかにしや○芝濱○東男○外三十餘席。

以上どれでも一冊づつ分賣！部數に限りがありますから、一刻も早くお求め下さい

特賣期間 七月一日から八月末日まで

(全國の書店にあります)

東京・本鄉 大日本雄辯會講談社 (振替東京三九三〇番)

ノモイル

あつさりと美味しくあがる高級食料油 サラダにフライに天ぷらに

一升壜 二升罐 四合瓶

落花生サラダ油 落花生フライ油 赤紙フライ油

清製油株式會社

一握の

サンメード乾葡萄は毎日消耗せられるエナージーを補ひ鐵分を吸收して汚れなき血液と化す

魚肉も必要なり鷄、牛肉も野菜も飯もパンも卵も必要なり

されど

サンメード乾葡萄は必ず毎日一回は一握づゝ攝取せらるゝを要す

內科專門

大連市浪速町四丁目(南番當東)

安富醫院

電話八五〇〇番

小兒科專門

金子醫院

醫學博士 金子甚藏

大連市西通七八ノ四號 トキワ橋西廣場電車通中筋 電話七六六一番

製品 一◇一 鐵道車輛、鐵道線路附屬品及信號裝置 鐵橋鐵桁、鐵骨家屋、豆油容器、暖爐類

要目 一◇一 汽罐、汽機煙突、各種機械類、設計、製造、据付、鑄鐵管、鑄鋼、鑄鐵並眞鍮鑄物、酸素瓦斯

株式會社 大連機械製作所

本店 大連市沙河口臺山町 電話(代表共通番號 夜間及長距離)九一五一番 九一五三番

奉天分工場 奉天西塔大街三丁目 電話二一〇三番

建築・構造 設計・計算 監督・鑑定

宗像建築事務所 工學士 宗像主一

大連市通鐵商店街廣小路 電話三四九五番

最新刊

滿蒙遊(記) 實價二(圓)送料
香落の科(學)研究 實價一圓送料
前田河廣一郎著 支(那)
新撰池谷 實價二圓六十二錢送料
宇野浩二著 父の國と母(の國) 實價一圓五錢送料
渡邊著 東洋風雲 實價二圓十錢送料
前田河・長野共譯 ボストン 實價一圓五十七錢送料
沖野岩三郎著 ユートピア 實價九十四錢送料
長野朗著 支那の眞(相) 實價一圓五十七錢送料
齋藤秀三郎著 前置詞及び動(詞) 實價五圓七十七錢送料
文藝家協會著 日本戲曲集 實價一圓九十七錢送料
文藝家協會著 日本小說集 實價一圓五十七錢送料
倉田百三著 恥以(前)
朝日新聞社著 產業合理(化) 實價二圓十錢送料
武野武介著 文士の側面 實價六十三錢送料
長谷川伸著 戲曲集 疵高 實價一圓五十七錢送料
(著) 十三人俱樂部 實價二圓四十一錢送料
平尾道雄著 維新暗殺 實價一圓六十八錢送料

大阪屋號書店

最新刊

冠松次郎著 双六 實價二圓六十二錢送料
エー・エス・ニイル著 霜田史光譯 問題の子(供) 實價一圓三十七錢送料
今田著 陶器の鑑(賞) 實價二圓七十三錢送料
小林鶯里著 俳句は如何して作(る) 實價一圓二十六錢送料
ハインリッヒ・ストレーベル作 獨逸革命 實價二圓十錢送料
濱田成雄著 南阿開拓 實價一圓二十六錢送料
アイザイヤ・ボウマン著 南米 實價一圓八十九錢送料
大澤一六著 大衆法律教(室) 實價一圓二十六錢送料
木奈德太郎著 聲音字 實價一圓五十錢送料
清水著 體驗を語(る) 實價二十一錢送料
廣間著 小學五年生 美 實價一圓二十六錢送料
井上吉次郎著 村と町 實價一圓三十七錢送料
永田秀之輔著 街頭の新研 實價二圓六十二錢送料
辰巳和文著 大和雜報 實價二圓四十二錢送料
マイケル・ゴウルド作 一億一千 實價一圓五錢送料
アンドレ・リュルサ著 市浦健譯 建 實價一圓五十七錢送料
安藤德器著 幕末海戰 實價一圓五十七錢送料

大連市大山通 滿書堂書籍部

社説
時代思潮に對する抗議

何といふ、あわただしい世の中ではないか。ただ〳〵外形客觀にのみ囚はれ、われ〳〵の精神生活人生主觀といふやうなものが餘りにも稀薄に傾きつゝあるのを痛感せしめられるのである。勿論、人間といふものは、霞を喫つて生きてゐられるものでなく、大地を濶歩して行かねばならぬのであるから、また日進月歩の科學の進歩、極言すれば、いはゆる物質文明のうちにあつて生存し、否、生活して行かねばならぬのであるから、主觀の心境を、外象に驅使せられることのあるのは當然である。否むしろ物質文明、科學文化を使役して、主觀客觀の調和點に、吾人の存在を意義あらしめねばならぬのである。進化といふものが、螺旋形的に展開するものとせば、一昂、一低、ある時代には物質的にまたある時代には精神的に、原因が結果となり、結果が原因となつて次ぎから次ぎへと文化の進歩を示すのが原則といへる。

◇

今日の世界人類の文化は、物質科學的に行きつまり、その反動として歐洲大戰なるものを惹起し、機械的文化のみの、如何に危險なるかを實驗した後のこととて、精神的に、相當の對物質文化が反動し來つて然るべしと信じてゐるのである。然るに現實は如何。歐洲大戰の對物質的反動は、依然として清算せられず、今日なほ反動に反動しつゝあるかの如きは、吾人の現に目撃しつゝあるところといはれぬことはない。近時、一種の流行となつてナンセンスの思想系統を檢討することにおいて、反動に對する反動の、やゝ少しく方向を轉換したかに見ゆるが、とにかく依然として物質文明の壓力に堪ゆることが能はず、ただ當面の糊塗として社會的ナンセンス、一種のナンセンスなる人生觀を構成しつゝあるものなることを認めざるを得ぬのである。

◇

經濟上よりするも、歐洲大戰當時の好況時代に反動し、今なほ波瀾重疊といふやうな現象を呈しつゝあるのである。而して失業苦、就職難の問題は、右の如き反動に幾重もの附帶反動を惹起し、殆んど自己を顧み、主觀を反省するといふやうな餘裕なく、ただ盲目的に反動に反動し、つひに一種の極いアキラメから無價値、無意義なるナンセンスの人生觀を發生し、その人生觀から社會觀を構成し、つひにナンセンスの時代思潮を構成するに至つたものではあるまいか。この世潮の表現として、今日の如き時代世相、ざわ〳〵した、何となくあわただしい社會相を現出するに至つたものではあるまいかと觀るのである。われ〳〵は哲學者にあらず、また哲學者であつたにしても、おの〳〵その人生觀なり、世界觀なりは同一な譯でもないのである。まして況んや吾人は、ただ時代の思潮の流れる方向によつて、今日の世相が、果して如何なるものなるか、その源流を知らんと欲するのみである。

◇

然るに現實の世相は、餘りにも安價な、また餘りにも無價値なる反動的アキラメによつて、殆んど暫定的、否、瞬間的なるナンセンスによつて當面の滿足を買はんと欲するものの如きを看取せしめられるのは、歐洲大戰の反動としては、餘りにも無反省、無定見なる反動ではあるまいかと、心ひそかに寂しさを感ぜざるを得ぬのである。吾人は常に、社會の進歩、人類の進化を信じ、過般のロンドン海軍條約の如きも、その進化進歩の一ツの表現として、最も意義のあるものと做してゐるのであるが、それにも拘らず、昨今のジャズ的の人生觀、ナンセンス的の社會觀が、われ〳〵の構成しつゝあるところの社會觀、世界觀であるといふことになると、すこしくモノ足りなさを痛感せざるを得ぬのである。われ〳〵は、必ずしも唯神論者にあらず、また主觀のみを充實して滿足せんと欲するものでもない。いはば物心併立論者である積りである。すこしく不徹底の感はあるが、然るに昨今の社會思潮を凝視したときに、吾人は何か大に考へさせられることがないであらうか、何か大に反省せねばならぬのではあるまいか。すくなくともわれ〳〵の人生觀、世界觀をして、價値あり、意義あるものたらしめんがためには、とにかく、われ〳〵はジャズ的のナンセンス思潮に對し、一ツの大なる抗議を提起せんと欲するものである。

行政經濟化により結局約六千萬圓の節約實施
實行豫算十五億五千萬圓に切詰 今週中に決定を見ん

【東京七日發】本年度實行豫算行政經濟化につき大藏省側の原案を各省に內示して以來既に一ケ月を經過し、その間陸海兩省を除いては各省共に大體原案に近い節約額を承認し之等各省の內には既に節減された支拂豫算を實施してゐるものさへあるが、唯陸海兩省においては大藏省側の要求に近い節約を承諾しないため今年度より豫算の所謂行政經濟化は全體としては未だに實施されない貌である然し最近交渉の結果、軍部側の態度も著るしく緩和され漸く讓歩の模樣が見えて來た、卽ち海軍側は既に承諾した六百五十萬圓の外、一千五十萬圓の節約を次年度において復活する條件の下に承諾せんとするまでに折れてゐる、又陸軍側でも七百三十萬圓の節約の外に相當の繰延を增加せんとする態度を示して來た、斯くて茲數日中には軍部側との交渉纏まれば全額としても行政經濟化も今週中には實施できる形勢である、從つて本年度實行豫算の節約額は原案の八千一百萬圓に對し、約六千萬圓程の節約を實現し得べく、本年度の一般會計實行豫算額は結局十五億五千萬圓程度に切り詰める事ができるであらうと見られてゐる

新國防計畫案の巨頭會議全く停頓
加藤參議官は反對意見表示、根本的見解の相違

【東京六日發電通】財部海相谷口軍令部長岡田加藤兩參議官は日曜に關らず六日午前十時半より海相官邸に參集し新國防計畫案につき重要協議を行ひ午後二時廿分終了したが財部海相は目前小林次官を招致し午後四時半迄昨日來の巨頭會議の內容を報告對策を協議した探聞するに昨日來加藤參議官は新計畫案全部の承認は出來ぬとの意見を明瞭に表示したものゝ如くで本日の協議に於ても、なほ意見の一致を見るに至らずして物別れとなつた、而して加藤參議官の意見は倘間隔あり遂に諒解點に達せず巨頭會議は全く停頓狀態となつた

新補充計畫案の基礎的立案趣旨には異議なきも實戰上八インチ巡洋艦の勢力不足を六インチ艦で補ふことは到底完全な國防を期し難いとの根本的意見であり昨日來の協議は萬全を期すべき國防の基礎的立策につき檢討したものであるが財部谷口兩氏と岡田加藤兩氏間の

伏見宮殿下に御說明申上ぐ

【東京六日發電通】財部海相は六日午前九時十分伏見宮邸に伺候し殿下に拜謁の上國防新計畫案につき御說明申上げ同十時廿分退下した

海相から東郷元帥に報告

【東京六日發電通】財部海相は六日午後五時四十分東郷元帥を私邸に訪問し國防計畫案に關する昨日來の巨頭會議內容を報告懇談し同六時四十分辭去した

加藤參議官の東郷元帥訪問

【東京六日發電通】加藤軍事參議官は六日海軍巨頭會議に先立ち午前九時半東郷元帥を訪ひ五日巨頭會議の內容特に海相の述べたる原案に反對の點を說明し同十時辭去した

宮城內に御茶園
國產製茶業を御奬勵遊ばし 畏くも近く御體驗

【東京六日發電通】畏き邊りでは毎年赤坂離宮御苑內の茶園から名茶園を謹製せしめられ皇太后陛下首め奉り各皇族方に御わかち申し上げ又顯官や各地方長官にも下賜せられて製茶業を御奬勵遊ばされて居るが 天皇陛下には先頃の靜岡縣下御巡幸に際し親く茶業の盛大なる事又我輸出物資中茶の輸出額が多額に上り將來益々有望なる事をみそなはせられ更に一層深き御思召から今年は宮城內にも茶園を御設けさせられる事になり先頃吹上御苑內約二百坪の廣さに亘り茶苗を移植遊ばされた、この茶苗は赤坂離宮の百年以上もたつた名木の差し木苗で此の外御用邸にも外垣をはじめ生垣には數萬本の茶の木を植ゑらるゝ筈で其の御製茶については畏くも御體驗遊ばさるべしとうけたまはる

露支會議は何處へ向く
紛爭以來早や一周年

▼…世界の視聽を惹いた露支紛爭が勃發したのは昨年の七月十日、早くも一周年が來た、一九二九年末をもつて終末を告げてからも既に半歲、露支正會議の支那側代表は既にモスクワに出發して二箇月、專門委員の顏合せだけで杳として消息がない現狀である、この間東鐵問題は如何なる軌道の上を進んであらう?

▼…ロシヤ政府は昨年七月十日前の原狀恢復の旗幟をかざして理事會及び管理局における支那側の職務を態へた、支那側が未然に東鐵買收を紹介してゐるのを冷笑しながら着々その主張を實行した、ルドウイ管理局長の權限は哈府議定書によつて保證され戰敗者としての支那側の容喙を許さない、然し問題はロシヤの勢力が昨年の七月十日前の狀態より一步のポイントを踏み出してゐるかにあるが、これに對して一般の觀測はロシヤの國是として例へ戰捷者でもオリジナル、ラインから出ることを許されない、從つて何等侵略の跡は見出されないが、精神的壓力は確に倍加してゐる

▼…東鐵管理局を中心にしたロシヤの實勢力には支那側は非常な壓迫を感じながらも屈服しなければならない破目にあり、從來の折半の原則によつて人的には差違ないとしても鐵道運用、經營に關する重要機關は全部ロシヤ幹部によつて占められ、しかも本年の上半期に露支間の問題となつた、支那側の提案たる

一、札免諸爾炭礦の復活作業案
二、東鐵の電報與電話、長途電話の回收案
三、東鐵經營の電燈廠の回收案
四、東鐵經營の附屬事業例へば農事試驗場、氣象臺、牛酪、製麻ホテル其他の分離案(卽ち支那側が回收せんとするもの)

等は支那側の主張は殆ど葬り去られて一向に埒があかない、僅にその實施せに支那は

一、ドルゴム、メストコムの正式再組織を許さず
二、東鐵沿線の主要驛におけるコペラチーブ(購買組合)承認せず
三、阿什河の東鐵電燈廠は四日支那官憲は閉鎖し
四、寬城子、プハトの東鐵…の復活には最初不許可の方針で進んで來たが、最近に方貴九百元を出すなら許すとの保證を與へた程度のもので、早晚これは決は付くものと見られてゐる、ソウエート側としてはロシヤ側の出方一つで場合に於ても絕對に現在あるラインから一步も讓らない決意を有してゐるその精神的には支那側を沈默させるに成功し、正にニチエ法子の角力は七分三分の割ちに支那側はある

▼…從つて支那側がモスクワ會議に露支國交の全般的交渉に應じない限り假令莫全權が痺れを切らして引揚げて行つても痛痒を感じない、惡い籤を引いたのが莫全權で、そのため屢々交渉決裂を傳へ、ドイツ行が報じられてゐるのであるが莫全權の態度こそ一周年を控へて如何にこの難局に善處するか興味ある問題として殘されてゐるのである

▼…現下の狀勢から進むと支那は矢張モスクワにおいて城下の盟をせねばならぬ運命にあるらしく、唯ロシヤ側としては單に東鐵原狀恢復によつてのみ滿足しては居らないのが當然で勞農主義の具體化のためには政治的にも經濟的にも東鐵はその踏臺とする最上のものであり今後これを如何に實現して行くかに幹部は苦慮してゐる

樞府御諮詢と政府の對策
飽迄正々堂々と臨む

【東京六日發電通】海軍軍縮條約案の樞府御諮詢奏請及びこれに伴ふ國防補充計畫案につき民政黨は濱口首相以下政府當局を信頼して成行を靜觀して居るが、此の間にあつて反政府系の政治的策動については嚴重警戒を拂ひ「反對黨方面は國防新計畫案未成立に乘じ樞府の反政府系と相應し財部海相を窮地に陷れ御諮詢奏請の延引を圖つて居る模樣であるからこれが警戒を嚴にすると共に速かに各般の準備を整へて斷然條約の御諮詢を奏請すべし」との意見に一致して居り倘御諮詢後は徒らに諒解運動に努めず特別議會にて政府の說明した既定方針に基き飽く迄堂々たる態度で臨み大局上より條約案の通過を圖るべきで樞府の態度如何は此の際何等憂慮するに當らぬとして居る

陸軍々縮を與黨要望
政府を鞭撻

【東京六日發電通】陸軍々縮は現內閣の掲げた重要政策の一つであるが、右に關し與黨民政黨側では宇垣陸相の病氣其の他の內部的事情により調査が所期のごとく進捗せざる爲め世間の一部では早くも現內閣が陸軍々縮に關し熱心を缺き當初の聲明を裏切るごとき結果に終るのではないかと見る向きがあるからこの際是非共政府を鞭撻して速かに之が實現を期せねばならぬとの聲が起り過日の與黨首腦部會議席上でも財界根本對策の重要事項として陸軍々縮に向つて特に力瘤を入るゝに決した譯である即ち幹部の意向は目下陸軍では軍制調査會において整理案を樹てつゝあると言ふがこれに對する陸相の決心如何により相當多額の金額を捻出し得る事は必ずしも困難であるまいよつて今秋迄には是非とも成案を得て明年度の豫算にこれが實現を見る樣要望すべきであると言ふにあり、よつて幹部は近く宇垣陸相の病氣全快次第會見し樣との意向を進言してこれが實現を期すると意氣込んでゐる

反蔣各派代表が張學良氏を說得
近く打揃つて赴奉

【北平…電七日發】北方政府問題につき派閥芳氏は目下北戴河において張學良氏と協議中であるが、この結果によつて山西派趙丕廉、西山派覃振、改組派陳公博氏らが張學良氏の說得使節として奉天に赴くべく一方、改組派の追出策も趙丕廉氏らの努力が緩和され汪精衞氏の北上も七月末か八月初めといはれてゐる、なほ山西派と奉天派との關係は目下著るしく良好になりつゝあり

中央軍の手薄に乘じ武漢を圍み跳梁
警戒網をくゞり市內に潛入 共產軍に人心恟々

【漢口五日發電通】武漢を中心とする湖北湖南一帶は張纘既に江西に退き中央軍各部隊も津浦線方面に出動の爲め手薄となつて居りこの狀勢を傍見した共產軍は猛然と奮ひ立ち今や西面より武漢を包圍する形勢を採り跳梁跋扈してゐる、即ち南は洞庭湖北岸一帶を占領して岳州より北上の形を採り西方の長江上流大小都市は悉く共產軍の手にあり京漢線方面は武勝關の南廣水、應山、德安一帶も亦彼等の襲ふ處となり平漢線は昨日より不通となつて居る他方共產便衣隊は武漢警備隊の嚴重な警戒網を潛つて市內に潛入を試みつゝある事は毎日の如く數名づゝの逮捕を見るに徵しても嘹かで共產軍脅威は今や武漢人心を刺戟する最大のものとなり市民は赤色の恐怖に戰慄して居る

山西、山東軍の主力戰始る
一進一退の形勢のうちに 韓軍の死傷者多數

【青島…電六日發】五日夜來濰河の線に對峙中の山東、山西兩軍主力戰は九時より開始した、韓軍の鐵甲車北平號は濰河の鐵橋に迫つて活躍したが鐵橋附近は韓軍の死傷者多數あり六日午前六時までに約百名、又樂安方面にも相當發見せられ赤十字軍は後方にて活動中六日朝までに於る兩軍共一進一退の形勢で山西軍は主力を樂安に向けてゐる韓軍二師長國良民氏は陣頭に立ちて苦戰奮鬪してゐる、兩軍主力戰開始以來砲聲はいんくとして轟き人心極度に動搖し住民は東西に避難中

根本方針は依然反對
黨統と西山派

【北平特電七日發】事實上政府組織の必要を感じた閻錫山氏は冀貫泉、趙丕廉兩氏をして改組西山兩派を調停せしめつゝあるが大體においては擴大會議を召集する際、汪精衞派これが擬議を宣言し西山會議派これに贊成するといふに意見一致したやうである、しかし西山會議派の鄒魯氏はこれについては勿論贊成であるが但し黨統即ち廣東第二期委員を正しとする問題を提議せざることを前提とする廣東が黨統をいへば上海側もこれを言はなければならぬので結局二つの黨統を言ふことになれば黨統なしに等しと語り依然廣東側の根本主張に反對してゐる

北方各代表奉天へ

【北平六日發電通】北方政府の基礎たる擴大會議は各派の意見全く一致し張學良氏の同意を求めるため各派代表を派遣するに決定し改組派陳公博、西山派覃振、閻派代表張油齋の三氏は近く奉天に向ふ筈である

記者團南京歸着

【南京六日發電通】蔣介石氏に招待され隴海線戰線視察に赴いた外國記者團一行は柳河において四日蔣介石氏と會見し歸途、徐州經由六日朝歸京した

一週間內には勝敗決せん
兩軍の作戰と配置

【青島特電六日發】韓復榘軍の總司令部は五日夜青州驛より軍用列車內に移した、六日早朝を期して韓軍は總攻擊命令を發したるが、兩軍の主力戰はこゝ一週間を出でずしてその勝敗は決するものゝごとし、韓軍は萬一前記主力戰に敗れゝば第二線たる青州壽光を放棄して朱六店の線に後退するしかして韓軍は濰河の線を現に對峙中であるが、韓軍は高密濰縣の各部隊二千五百、騎兵二百其他野砲若干を出動せしめ同主力を濰河方面に集中して乾坤一擲の決戰を開始するものゝ如し、これに對し山西軍は總司令部を周村に置き長山蚌平の各部隊を續々出動せしめ其の數約二萬と謂はれてゐるが、各部隊の配置は濰川、青州方面に[illegible]、膠濟鐵道中央には汪精國、樂安方面に李福膺の各部隊をそれ〴〵配置した

支那側營口に市場と碼頭

【天津特電七日發】北寧鐵路局長高紀毅氏は滿鐵に對抗する爲め營口に市場と碼頭を建造することに決定し既に技師を派遣し測量せしめてゐる南京政府鐵道部はこれを許可した、支那側で營口に日本側の碼頭がある爲め一般貨物は滿鐵に取られ北寧鐵路の收入は大影響を受けてゐたがこれを防ぐため今回の工事を計畫した次第だが完成せば裕に滿鐵を牽制するに足ると語つてゐる

秦皇島海關奉派で管轄

【山海關特電七日發】秦皇島海關は「定海艦」保護の下に奉天派が管轄してゐるが閻錫山氏は該稅關を南京側へ送附せざるやう張學良氏に要求するところあつたので奉天當局は暫くこれを保留せしめ徐ろに處置を講ずる旨を回答した、これにより秦皇島稅關は南北孰れにもつかず奉天側のものとなつたが海關が三勢力それ〴〵に分割されることは未曾有のことである

奉取信の誤算問題
取引人側盟休

【奉天特電七日發】紛糾を重ねつゝあつた奉天取引所信託會社の誤算事件は感情的に惡化し、監督者たる高橋取引所長が明石取引人組合長に事件を外部に漏らしたとの理由で三日間の場立禁止を命じたので全組合人憤慨して本日前場から遂に同盟休業したが、其後取引所側組合人側の互讓によつて圓滿解決し後場から立會を開始した

東鐵の不況
二旅客列車運休

【ハルビン特電七日發】夏枯れの深刻さは旅客、貨物の鐵道運輸の上にも現はれ週の東鐵の各驛における倉庫は停滯貨物は殆ど無くガラン洞で旅客の如きも歐亞直通連絡車以外には全く乘客がない、甚だしいのは一列車に各等を通じ八十名內外の乘客が乘つてゐる狀態、特に長春、ハルビン間の列車は旅客によつて維持されるシーズンに乘客の減少では引合はぬため近く東鐵では長哈間の第九、第十列車(哈爾賓發午後一時十五分、哈爾賓着十一時)を運休することになつた

赤旗團長に宣傳費を支給

【ハルビン特電七日發】東滿洲日支國境を中心に北滿共產主義の宣傳と直接行動のテロ團組織のために赤旗團長崔漁立は最近ハバロフスク市にて極東宣傳部長イリノフと會見しこれが宣傳費として二千五百圓を收受し數名の代表と共に東部線に潛入したと

製鋼所問題
閣僚協議會日取

【東京特電七日發】昭和製鋼所問題の最後的解決に關する關係閣僚の協議會については八日の定例閣議の席上、松田拓相より非公式に日取りその他の打合せを行ふ筈であり、その結果多分數日中には開催の運びに至るであらう

中村參謀長
間島方面視察

【間島…電七日發】朝鮮軍參謀長中村少將は四日來龍、五日局子街訪問、延吉警備司令市政籌備處長と會見、六日龍井村の主なる官民と會見、地方事情を聽取、同夜官民を招待、張宴し七日朝、朝鮮に向け出發した

社員會選擧
新職制で影響

滿鐵社員會は幾に保々幹事長が退職したので去月中旬新たに幹事長選擧を行ふこととなつたが今回の職制改正の爲め新設された箇所もあり又社會課の如き全く分解されて他に分屬した箇所もあるので自然選擧母體に變化を來たし幹事會に於ては之が對策を協議した結果新設箇所は新に新分會として認め分解したものは分會を取消して選擧を行ふと尚幹事二名の缺員はそのまゝとし選擧しないと

滿鐵社員の住宅建築熱

滿鐵社員の住宅組合制度實施以來社員間には住宅建築が盛となつたが、本年も既に二百九十二名が組合組織を認可されたが、この內大連が百二十二名、沙河口三十名で二十八組合は手續を了してゐる住宅建築地としては一般に郊外を希望してゐるが、星ケ浦方面は近來土地の騰貴を來してゐるので本年の大部分は老虎灘街道に沿ふ方面であると

簡易保險成績

六月中における滿洲內簡易保險の成績は新契約千九百四件、その保險金額三十二萬五千圓であるが、この內千百十二件は大連局の募集によるものである、尚ほ本年四月以降六月迄の三箇月分の合計は四千七百十一件、保險金八十四萬八千圓で一ケ月平均千五百九十件であると

うらる丸の船客

【門司特電七日發】九日大連に入港するうらる丸主なる船客左の如し
深水壽、吉原定次郎、仲田豐三郎、井上寅治郎、加世田彌二郎、森勝美、新庄淳、川喜多長政、岸藤太郎、藤川定三郎、兒島卯吉、高桑市郎、原喜代志、松本正文

安閑子

この間、日本工業俱樂部で開いた拓務懇談會の晩餐獻立なるものが振つてゐる▲曰く、前菜は「キッパード・ヘレン・スモックサーモン」樺太產「鮪油漬」表南洋產、スープは「コンソメー、オタピオカー」裏南洋產、それからフイシュは「ブラウンサラード」朝鮮產▲お次は「ロースト」が滿洲產の所謂「滿蒙肉」スウキートが「パイナップルアイス」でハワイ產、フルウツが「ウオーターメロン」すなはち臺灣產の西瓜、またコーヒーは言ふまでもなくブラジル產の濃いやつ▲コレで我國の移植民地の御馳走の數々は一通り揃つたが時節柄國產品を無視するのは面白からぬとあつて、それに甲州產の赤葡萄酒一杯添へて曰く「拓殖料理とは如何で御座い」は笑はせたもの(東京支社發)

特電 定期後場 大豆 [illegible]

現物後場 [illegible]

錢鈔 [illegible]

商品 後場 [illegible]

神戸鮮 [illegible]

横濱生絲 [illegible]

東京株式 [illegible]

大阪綿糸 [illegible]

大阪期米 [illegible]

神戸期米 [illegible]

滿日地方版

奉天

支那の勞働賃銀半額に下落
生活難は漸やく甚し

民國十六年以來鼎騰を示し歐米方面に追從を許さぬ程の勞働賃金時代を示してゐた奉天の勞働工賃は僅二年經たず十八年末から金融逼迫と銀價暴落のため賃金は總て半値に下落し從前三元のものは二元から一元五角に又一日七、八角のものは三角見當になつたため支那側生活苦は極度に瀕しつゝあると

國粹本部長披露宴

吉川之康氏の後を襲ふて大日本國粹會奉天本部長に就任した皆川秀孝氏は五日午後六時中央亭に設宴同會と特別の關係ある名士、新聞記者及同會役員數十氏を招待した開宴と同時に皆川氏は起つて就任の挨拶を述べ併せて國粹會の純眞使命を力說し且つ奉天本部創始以來終始獻身的に會務の發展に努力し今日の隆盛健全を致さしめた吉川前本部長の功績を宣揚し終つて皆川氏より吉川本部長に感謝狀と記念品を贈呈した、之に對し吉川氏は懇篤なる答辭を述べ次に守田民會長來賓を代表して謝辭を致し宴の進むに從つて主客の隔し蘊蓄を出して盛會を極めた

東北陸軍
旅長と駐屯地

最近の調査に依れば東北陸軍の旅長及駐屯地は次の如くである

第一旅　王以哲(奉天)
第二旅　丁喜春(打虎山)
第三旅　何柱國(灤縣)
第四旅　劉一飛(錦州)
第六旅　董英斌(同)
第七旅　蘇德臣(雙城)
第八旅　李桂林(長春)
第九旅　李杜(依蘭)
第十旅　張作舟(吉林)
第十二旅　張廷樞(錦州)
第十三旅　吉興(延吉)
第十四旅　徐永和(未詳)
第十五旅　蘇炳文(海拉爾)
第十六旅　膠啟洸(新立屯)
第十七旅　于兆麟(黑龍江)
第十八旅　丁超(哈爾賓)
第十九旅　孫兆印(盤山)
第二十旅　黃顯聲(洮南)
第二十一旅　楊花香(興安)
第二十二旅　黃景鍾(未詳)
第二十三旅　劉乃昌(廣龍)
第二十四旅　黃師嶽(昌圖)
第二十五旅　姚東藩(高欄)
第二十六旅　刑占清(哈爾賓)
第二十七旅　馬廷福(山海關)

奉天四行號庫券額

中國、交通、邊業三銀行と東三省官銀號を以て組織する奉天四行號聯合準備庫發行の庫券額は五月は一千〇八十五萬元、六月は一千一百三十萬元で前月に比し四十五萬元の增加であると

鳳凰城

澤畠氏送別會
記念品を贈る

今回瓦房店地事農務係へ榮轉の澤畠煙草試作場主任のために南滿黃煙組合員は四日午後七時より鳳凰館において送別會を開催した、出席者三十六名、富田理事挨拶を述べ次で記念品を贈呈し、これに對し澤畠氏の謝辭ありて閉宴頗る盛會であつた

撫順

翠滴る西公園に水の猛者は躍る
新記錄四つを出す
旺んなプール開き

オール撫順水泳大會は盛夏の綠滴る西公園プールにおいて六日午前十時半から擧行された、何しろ九十八度の熱暑且つ日曜の事とて競技開始前より大小河童連プール目指して殺到、延人員午後三時まで千三百人といふのだから凄い、當日の收獲としては撫順水泳部の第一人者堀が五十米で廿九秒八、五十米バックで四十秒六、二百米自由型で二分四十一秒の新記錄を作つたのと、新選手堤が百米で一分十秒三といふ四つの新記錄を作つたのは曾てない出來であつた、なほ當日の主なる競技の記錄は次の如し

▲五十米自由型　一着堀(二十九秒八)二着堤、三着杉野
▲百米　一着堀(一分十秒三)二着岩根、三着木下
▲五十米バック　一着堀(四十秒六)二着堤、三着杉野
▲百米ブレスト　一着堀(一分三十秒)二着中西、三着三浦
▲二百ブレスト　一着堀(三分三十秒)二着中西、三着三浦
▲四百米自由型　一着木下(七分十四秒三)二着相原、三着山崎
▲千五百米自由型　一着堀(二十六分一秒)二着川路、三着相原
▲三百米メドレリレー　一着A組バック堀、ブレスト古賀、自由岩根　二着B組バック木下、ブレスト中西、自由型槐島
▲曲飛　一等山崎(三十二點五)二等高林(十三點五)三等木下(十一點)
▲二百米自由型　一着堀(二分四十一秒)二着堤、三着岩根

發かれた東陵

【ヌ洋特信】故張作霖氏の墓には慣例を破つて愛の貴重品を納めないことになつたと傳へられ心ある名流は時勢を嘆いてゐる、北平歷代皇帝の御陵、袁世凱の墓、一として兵匪の爲に荒されないものはないが就中一昨年夏今は河南で戰つてゐる孫殿英軍の爲東陵が發かれたことは餘りにあさましきこととして內外人の心を打つた、最近支那側で同方面の調査が行はれた時、現場を撮影したのが之れである【寫眞は(上)乾隆帝陵×印の小さい穴から盜匪が入つた(下)破壞された拜殿】

撫順

吾等の町を語る

家庭を擧げて働け
斯くて經濟國難も救はれん
炭礦探炭課長　久保孚氏談

撫順の町は今や疲弊のどん底にあり經濟的に行詰まつてゐるとの愚痴をよく聽かされるが、私に言はすれば町の人々が「いばらの道」この人生行路に處して餘りに眞劍味が足らないのが主要な原因だと斷ずる、町の人々は餘りに依賴心が强すぎるのではあるまいか、寄生蟲的生活こそ苟くも日本男子を以て任ずるものゝ屈辱であらねばならぬ、屢々町の人々が「仕事がなくて困つてゐる、鑛業は世帶が大きいから何か仕事はないか」とせがんで來る者がある

二三年前是等の人に恰度手頃の仕事を世話した事があるがどうも結果が面白くない、折角仕事を世話しても長續きがしない、種を與へてもそれを成長さし實を收穫するまで努力し得る者が尠くない、

◇

是は撫順には安い賃銀で而も相當働く支那人勞働者があるから、是と對抗し得ないと云ふ事情もあるかも知れんが苟くも日本人たる以上今少し何とか考へを改めて行く事を考へる必要はなからうか、現下の疲弊を打開する唯一の名刀は、町の人何れもが捨身になつて猛進する事である、私は考へる、撫順の現狀を救ふ唯一のものは「家內全體が一團となつて懸命で働くことゝ」現在の生活程度をグッと下げることゝこの以外ないと

◇

私はかつて自稱失業者が金縁眼鏡や絹の着物をゾロリ着て一人前の紳士面をして町を濶歩してゐるのを見たことがあるが、斯くも經濟難にあへぎつゝある人としては變である、資金がなければまづ贅澤な着物を賣れ、必需品以外の道具も全部叩き賣れ、丹體からこの地球に飛び出したやうな本來の吾に立歸り、躍動せる意氣そのものとなつて自己革命、自己建設に猪進せよ、婦も子供も皆共に現狀打開の大幟を目標に躍進せよ——と叫び度い、

◇

過般撫順に來た西田天香さんの話に依ると、天香師が曾てある村の若い夫婦共不幸失死し老ひたる親父と十六の孫しか殘つてない家に托鉢に行つた、處が老爺は一人田の草を取りながら一急に手が減つてこまる、稗取りの手傳ひをしてくれ」との事で數時間手傳つた、夕方その老爺の家に行つて見ると十六の孫が歸つてゐた、「稗拔位は子供でも出來ますのぢやが」と老爺が嘆息しつゝ「お前今まで何をしてゐた」と聽くと孫曰く「學校でピンポンをして來た」「誰と」と聞いたら「學校の先生と」答へた、

◇

現在の撫順否日本の近來の教育それ自體が遊ぶやうに出來てゐる、果してさうとすれば實にけしからん事だ、私は最後に重ねて謂ふ、現在の撫順の町の行詰り、否全日本の經濟的國難に處してその打開の唯一の道は、子供から細君から孫から爺から丸裸になつて、血みどろになつて働くこと以外斷じてない、それ位の眞劍味がなければ撫順の町の立直しは出來ぬ、日本の經濟國難は打開し得ぬ。

四平街

異常の緊張裡に陳情委員決定
山添氏等滿鐵關東廳を訪はん
打通線問題の對策捗る

市民大會後に於ける經過については既報の通りであるが、更に五日午後八時より市民協會事務所においてこれが實行方法につき協議會を開いた、出席者は協會側より山添、鶴見の正副會頭を始めとし十八名の評議員及び添田特產組合長松田靑職支部長、其他新聞關係者一同で沉來になき緊張味を漂はした、先づ山添會長より運動方法につき滿場に諮る處ありしが、結局最も市民大會の發起者の主腦者即ち山添協會長、添田特產組合長、松田靑職支部長の三氏を陳情委員に擧げ近く出連、滿鐵、關東廳の要路並びに商議當番幹事に急迫せる地方の現狀を陳述しこれが對抗策につき獻策することに決定したが而してこれが經費捻出については甲論乙駁の曲折もあつたが差詰め協會に保管中の金を充當することに決定散會した

佐賀高校演說行脚

佐賀高等學校生徒辯論部員十餘名は暑中休暇を利用して滿洲演說行脚を催すべく部長岩本秀雅教授に引率され來る廿四日來鞍し演藝館に於て演說行脚を開催する豫定であると

鞍山

榮えある優勝旗遂に鞍山の手に
南部野球大會終る

遼陽、瓦房店間の南部野球大會の鞍山—營口優勝旗爭奪戰は既報の如く六日午後二時より鞍山滿鐵野球場に於て撫順より招聘した安松(球)又野(壘)兩氏を審判のもとに營口軍先攻にて火蓋は切られた、第二回裏にて鞍山軍二點を入るれば營口軍三回表にて二點を入れ、五、六回戰にて鞍山四點を入れ營口軍の旗色惡しと見えたが九回にて藤崎のホームランにより一擧四點を占め同點となり、補回戰に入り鞍山軍一點を入れ遂に營口軍惜敗した、榮ある優勝旗は再び加藤滿日支局長より鞍山軍坂口主將に授與され萬歲を三唱して散會

齊々哈爾

小坂拓務次官

滿蒙視察中の小坂拓務次官一行六名は松島農務課長の東道にて二日午後洮南より來齊、當日は邦人官民の同興園に於ける歡迎會に臨みたる後各所を視察し三日自動車にて昂々溪に向つた

間島

赤化委員會へ資金

極東露領ウラヂオストークに在る中國職工團體は中國共產黨の發展を要望し東北省赤化革命を間接に補助する趣旨の下に三年前から日曜勞働をなして貯蓄を續けてゐたところ最近に至りその金額十五萬留に達したので、先月中旬之を浦鹽中國部の手を經てハルビン方面の中國共產黨北滿赤化委員會へ送附したと

反政府は運動防止
ゲペウの指令

極東露領よりの情報によれば極東ゲペウ部長マフコキン氏は極東邊防執行委員會の命により反政府的運動防止のため此の程各縣ソウエートに警衞團組織の指令を發した

指令要旨

一、五十戶以上の都市又は農村に警衞團を組織しその部落及附近の警衞をなさしむべし
二、各團の團員は二十名以上とす
三、團員は年齡二十一年より三十五年までにして反革命者、土豪富農との連絡なく共產主義に共鳴せる熱誠者を以つてなすべし
四、本團の指揮監督は駐在のゲペウ員とし若しその駐在せざる箇所にあつては國防會幹部之に當るものとす
五、本團員はゲペウ員又は國防會員と行動を共にし黨員又は政府要路者なりと雖も反革命の不審行動あるときは直ちに引致取調べ得るものとす
六、本團の組織は各地に於て速かに實行し團員をしてソウエート擁護の眞意義を諒解せしむるを要す

鐵嶺

赤痢患者續出

暑さの加はるにつれ赤痢患者漸く續出の兆あり、當地では初發以來日本人患者十四名に達しうち二名死亡三名全快現在九名の入院であるが、警察では居留民一般に防疫觀念を鼓吹するため各種の注意事項を詳しく列記した印刷物を各戶に配付したが患者發生は何れも附屬地で居留地には未だ一名も發生しない

支那人はなほ猛烈

日本側に於ける赤痢蔓延は別項の如くなるが支那側ではより一層猛烈を極めてゐるらしく完全なる衞生施設が無い爲め隔離收容せず何れも自宅療法によつてゐる爲め

哈爾賓

チヨル事件は解決が困難
多分追放處分せん

國際滿鐵支店長佐藤良三氏は四日來哈し名古屋館に投宿し語る「浦鹽を出發したのが五月末だつたがチヨルネッツ事件でソウエート官憲に拘禁されたものは約十名、まだ公判は開廷されないので樣子が判明せず、以前は一週二回より自由に差入れを許さなかつたが、最近は新聞雜誌其他いかなるものでも自由に差入れができる、この點は餘程緩和された問題はソウエートの國法を犯したので緒方總領事も交涉には困つてゐる樣子である但し犯罪が瞭かとならねば判らぬがチエル事件の範圍とすれば三年以下の懲役と全財產の沒收といふ法規に該當するも、外人のとだから體刑は科すまいから追放の程度で終結するのではないかと思ふと

支那赤匪の勢力
伊藤外務省事務官談

揚子江沿岸から上海、濟南を視察し五日午前八時來哈した外務省事務官伊藤隆治氏は北滿ホテルに投宿したが語る

湖南長沙から一帶共產軍が散在し湊冶萍の鐵鑛も一時彼等のために占領され日本人は軍艦に避難したほどで赤匪の勢力は根强いものがある、然し彼等は思想的にはボロヂンの感化を受け培養されたものであらうが、現在ではソウエート第三インターとの關係はないものと想ふ、矢張りこれまでの土匪軍と同樣食はんが爲めの掠奪で聲明してゐる處は土豪劣紳を彈壓し共產制を行ふものだと稱してゐるが、果して思想的に其れ程自覺しての行動だとは考へられない、但し第三インターとの連衡する機會がある場合は他の軍閥よりその可能性は多いだらう、南京政府を北方軍閥との抗爭はいづれが勝つか恐らく判斷は下されまい上海、南京方面で各支那通の人々の意見を聞いたが、全然豫測を許さぬと云ふことに歸着した青島から濟南に向つたが、恰度六月廿四日の韓復榘が山西軍に城を明渡して退却するその朝で市中は大混亂であつた、日本人は全部一ヶ所に集合して萬一の場合に備へてゐた、恰度旅行に出てから約一ケ月半到る處で血なまぐさい慘狀を目擊して支那の動亂がいつ果てるかさへ見當がつかない厭やな感にうたれた

今日の案內(八日)

◇兒童慰安映畫　午後七時から小學校講堂に於て公開入場料は大人十錢、小人五錢

白系露人の渡米者
今後益々增えん

八ケ年間の哈爾賓ロシヤ人墓地守りの生活を捨てアメリカに第二の鄉土を求めて行く——ピオン、イリーチ、ズナーメンスキー僧師は語る

八年前逃れてハルビンへ來たが二人の娘は米國に渡り自分一人こちらに殘つて生活してゐても淋しいので旅券の下附されると直に出發する、亞米利加の方は既に許可されてゐるので日本通過の査證を受け神戶か、橫濱經由で米國に向ふが、東京でネストル大僧正と一度會見したいと考へてゐる、ロシヤ本國では寺院が俱樂部になつてもハルビンでは

教會は益々增加する一方で現在十七箇寺あり、沿線を合すると二十箇寺餘となり、僧侶——教會師は廿數名ゐる、大體ロシヤ人の生活は宗教からの鐵則から離れては實生活はない——然し哈爾賓では每日平均三名乃至四名の死亡者があるが、野邊送りすら充分に出來ないものが多いのは氣の毒である、ソウエートの國籍を有するものが死亡しても表面は祈禱はせぬが

內心は矢張り普通人と變りはない、狹段々められて行く白系ロシヤ人のうちには今後益々米國へ向ふものが多くなるだらう

教會師には失業はない、人間が生活してゐる土地には宗教があり教會師は生活して行ける、ブラゴフエシエンスク市から

柳澤上等兵昇進

當地憲兵分隊附のまゝ東京敎習所に入所中であつた柳澤上等兵は修了と共に伍長に昇進歸任した、なほ當分隊附二俣上等兵は今回開原分遣隊附となり八日赴任する

前借踏み倒し
逃走酌婦捕ふ

去月金波樓が內地から抱へて來た新鐵のうち小夜子こと神戶アヤコは內地名古屋にゐる時既に掛川長作(三二)といふ內緣の夫がありアヤコが滿洲に酌婦となつて抱へられ渡滿後掛川は彼女の後を追つて來鐵し相談の結果、前借を踏み倒して逃走を謀を決め五日夕方課し合せて密かに逃走得勝臺まで馬車で落ち延び列車に乗つたところを豫て屆出でにより手配中であつた警察官に發見せられ、亂石山から逆戾り

……計的には何等表はされてゐないが……のみでなく他にも惡疫に罹り……中のもの多く七日から開催さ……大連の全滿見本展示會にも鐵嶺から十名の業商が出席する筈で……あつたところ、病氣のため出發間際となつて斷つて來たもの三名あり、それ等の者の話によると可成り猛烈に流行してゐるやうである

宇佐美所長
七日ごろ赴連

宇佐美滿鐵所長は着任來日、露、支各關係筋との親交に忙殺され其間事務所の事務に關する大體の整理案を得たので七日頃南下本社に報告旁々赴連の由、因に滿鐵共同事務所は所長の歸任によつて決定するものと見られてゐる

川貸金　六月中の貸出　九九〇……　回收　……
で五月末現在の貸金二六三二一七圓四六と殆ど大差ない

吉林

吉林省行政計畫
各廳に提案を命令

吉林省政府は最近に所屬各廳、處に對して十九年度(昭和六年度)の行政計畫を立て提出方命じたが茲に農鑛廳の行政計畫を擧ぐれば次の如くである

一、農林事業は民生と多大の關係を有し本廳屢々各縣に對し農事試驗場の推擴、苗圃の創辦及荒山、荒地に造林方訓令する所ありしが、試驗場乃至苗圃未設の各縣に其設置を促す外荒山荒地に造林を行ひ速かに實効を收むることを期す

一、本省の國有林場は奸民が盜伐し拂下げた各林場は任意に濫伐して荒廢し來り林業前途憂ふべきものあり、故に各縣長に通令して國有林の盜伐を取締り、又私有林に對しては規則の範圍內に於て伐採を行はしむる外、正本清源の計として官銀號黃花松甸子林場と關係ある各林場を特に勘測して其歸屬を定む、尙之に就て經費の籌措方法及國有林の經營、私有林の濫伐制限方法に關し辦法を定む

一、造林、農事改良のため人才を必要とするも農林學校を設立するは財力上困難なるが故に本年暑中休暇中に二十名の學生を奉天東北大學附屬農林專門學校に入學せしむ

一、吉林省の鑛區は八十八箇處にして其內採掘せるは過半數にして他は採掘せざるのみならず鑛區稅すら納入せざる狀態なるが現下鑛業萌芽時代の特別扱ひとして三年間起工せず又三年以上鑛區稅不納者に對しては最後の通告を發した日より一ケ月內に納稅し半年內に起工することを許し、三年末滿は隨時督促する

一、商會法施行細則が頒行され久しきに及ぶも各縣の商會にて法に依り改組せるものは少數であるが故に積極的に進行を圖るべく三ケ月以內に一律改組せしむる

一、商業註册は考査上に至便である上に商店會員たるの資格をも

……

滿鐵有志招待

宇佐美所長は五日理事公館に在哈知名邦人を招待し一夕の懇親宴を開催した

大連記者團來哈

大連滿鐵本社出入記者一行は宇佐美所長、前田庶務課長、下村新聞記者係其他在哈記者團有志の出迎へに五日來哈した

日本研究熱

日本研究熱が昂まり增日本語の學習と共に中國學生は日本の書籍により各種學科の勉強を志すものが著しく增加した、……が、最近露支人學生其他一般に向ひ大連圖書館を參觀し色々と參考資料を得たいと思ふてゐる」と語つてゐるうちには……が、もつと日本の書籍を購入し充實したいと考へてゐる、其の他は購入し備へ付けてゐる

濱江雜俎

朝鮮實業團一行は九日午後三時半來哈一泊の上南下

◇

露人記者一行は避暑旁々星ヶ浦、湯崗子の各旅館に向つた

◇

病氣加養中であつた重松副領事は元氣を恢復し四日から出勤

◇

大連滿鐵本社出入記者團の一行は洮昂線を視察し五日十八時半來哈二泊の上南下した、一行は滿鐵領事館其他を訪問し北滿事情を研究し歸連

營口

露學生間に日本研究熱

東鐵中央圖書館の督辦公署附移轉は多分八月末頃になるであらうが現在圖書館には日本の雜誌、新聞……鳥澤生館長は

撫順炭賣行激減
北票炭の活躍て銀安

一箇年に約七萬五千噸を賣捌き來れる當地の撫順地賣炭は、近來北票炭の目覺ましき活躍と銀慘落による影響を受けて需用激減し本年六月中の如きは一日平均僅に三十噸を販賣するに過ぎざる一大悲境に陷りたるが、炭價において半額に當るので支那人需用者の爭ふて之に赴くは無理もなきことなるが、炭質において數等優り居るので漸次恢復の途に向はんとして居るのは事實である、北票炭目下の賣揚げ高は約四千噸見當にして二千噸は奧地において消費さるゝものである

埠頭共同荷揚場
驛長の着任と共に第一埠頭に

營口埠頭共同荷揚場は埠頭荷役の關係上之を第三埠頭隣接地に變更されたるが、特產業者はこれを遺憾とし從來の場所に復活されたしとの希望を滿鐵に交涉し、地方委員會及び商業會議所よりも右に關する意見書を提出したるが、滿鐵においても右に就き考究の結果、新任驛長九里正綱氏の來任を機とし市民の意見を尊重し第一埠頭の最西端に設置さる狀勢にある

拜田氏佐賀へ歸省

前營口醫院內科醫長拜出英之氏は七日十時半列車にて鄕里佐賀に向け出發した

開原

九A—五地方部優勝
スポンヂ野球に

開原靑年團主催のスポンヂ野球會は既報の通り六日中央公園グランドにて擧行し參加チームは官聯合軍棄權のため四チームとなつたが炎天酷暑の折にかゝはらず觀衆頗る多く非常に盛況を呈した、一回戰は午前九時より二區聯合軍と地方部聯合軍先攻にて三區聯合軍と戰ひ一對七にて二區軍の敗、第二戰は正午より地方部聯合軍先攻にて驛軍と戰ひ六對三にて地方部の勝、優勝戰は午後二時より二區聯合軍先攻にて地方部聯合軍と戰ひたるが九A對五にて地方部の優勝する處となり午後三時半萬歲裡に散會した

水泳部幹事會

滿鐵社會開原支部の水泳部にては八日後二時より地方事務所に幹事會を開催し來る十三日水泳競技會に關する打合をなすと

……

……發生するものなるが故に本省…例に倣ひ本省も之を實行する…印刷業の需要は將來益々盛である從つて省立工藝廠內に印刷料を設け活版、石版、鋼子三部を置き機械並に職工を備へし徒弟四十乃至六十名を養成する

釘附狀態の邦商取引

輸入組合の金融狀況から觀た邦商の取引關係は全く釘付狀態である深刻な不況と夏枯時期を控えてゐるだけ購買力は減退し、組合員中には三倍までの貸出を希望するものもある、銀行方面は極度の緊縮に僅かに輸組によつて金融の道を得てゐるので輸組の存在は不景氣の幅が廣くなればなるほどその機能を發揮することになり、自然信用貸三倍の限度まで進まねばならぬことになるであらう、因に六月末現在の輸組成績は左の如くである

二百五口　殘額　二六六九三二四四六

北平を視察し本省に歸還すると氏は六日朝南下大連經由天津に向ひ

金州

州內說が有力
東京方面での觀測
加世田氏は九日頃歸滿の豫定

加世田上京委員の所報に依れば製鋼所州內設置運動の經過は有望に展開しつゝある模樣にて、氏は多分九日靑連の船にて歸滿の豫定であるが、目下の形勢にては新義州は問題外となり、鞍山か州內かの二途となつてゐるが、製鋼所の敷地には現大連の四倍大の地域を要し此の點のみ鞍山は資格なく、結局東京有力筋にては州內有力と觀測する者多しと

徐々に發展
貨物集散激增

金大道路完成以來金州と大連とは交通著るしく繁を加へ、最近トラックに依る貨物の集散激增し不況時代にも拘らず取引頗る圓滑に行はれつゝあり、從つて新規移住者及び新婚者增加のため家屋拂底を告げ女酒家前や鳥海町方面に住宅を新築するもの多く、徐々ながら發展の迹歷然たるものがある

電話の契約金
納入頗る不成績

新義州郵便局の本年度至金州……抽籤は去る二十五日行はれ……の決定をみたので……當選者にそれぞれ契約金納入督促してゐるが今日までに僅……名の納付あつたのみであるから製鋼所の新義州設置の……怪しくなつたので思案の……らうと

十日午前十時から母校講堂にて本年の總會を開き會計報告(會長)レコード、トーク、談話、餘興、福引等の筈である

演習參加安中生

滿鐵關東州外中等學校並びに守備隊聯合野外演習は本月一日より三日間に亘り千山、鞍山附近において擧行されたが安東中學は一日及び二日の兩夜に亘り山縣及び鞍山附近において奮戰をなし他校に劣らぬ奮鬪をなして元氣で四日朝歸安した

安東

新舊支署長
出發と着任

五日十一時二十八分發列車にて任地に赴任の途につき民多數見送りの裡に赴旅の途についた、尙增田新支署長は六日午前十一時二十六分金州驛着の列車にて着任した

大相撲初日
十四日に延期

日本大相撲滿鮮巡業團一行の安東に於ける興行は來る十二日を初日に二日間の筈であつたが、京城の興行地が雨天のため十四日初日となつた

綠水會總會
廿日高女講堂で

安東高女校同窓會綠水會は來る二

國境雜信

▲東臨時競馬第二期の初日は日午前十時より鎮江山麓にて華々しく開催された▲相かわらず慾に目のくらんだ連日早朝より場に押掛けあれや？これや？と眼となつてゐる▲何時の競馬も顏を出すのが由良ノ助の連中者の巴公前期に巴公と言ふ馬を食して回每に配當を受けたのでをしめたが今度は前に儲けたきれいさつぱりと投げ出してあつさりしたわ」だとさ同由良ノ助の錄々「妾は馬券な買はないわ」と涼しい顏をしてゐるが家來に命じて馬券を買ひゐるが大の不出來▲鰻公もかげんに引揚げてはと言ふとにこのお金だつて妾の可愛いの人が見れたのですもの……に喰べさしてもかまはないのとは常られる事く

支那を語り我が對策を論ず（完）

在青島 渡邊生

支那を知らず

官憲は常に彼の官憲乃至紳士紳商と交驩するを能とし、宴席の間彼等が鍛錬せる辭令に籠絡さる、我外交界に於て常に支那の有識者決して日本に對して悪感情を有せず、唯赤化せる學徒工人一派の意を憚りて斷行する能はざるのみ、隱忍持久誠意を以て彼を指導せば必ず他年功果を收めんと云ひ「又諸條約の不履行、賠償金の不實行も財政の困難の爲めのみ」と云ふ、何ぞ知らん條約の不履行は巧詐を以てす、學徒工人の憚るに足らざるは大正十二、三年の濟南に於ける大排日が張宗昌の一喝に其影を絶ち之れによりて彼が何等民望を失はざりしに徴して明かなるべく、賠償金に對する不誠意は大官就職一年一千萬の財を蓄ふるによりて知るべし、

所謂支那通なる者の内には多少支那を解するあるも、最近の彼等の多くは國士的風格なく單にその衣食と安逸とを望む無識の徒にして、支那人の資によつて衣食し彼に媚び彼の傀儡となれるものなり、所謂支那通の國策を誤る頗る多し、眞に支那を解するものは獨力支那に進展し、直接利害關係を有する在留民及び少數の國士的支那通ならざるべからず、而も此の國士的支那通は悉く不遇にして衣食に窮し、且つ直言の故を以て官憲の壓迫を受けつゝあり、

在留十年以上の居留民間に通語あり曰く「支那通に種別あり支那を通りたるもの支那通ひをなすもの支那の表面の事情に通じたるもの」と

余の結論

上海事件、漢口事件、南京事件の結晶たる濟南事件は之れを從來の如く長江沿岸の被難と同一視せしが、支那に於ける日本人の發展基礎は目下の長江沿岸同樣絶滅されん、戰は今濟南治安維持會を支持せるも我軍撤せば報復の兇暴、一邦人をも留めざるに到らん、之れに處するの途如何、曰く軍政の實施之れなり、口實は多々あるべし、膠濟鐵路の契約不履行による管理、南軍令下の淄川知事が淄川炭礦罷業指導者たる連日の兵士狙擊、近郊の土匪（多分便衣隊なるべし）の跋扈、而して實施に際し、保を設けて五戸十戸を一自警團とし、一戸兇人を匿せば保中を罰す、此の以外新戸籍の支那に於て治安方法あらざるべし

次に必要なるは機密費の使途なり、支那の機密を知るは支那人にあらずんば能はず、機密費を活用して彼等を善用せば其の効果大なるものあるやめせり、徒らに日支有力者乃至新聞記者を日本料理店へ招待しての饗語果して何の功ありや、機密費を酒色料たらしむる泰平無事の際に於ては或は可ならん、現在は決して然るを許さゞるなり

倘濟南の如き諸外國と交渉多からざる所に於ては、其土地の名望あり且つ廿年以上の在住者を名譽領事とし純官吏書記生二、三警察官若干ならしめば功果あるべしと信ず、英國は支那に三十年在勤の領事あり、日本の事務見學的領事來り居留民の苦む所なり

要するに今にして更に軍をして一歩を進出せしむるに非ずんば、日本の對支交渉及び將來の發展は阻害され現有權利は逐次喪失され再び出兵の轍を踏むに至るべきを憂ふる者なり

八相

投書歡迎　中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以内のこと

『八相欄』の利用

小生

東京朝日の「鐵箒」をはじめ東京の諸新聞の投書欄はいづれも大繁昌で、時々の社會問題に關しては甲論乙駁頗る異色があり、同時に輿論の一部を窺ひ、又は敎えられる事尠少でありません、處が貴紙の「八相欄」はどうも原稿が尠いやうに思はれますが、これは投稿が無いからの結果でせう、大連人が文化が低く、文字に遠く單に卑俗な自己生活の安逸にのみ飽滿する以外に他を顧る事ができないとすればその心情は憐れむべしとして官廳その他がこれ等の文字に無關心なのは不都合至極です、先々月だつたか奉天の方が滿鐵に何かの試驗の事を「八相欄」で禮儀正しく質問してゐられたが、答は見られませんでした、最近では大阪屋號書店からも當然期待された辯明も載せられません、

不愉快な現象です、先づお役人サン達も、偉い人達も、井戸の蛙でなく少し正しい努力をしてはどうですか

外蒙の現狀（6）

YX生

（四）對支關係と對國民軍態度（上）

清朝と外蒙との關係は康熙二十七年（一六八八年）葛爾丹哈爾哈を侵すに始まる當時葛爾丹の部衆が外蒙全土を蹂躙するに際し活佛は張幕を撤して南下せり、時に朝廷特使を派して是等多數避難民を慰問救恤せしめたる爲外蒙との關係を發生し康熙帝親ら兵を外蒙に進め其賊を平定し凱旋後各旗王公臺吉を多倫諾爾に會し帝親臨して之を敉撫優恤する等到らざるなく是より外蒙深く清朝に歸服し遂に朝貢するに至れり然るに漢人の天下たりし明代三百年の間は絶えず韃靼（明の洪武二年蒙古を韃靼と改む）の入寇に苦みつゝ遂に一指を觸るゝ能はずして終れり、之れ蒙古人が漢人と滿人に對する歷史的感情の相異を看取し得べし蓋し外蒙第一次革命は清朝に對する獨立にあらずしてその眞意は實に漢人に對し所謂民國臨時政府に對する宣戰布告なりしなり、此關係を探究熟知せずして支蒙の關係を論ずるは皮相も亦甚だしきものなり、古來漢人の誇りとする文化は事大思想、又は排外思想となりて現はれ、大なる抱擁力を缺ぎ蒙古民族の如きは戰等劣れる蒙昧無智の遊牧民として之を看過し來れり、予故に曰く、「支蒙兩者は將來も亦常に反目對立の狀態を持續し就中其政治に於て殊に然るにあらざるか要するに其傳統的蠻襲を脫却し得ざる運命を有するに非ざるなきか」

支那が如何に强辯を弄して外蒙共和政府を否認するも外蒙は武力を以て獨立を決行し成就したり、現在の支那が外蒙に其實力を振ふ可能性絶無なる以上區々たる從來の關係を斷念して第二の對策を講ずるに非ずんば軈ては唯一の經濟的勢力をすら驅逐せらるゝの運命に遭遇すべし、露支協定において赤露は外蒙の獨立を認めざりしも支那の實權を察し窃に外蒙の諒解を得外蒙に於ける支那の主權を一先づ認むることゝしたるものにして、赤露の苦肉策たり、赤露の眞意は外蒙の空文的要求を容れ之が報酬として赤露の承認を得る事を目標とす、而も支那が外蒙との直接交渉に依らずして第三國たる赤露の承認に求めたるは赤露の術中に陷りたるものと稱すべきを思ふ支那の此の態度が單に輿論を恐れたるものとせば餘りに外蒙の現勢を知らず、或は單に將來の記錄を作らんが爲なりとせば餘りに形式のみに囚はれたるものと評するの外なし、假りに將來に於ける赤露の領土的野心を抑壓せんとする豫防策と見るも、赤露の國際的信義の歷史を知らばこれ一種の空文に過ぎざるを知らん、知つて而して敢て此不條理を行ふ、是恐らく當時の露支協定督辦たりし顧維鈞、王正廷兩人間の勢力爭ひより起りたる功名心の產物として見るの外なし、而も其以前に於て漸く緩和せられつゝありし外蒙の對支感情は、是に依て甚だしく傷けられ益々惡化の狀を呈するに至れり

歐洲大戰回望（5）

兩軍の戰術的清算

K、O、生

（一）マルヌ會戰（續）

シリイフエンの原案、右翼の步兵六十一ケ師團より成る世界空前の巨大なる戰鬪單位を以て急追するに於ては、マルヌ河畔に達する以前に英佛軍は完全に潰滅させられて居たらうと言はれて居る。然るにモルトケはこの原案に對しメッツ以南に十ケ師團を增したが、結局それは何の爲す所無くして過ぎた。而してこの無用の長物の爲に右翼の攻擊主力を犧牲にし、それを四十四ケ師團に減じたばかりで無く、佛白國境における勝利は東普の爲に二ケ軍團を割き、ブラツセルの白軍の爲に二ケ軍團を割き、その結果、八月二十一日テオンビール――ブラツセル線を出發するに方り五十六ケ師團を以てせる獨右翼の四軍は、マルヌ河畔二百八十基米突の戰線に於ては反對に五十六ケ師團に補强された聯合軍と四十四ケ師團を以て對戰するやうになつた。

獨軍が敵の戰鬪力を餘りに低く評價した事も明かに失敗の一つの原因となつた。英軍はその退却に際して五十時間に六十八哩と言ふやうな記錄を殘して居る惨澹たる晝夜の惡戰苦鬪の後、灼きつく八月の炎日の下、乃至は雨と泥濘と避難民とでごつた返しの道、睡らず食はず、疲勞と飢餓によろめく彼等の背後からは殺到する獨の大軍があつて死傷其他三萬五千、全軍の約三分の一を失つたのであるが、併しジヨンブル一流の頑强さは失はなかつた。その英軍を全く潰滅したものと獨軍が信じたことに無理が無かつたかも知れぬがその退却ぶりが餘りに鮮かであつたが爲に「佛軍は敗戰には弱い」といふ先入の偏見も手傳つて、士氣は全く頽廢し、戰鬪的精神は徹底的に失はれ、收拾が出來ない狀態に陷つて居るものと佛軍を觀測したことは、獨軍の自惚が生むだ大なる錯覺に過ぎず、勝驕り、卒驕り、獨の全軍は必勝の夢に醉ひ、愉快に輕率に、世界最大の二要塞の中間に反擊の機を待つ聯合軍の堅陣に向つて、勇躍突入して行つたのであつた。

即ち獨軍の最右翼たるクルツク軍は八月二十七日英軍を、九月一日佛第六軍を粉碎し盡したと信じ、パリーに對して僅かに一戰隊を殘してその東南方に突進した。そのパリーには十五萬に補强されたマヌーリイ軍が存在する事を九月四日の夜七時までモルトケは知らなかつたのである。而してクルツク軍と並なるビユロー軍も亦三十日には佛の第五軍を粉碎し盡したと信じて此れが最後の殺到をクルツク軍に託し、自らは東南に向つた。かくして彼等は豫定の如く佛軍を瑞西國境に壓迫し、パリーを攻陷せしむるの日が近いことを確信して居た瞬間、突如として側背から現はれたマヌーリイ軍に對すべくクルツク軍が陣形を立て直した時ビユロー軍も亦その右翼を佛の第五軍に脅かされ、共に互に相救ふに遑無く、兩軍の聯繫に二十五哩の間隙を生じ、フオツシユ軍の逆襲となり、而してマヌーリイは最後の一兵までも率ゐて猛烈なる側面壓迫を加へ、こゝに獨軍の主力を成す右翼軍は全滅の危險に瀕し、この危局を救ふべく佛軍の右翼に對し加へられた九月九日の獨第五軍の大夜襲も、結局擔當各隊間の口苦き混亂衝突により失敗に終つた。

退却を開始した者がモルトケかビユローか、それとも傳令ヘンチ中佐の過失か、第二軍司令部の行李輜重の罪か、いづれにせよ獨軍は崩れ出さゞるを得なかつたが爲に崩れ出したのであつて、ビユロー軍とクルツク軍とは八日間に亘り混亂と潰滅の苦に惱みつゝ退却し、クリスマス迄には終結すべき筈の戰局は、四年後のクリスマスまで、而して夫れは屈服の最後に終るべく引伸ばさるゝことになつた（此項終り）

家庭

水泳のシーズン　初心者のおよぎかた　先づ面かぶりから

暑熱が日にく加はるにつれ水がなつかしくなります、各小學校、中等學校あたりではボツく水泳が始まり日曜などは彩虎灘や星ケ浦、夏家河子などは少なからず賑はひを呈してゐます、一般民衆の水泳熱は年々盛んになりますが、特に婦人の間に水泳の盛んになつたことは喜ぶべきことで婦人體育の向上から見るも大いに奬勵すべきことです、又水泳を覺えて置くことは萬一の場合

危難を逃れることも出來一通りは各人の心得て置かねばならないことです、以下初心者の泳ぎ方につき其の心得を書いて見ませう、泳ぎを覺える上に最も必要なことは水を恐れないことです、一寸水が頭にかゝつても眼を白黒させたり、呼吸が出來なくなつたりしては水泳に上達する事は出來ません、先づ初心者は順序として面被りから始めます、その方法は顔を水中に沈めて左右の手は水を腋の下に掻込むやうにし、足は左右交互に曲げて水を蹴れば身體が自然に浮いて進むやうになります

ばた足と云ふ方法で、これは淺い所で練習するのです、次に背泳ぎと云つて仰向けに水上に浮んで頭の後半を水中に入れ、兩手を體に付けて前進するには手で水を掻き、足で水を蹴るのです、以上の二つの方法を暫く練習しますと體が樂に浮ぶやうになります

此の平泳ぎは水泳の基本となるもので、最も安全確實で疲勞も少く遠泳ぎには必ず此の方法によらねばなりません、平泳ぎには水府流と觀海流の二つの方法がありますその違ふ所は足にあるので、即ち水府流は體を充分に伸ばして水面に俯し、面を少し上げ兩手はたゞ上體を浮べるやうに伸ばすので、

兩手を並べて前に伸ばし掌を下に向け、平にとにかく身體が水に浮ぶやうになつたらもう占めたものです、あとはトンく拍子で上達します、そして次は平泳ぎを練習します、直ちに左右に頭を靜かくやうにしてだんく兩脇腹のあたりに持つて來ます、即ちこれは手で水を押して體に上體の沈むのを支へるためです、さうする間に兩脚を屈めて手を伸ばすと同時に屈めた脚は左右どちらでも片方は蹠で水を押し、片方は足の甲で押して最後は兩脚を强く合せ、つまり水を煽つて進むのでこれを煽り足と云ひます、これに反し

觀海流では手は同様ですが、脚は左右同じく蹠を水と直角に保つて水を蹴つて進むので、俗に云ふ蛙泳ぎと云ふ方法です、その動作の速さは一呼吸に一回位です、煽り足の方は川などの流れのある場所で泳ぐに適し、蛙泳ぎの方は海に適します、平泳ぎが出來ますと一重伸し、二重伸し、片拔手、大拔手などになるのですが、要は

平泳ぎの脚が基本となつて手の動作と身の位置が變るだけです、尚水中で色々の遊戯をしたり、又手を休めやうとする時などには立泳と云つて體を直立せしめ兩手は體に添へて兩脚ばかりで水を下方に蹴つて浮んでゐる方法と水を蹴らずに兩脚の膝から下をぐるく廻すやうにし、水を掘つて浮ぶ方法とあります

男女の行衛　……四……　一次郎

トン吉は洋車の上で酒の醉ひが出て睡くなつて來たので自分で自分の太股をしつかり捻つて睡魔に抵抗した。

洋車は街角を曲つた、それはトン吉の町の方へであつた、彼が五回目に太股を捻つた時、男女の洋車は三度目の街角を曲つた、そして愈々彼の町へ來た。

「これはおかしいぞ」

興味が増して來た、彼は六回目の太股をぐつと力一ぱひに捻つた。

男女の洋車は遂にトン吉等が住んでゐる露路へ曲つた。

齒……の衛生　よい齒磨とブラシの使ひ方

理想的な齒磨きはその粉末が細かで口中に入れると比較的早く溶解し、爽かな香味を持つてゐるものでなければなりません、元來は齒の清潔が目的ではありますが、殺菌の効があるものは更に理想的と云へませう、粉末の悪いものだとか、硬くて溶解し難いものは齒牙の琺瑯質を磨滅しますから、齒の壽命を短くします、齒を磨くには夜分寢る前が一番よいとされて居りますが、これは齲齒の發生は眠つてゐる間に生ずるからです、朝や飲食後などにはむしろ水齒磨で含嗽する方がよい、

實際は俗に齒を磨くと言つてゐますが齒を磨くのが目的でなくて齒の間にはさまつてゐるものを掃除することが目的でなければなりません、それから一般に忘れられてゐることは齒ぐきを磨くことで、これは齒を支へてゐる齒ぐきを丈夫にする上に非常に必要なことです、ブラシは毛の柔かいものより硬いものがよく、夜店などで安く賣つてゐる毛の平にそろつたブラシは齒の間にはさまつたものを掃除するには最も不適當です

罐詰にもヴイタミンがある

ヴイタミンは加熱すると破壊されるのが原則となつて居りますが、その意味において罐詰にされたものはすべてヴイタミンを失つてゐる事になります、處が必ずしもさうでないと云ふ事が最近稱へられて居ります、すなはちコロンビヤ大學で研究の結果、ヴイタミンの破壊される原因は勿論加熱による場合もあるが、むしろ酸化による場合が多いと云ふ事が分りました、コロンビヤ大學のコールマン教授の説では罐詰はすべて眞空にして煮つめるので

酸化する事が少く、從つてヴイタミンは立派に存在して居り普通の調理法によつて煮た場合よりも變化させられる事が少いといふ事が分りました、それで豌豆、ほうれん草その他の野菜や林檎や桃等の罐詰にはヴイタミンA及びBは勿論含有して居り、Cも相當含まれてゐるから理想的な食品保有法であり、これによつて一年を通じて利用に適すると云ふのであります、勿論食品は總ての榮養成分を一品で具備してゐる譯のものでなく、混食によつて完全食となるのでありますからたとひヴイタミンを破壊されてゐると見ても食品を取り合はせれば良いのです

けふのラヂオ　初等科支那語　第五課

滿鐵學務課　秩父固太郎

1 你來
2 甚麼事
3 快來
4 就來
5 你去罷
6 我去
7 他去不去
8 他不去
9 咱們走
10 一塊兒走
11 快走
12 你慢走

譯文

1 おいでなさい
2 何ですか
3 速くおいでなさい
4 直ぐ行きます
5 貴方往きますか
6 私は往きます
7 彼人は往きますか
8 彼人は往きません
9 サア出掛けませう
10 一緒に參りませう
11 速くお歩きなさい
12 貴方そろく歩いて

趣味の令孃を訪ねて　豊かな天分に惠まれた優れた能筆家　神明高女卒業の　宅和滿枝孃

一藝一能に通ずる者は或は惠まれたる天分によるものもあり、本人の努力の結果に成るものもあり、よりよき教育によつて達成されたものもあらう、いづれにしてもまた一藝一能が決して偶然の産物でないことは明らかである、そこにはめずや、優れた芽生えがあり、之を育くみ育てた滋味豊に環境があらねばならぬ、かうした一藝一能がすべてが美の表現であるべき若き婦人に如何に現れてゐるか、大連在住の令孃を訪ねてその天分と環境と努力とを尋ねて見やう。

◆伊勢町九十一番地、宅和周造氏令孃滿枝さんは本年十八歳、本春三月、神明高女五年を卒へられたのだが級中一の能筆家である。習字流の秀麗な筆致は同年輩の女性には見られない。

◆▽同家△△を訪へばお母さんは「滿枝はお轉婆でして學校に居る時もバレー、水泳、ピンポンの選手をさしていたゞいて跳廻つてゐましたが習字なんて、書くといふ程もございません、第一、家でろくにお稽古さへ致しません位です、五年になりましてから先生等から喧しく勸められまして、彌生高女の小熊鑿堂さんについて習つて居りますがそれも日曜毎に書いて持つて參りますものを僅々その日の朝にならないと書かない位でして、上手なんてお恥かしい次第でございますよ」とおつしやる。

◆▽然し△△神明高女で學藝會展覽會等がある時、先づ滿枝さんの字が出ないことはなく、先生や御兩親からも專門にやつて習字の先生をやつては、と迄勸められた程だが當人の滿枝さんは至つて暢氣で何方かと云ふと字の稽古より飛び廻る方が好きな程、活潑なお孃さんだ。

◆御本人も「私、先生から吩附けられたものゝ外は滅多に自宅で書いたことはございません」とおつしやるから天才的なのだらう。小學校から習字は續けて甲許りで年と共に上達して行つた。

◆▽お父△△さんの周造氏は大工さんで終日、隣の仕事場に立籠つてゐるおとなしい職人肌の人だが「滿枝の兄の周一は勉強もしましたが字はこれより上手でござんした、朝鮮の方面へも書いたものを大分とられてゐますが後藤子爵の御手許にも差上げたこともあります又御手本として書いたものをいたゞいたこともあります、私は一向字は書きませんが多分母に似たのでせう」と語られた。

◆▽其の△△兄さんも東京商大在學中、亡くなつて惜しまれてゐるが、滿枝さんは飽くまでも無邪氣に、先生から書けと言はれゝば書くといふ未だ慾もないすなほなお孃さんである（寫眞は宅和滿枝さんと扇に書かれた水莖のあと）

探偵小説 女妖 (135)

江戸川亂歩 作
横溝正史
伊藤幾久造 畫

奔馬(十二)

濃子はさうした由良子の様子を凝つと見詰めてゐたが、やがて、何んと思つたのか薄らと涙さへ浮べながら、

「由良子さん。あなたが昂奮なさる譯をこのあたしもよく存じて居りますわ」

由良子はその言葉を聞くとハツと息をのみ込んだ。一瞬間彼女は燃えさかる焔に水を打ちかけられたやうに、じつと濃子の顏を眺めてゐたが、ふいに彼女の目からは大粒の涙がホロ／＼とこぼれ落ちた。

「濃子さま、濃子さま、あなたは何も彼も御存知なのですね。あたしの事も、そしてあの春巣街で殺された女の事も……」

「えゝ、知つてゐます。この頃漸く、あなたの不幸な身の上を何も彼も知ることが出來たのです」

濃子は優しく由良子の背を撫ながら、

「あなたが、あの篠崎龍子といふ人と、春日龍三氏の間に出來た子供である事、從つて、あなたは花子さんの腹違ひの姉さんになる事さうした事も、この頃漸く覺とる事ができたのです。それにしてもあなたは何といふ不幸な身の上でせうね。花子さんがあゝして、何不自由なく暮して來られたのに、あなたは反對に……」

「いゝえ、いゝえ、あたしそんな事何とも思つて居りませんわ」

由良子は涙にぬれた目を上げると、

「貧乏な暮し――それに對しては、あたし何の不平もありません。却つて獨立獨歩の力をあたしに與へて下すつた事を、神樣に感謝する位でゐます。けれど、けれど……現在立派な親があり乍ら、何年もの間見捨られ、漸く會ふ事ができても、親子の名乘りもできないのが一番殘念でございますわ」

「さうでせう、然し……」

「いゝえ、いゝえ、あなたはまだ御存知ではない。あの春巣街の事件の噂、新聞であの被害者の寫眞を見た時のあたしの驚き、今迄探しに探してゐた親の主、その人こそあたしの產みの母だと、誰からともなく教へられてゐたその人と寸分違はぬ寫眞を見た時のあたしの驚き、でもまさかそんな事が…と思ひ乍ら死體陳列所へ行つてみました。然し、あゝ、間違ひもなくその女だつたのです。あたしのお母さまだつたのです。その時の慘めな母の姿を見て、あたしがどんな思ひにうたれたか、それは到底他の人には想像できない事ですわ。假令どんな惡い事をしたにもせよ、現在自分の母といふ女があんな慘めな姿になつたのを見せつけられては、誰しも血の煮へくり返らない人はないと思ひますわ」

「よく分りますわ。よく分りますわ」

「でも、それよりもつと大きな驚き、それはあなたのお宅で夜會が開かれたあの晩の事です。あたしはふと白根辨造といふ人と春日龍三氏の話を漏れ聞いたのです。そして初めて龍三氏が嘗てあたしの母の良人だといふ事を知りましたさうとすれば、あたしはあの人の娘だといふ事になるのです。あたしは初めて兩親の身の上を知りました。然し、それを誰に打明る事も出來ないのです。現在の父親が金持であればあるだけ、あたしは名乘つて出る事ができませんでした。おまけにあたしには確な證據と言つては唯あの額より他にはないのですからね。それにあたしが名乘つてでれば、花子さんを初めどんなに多くの人が迷惑するか、それも考へなければならなかつたし、結局あたしは一生涯を唯の木澤由良子で押し通さうと決心してゐたのでございますわ――でも唯一ツ心にかゝるのは、あの不幸な母を殺した犯人の事です。その人だけは是非探し出して、あたしは敵を打ちたい。母の敵を討ちたいのです」

さう言つて咽び泣く由良子の首筋を、濃子はベツトの上から泌々と眺めてゐた。恐し、由良子の言ふやうに、この敵が討てる事だらうか。態度も／＼言ふ通り、相手は到底、並大抵の人間ではないのだ。篠崎龍子を殺し、白根辨三を除き、お神枝を殺し、安藤婆さんを殺し、そして春日龍三を殺した人物――これから先、幾人の血潮がその男の手を染めてゆく事だらう。或は自分達の血潮もその中に含められるのではなからうか。

さう考へると濃子の胸は思はず冷たく、凍えて了ふのであつた。

痒くて堪らぬ不快な皮膚病

汗疹、膿疱疹、濕疹 汗疱、頑癬、の手當

皮膚病は一般に輕視され易い、殊に

汗疹

あせも等全く氣にかけない人がある、成程あせも其ものは少々痒い位で、直接生命に關はるものでも無いが、これは恰度「風邪が萬病の母」である如く「あせも」が皮膚病の母となることが餘りに多い

あせもは涼しさ、暑さにつれて消褪し、再現する、それを放任した上に、痒いにまかせて掻くと小水疱が破れて、黴菌が侵入し腫れ上つたり、化膿したり、俗に夏ぼし、といふものになると、痒い上に痛みが伴つて來る。

これは大人でも辛いもので、子供は尚更苦痛である、のみならず傳播が旺んで、直に次ぎ次ぎへ擴がり、それが濕疹になることが頗る多いのである。

濕疹

濕疹はこの外、體內の原因から發生する、子供は頭部、顏面、或は股に多く、老人は四肢や、軀幹の屈曲部に多い。

子供の胎毒と云つて「クサ」を治療すると、內攻するなど〻根據のない迷信から打捨て置く親達があるが、若し放任して置けば、頸部に淋巴腺腫脹（イネゴ）が生じ又濕疹面より種々の黴菌が侵入して、その爲め生命の危險を來すこともある、假令このやうな危險がなくとも、毛根が侵され成年になつて、其所に禿の殘ることなどはよくある例である。

汗疱

この汗疱は靴履きの人、水仕事をする人に多く、頗る頑痼で、耐られぬ痒さと、痛みを覺ゐる、初期は、皮膚の表面に變化が無いが、深部に水疱又は膿疱のある事は、入浴後ハツキリと見へる、それが遂には破れて糜爛し、又續發的に白癬菌が感染して、惡疾のものになる。

この黴菌は內地の如く、濕度の高い處に繁育し易く、今は其の繁殖の時期である。

頑癬

頑癬は、たむしいんきん、ぜにがさ等をいふので、小さな赤い斑點を生じ、漸次擴大すると、周圍部が土俵のやうに隆起して中心部から外部へ／＼と擴がり痒さも可なり烈しいものである。

蚤、羽虫、蜂、南京虫、蟻等に刺咬された事が原因で、瘙痒性皮膚病になることも多い。

注意

皮膚病の多くは傳染性で、近來は各階級の人を通じて多く見るやうになつた、それは電車、寄席、活動錢湯等の人込みで傳染するのである、天氣のカラリと晴れた日には左程病菌も活動せないが、濕氣の多い日は、旺んに繁殖を行ふもので、電車に乘つて、人の腰かけした溫味のある處や、脂ぎつた吊革を握ることなど、餘程注意をせねばならぬ。

適藥

皮膚病に何が一番適切であるかといへば、先づ硫黃である、然し在來の硫黃劑は、皮膚に吸收し難く、且つ惡臭、又は衣類を汚す杯の點から頗る嫌惡されて居たが、此種の缺點を根本から改善して製出されたのが、皮膚病新藥アスターである。

アスターは芳香性クリームで、其含有する硫黃が可溶性狀態にある故、皮膚に吸收し易く、從つて特性作用が充分に發揮され皮膚病治療上の一大革命だと、安藤醫學博士が稱讃されて居る。

「アスター」は其强烈なる殺菌力に依つて、寄生菌を絕滅すると共に患部を消毒し、局部を收縮して、速に治癒せしむる顯著なる効驗がある。

定價 小瓶三十五錢、大瓶一圓チューヴ入五十錢、各地の藥店に販賣して居る。

成功の糧は健腦丸

社會へ進出する唯一の途は自分の能力を充分に發揮する事にある、それには第一、頭腦を健全にせなければならぬが、その頭腦の保護條件として、精神の過勞を恢復せしめねばならぬ。

さて精神の疲勞を感ずる場合どういふ現象があるか、茲に素人として最も解り易いのは、ワグナ博士が學童に試みた方法が一番よい。

それは手の位置を見て、疲勞の有無を知るので、例へば腕を垂直に伸し、手の掌を水平にさせる、處が普通なれば水平に保てるが、疲勞してゐると、其手先がダラリと下る。

又注意の散漫してくる事も疲勞の特徴と見て差支へない。

一例を擧げると、讀書や、裁縫をしてゐる時、ガタリと音がすると其方へ氣を取られ、手許が疎になる、その時は疲れてゐるのであつて、本能の力が氣分の轉換を行はしめて、疲勞の恢復を要求してゐるのである。□

疲れた頭腦を其儘酷使すると、疲勞は一層募つて遂には神經衰弱や、精神病に陷つて了ふ。

疲勞を癒す方法としては、精神を安靜にすること勿論、よく安眠すること、腦の榮養藥健腦丸を服用することである。

殊に此頃は短夜で、兎角睡眠不足になり易く、而も春期に發芽した神經病が、其鋒鋩を現す危險な時で、此際是非共腦神經の健全を圖る必要がある。

睡眠不足の結果、心身倦怠く仕事に飽き易く、絕ず頭痛や頭重を覺え、眩暈、逆上、耳鳴、便秘等が起れば、一日も早く治さねばならぬ。□

健腦丸は根本的に頭腦を明快にするのみでなく、疲勞を恢復し、記憶力を增進し、恐るべき中風、卒中を未發に防ぐ、驚くべき偉効がある。

病は豫防が第一、冒された場合は一刻も早く治療するが最善の策であり、然して傑出した頭腦の持主となる唯一の糧として、健腦丸を推奬する、本舖は大阪東京丹平商會で、全國の藥店にあり、價は五十錢より十圓迄。

滿鐵軍五組を殘し市中軍三度敗る

吉原、沼田組の力闘も遂に空し　第三回對抗庭球戰

六日北公園滿鐵コートに於ける本社主催第三回大連市中軍滿鐵對抗戰式庭球戰は優退組戰に入るや各試合共白熱し市中の吉原組、沼田組は死力を盡して戰つたが遂に空しく結局滿鐵五組を殘して三年連勝の榮を擔ふ、閉戰同五時、終つて優勝チーム滿鐵軍は中央本部前に整列し佐藤本社編輯局長閉會の辭を述べ深紅の優勝旗は滿場の拍手裡に滿鐵關谷主將の手に授與され、かくて滿鐵軍は本社の萬歲を三唱し盛會裡に同十五分散會した、夕刊既報後の勝敗左の如し

▲第一回戰

滿鐵　市中

工藤・高木　四　二—九、四—二、五—三、三—五、四—二　一　宇士・脇本

宇士良く粘つたが滿鐵の好連絡と高木の好ヂヤツヂに勝つ

笠原・田川　三　五—三、二—四、七—五、二—四、〇—四、六—四　四　黑澤・吉原

齋藤・下重　四　四—〇、一—四、四—四、四—〇、四—三、四—〇　二　沼田・野中

市中が總じて良く當つたに反し滿鐵エラチックで接戰裡に破る

根本・中島　三　一—四、四—四、四—二、一—四、四—二　四　黑澤・吉原

沼田捲土重來を期したことも因し、期待された接戰にもならず

吉丸・閼谷　四　一—四、四—一、二—四、〇—一、七—五、四—一　三　松本・高橋

俄然兩軍大將組の試合となる、最初一進一退松本組の優勢裡に進んだが第六ゲーム吉丸、高橋の左を拔き次いで閼谷ボレーで極め、第七ゲームは吉丸再び得意の敵左コーナーを衝いで高橋を拔き最後の止めを刺す

佐藤・大石　四　一—四、四—一、四—六、六—四、四—二、四—二　二　黑澤・吉原

五尺にも足りないと思はれる根本君良く奮鬪、第五ゲームごろは非常な當りであつたが遂に前後衞共打ち負けの形となる

▲優退者戰

滿鐵　市中

川久保・住田　三　〇—四、五—七、八—一、四—二、三—〇、四—四、二—四　四　沼田・野中

前後四十分間の長い好ゲーム、沼田は良く粘つて得點を野中に任し、滿鐵第六ゲームで住田良く當つたが最後に川久保惜くも凡アウトして空し

閼谷滿鐵主將談

流石の黑澤組も疲勞も加はり凄い佐藤組の當りに敗北す、かくて滿鐵組は齋藤組を始め（重岡、松山）（吉丸、閼谷）（工藤、高木）（齋藤、下重）の五組を殘して勝つ

市中軍昨年より確に上手でした然し少し勝をあせりすぎたやうでした、一回戰に上田下重さんの組が敗北したのが大痛手だつたと思ひます、私達はポイント／＼を得て行くやうに心掛けました、色々な事情でまとまつた練習の出來ない市中軍には心から同情をしたくなります

松本市中主將談

滿鐵は強いですね、全力をつくしましたが何分舞台軍の缺點として充分のチームワークの取れないのが缺點です、それに頼みに思つた沼田君が猛烈な攻擊を起して最後に充分な働らきも出來ず本年も敗れてしまいました、然しこれにこりずもつと／＼努力をして來る年の準備に精進します

全滿から出場し槍投に新記錄

六日の段位制競技會

滿洲體育協會主催の第二回全滿段位制競技會は六日午後一時より大連運動場に於て撫順、奉天、鞍山、旅順、大連の一流無名の選手二百名參加の上舉行されたが大連小林武生選手は槍投に於て五十四米八四を投げ滿洲新記錄を作る、記錄左の如くである ○は段

トラックの部

▲千五百米決勝
一着花田一彥（無）四分三一秒八
二着　大塚久雄（無）
三着　宮城金友（無）

▲二百米決勝
一着　田中盛一（二）二三秒六
二着　川口與四郞（無）
三着　山崎義男（無）
（一段に付き四米ハンデイキヤツプ）

▲四百米決勝
一着　三隅一二（三）二分十秒
二着　福田常盛（四）
三着　田代正利（無）
（一段に付き十米ハンデイキヤツプ）

▲高障碍決勝
一着　鶴田鶴吉（五）參考記錄十六秒六
二着　山田俊男（無）
三着　中村正夫（無）
（一段に付き二米ハイデイキヤツプ）

▲百米決勝
一着　清田正光（無）十一秒八
二着　加藤鋼平（無）
三着　田中盛一（二）
（一段に付き二米ハンデイキヤツプ）

▲五千米決勝
一着　八重樫榮太郞（初）一六分三七秒四
二着　清水政市（無）
三着　花田一彥（無）
（一段に付き百六十米ハンデイキヤツプ）

▲四百米決勝
一着　三隅一二（三）（無）五十三秒
二着　多田增太郞（三）
（一段に付き六米ハンデイキヤツプ）

▲八百米繼走
一着　旅順櫻桂會一分三八秒
二着　二中クラブ

フイルドの部

▲走巾跳決勝
一等　尾名泰（無）六米五〇
二等　高見泰治（無）六米一〇
三等　林力（無）六米〇九

▲砲丸投決勝
一等　山口克彥（無）一〇米七四
二等　白石春雄（無）一〇米六八
三等　山田源市（無）一〇米三九

▲槍投決勝
一等　瀨川克已（二）四七米八一
二等　峰尾禰久（三）四六米八一
三等　尾名泰（初）四五米三二
（一段に付き十米ハンデイキヤツプ）三段小林武生五四米八一を投げ滿洲新記錄を出だせしも等外に落つ

▲圓盤投決勝
一等　上倉勝一（初）三四米二五
二等　山口克彥（初）三二米四二
三等　昇名泰（無）三一米六一

▲走高跳決勝
一等　最上義滿（初）一米七五
二等　湊川捨三（初）一米七五
三等　白井喜正（初）一米七五

▲三段跳決勝
一等　最上義滿（初）一三米四七
二等　星名泰（初）一三米一六
三等　田中禾（無）一二米九七

▲棒高跳決勝
一等　西田良知（二）三米三〇
二等　石垣松吉（三）三米二〇
（一段に付き〇二米のハンデイキヤツプ）

全日本水上選手權種目

オリムピック第一主義で

【東京特電七日發】日本水上競技聯盟は五日理事會を開催本年度選手權大會につき協議したが、最近わが水泳界中長距離に新進の活躍目覺ましくいま一段の努力を續ければ二年後に迫れる萬國オリムピツクにて四百、千五百、八百リレー等に優勝するも決して不可能でなく、從つてオリムピツク水上に優勝する可能性も大いにあるので此の二年間は專らオリムピツク第一主義で進むといふに決した、從つて選手權種目もオリムピツクを中心として選定するに決し六日左の如く發表した

△男子之部▲自由型百米、二百米、四百米、千五百米▲背泳五十米、百米▲平泳百米、二百米▲スプリングボート、高跳込、混合競技、水球

△女子之部▲自由型、百米、二百米▲背泳百米▲平泳二百米▲スプリングボート、高跳込

全滿少年野球大會

けふ決勝戰を舉行

朝日小學校—日本橋小學校戰　午後三時、實業球場にて

飛行競爭にブ孃優勝

英航空界驚く

【英國ハンワース五日發電通】英婦人飛行家ウイニフレッド・ブラウン孃（三七）は五日當地飛行場で行はれた英航空界の呼び物のキングス・カツプ爭奪飛行競爭にアヴロアヴイアン式小型複葉機で參加し手其の他英航空界一流の飛行士八十六名を尻目にかけ見事一着となり優勝盃を獲得した飛行時間は七時間廿分で平均時速百二哩七分で女でかゝる優秀な成績を示したものは全く未曾有の事であり殊に單身濠洲まで飛んで世界を驚かしたアミージヨンソン孃と相並んでイギリスは更に一の誇りを加へた譯である二着はバトラー氏三着はワゴン中尉（シユナイダーレース出場者）四着は之れも婦人飛行家で二着のバトラー氏の夫人であつた、尚飛行士の參加は合計六名であつたブラウン孃は「一等となつたと聞いて誰れよりも自分で驚いて居ます今日大層良く飛べました」とニコニコ顏で語つた

在滿鮮支赤黨の工作漸く尖銳化

第三インターと提携

【ハルビン特電七日發】滿洲における鮮人團體の工作は舊黨に屬する正義府、參議府、統議府の如き吉林省延吉、鄉南地方を根據とせる各府も露支紛爭を一期として左翼行進の傾向を帶びて來たことは事實である、彼等の既成團體が從來の型によつて進んで行くことは時代の潮流に逆行し團體としての價値を失ふのみならずその存立の生命がなくなる譯であるから自然共產黨系の思想團體化し第三インターのパツクにより地盤を鞏固にすることに努めつゝある結果であると見られてゐる、時に浦鹽における五一倶樂部中心とした中韓共產黨の革命工作は滿洲における鮮人團體のみならず上海天津、北京と連絡し遠くは歐米の在外者と合從して赤旗を通じ共產革命の旗幟のもとに連絡を執り最近ハルビンでは朴寅一派の首腦者が參集し密かに協議會を開催して統議府、鮮農團體、協會を糾合して

愈々積極的運動を開始した如き或は浦鹽の中韓共產黨協議會では支那における水平運動と日本への挑戰に對するテーゼーを起案し反動團體の彈壓テロ團の組織と工作及び各地との連絡は毎月一回代表を往復せしめること、テロの直接行動に要する武器彈藥の類は中國共產黨が援助すること等を決議し露支國境、北韓にはヤチエカの組織に着手した如き、特に中韓共產黨の運動は黨是のもとに滿洲各地にその魔手を伸ばして來た、ハルビン附近村落には

共產主義

テロ團が約三十餘名潛入し各所に出沒して內外の狀勢を調査し南北滿洲における日露支の政狀については特、材料を蒐集して第二計畫を極秘裡に進めてゐるといはれてゐる

間島暴動事件の不逞鮮支人殆んど逮捕

總領事館警察署連日の活動で　殘るは二十三名

【間島特電七日發】五月二十日不明の間島暴動事件關係者は引續き總領事館警察署にて搜査中のところ數日前、龍井村に中國共產黨延邊黨部鮮人部責任秘書李〇〇が潛入し第二暴動計畫中を確め五名の警官にて逮捕した、李〇〇逮捕の結果、鮮支共產黨合流の經緯明瞭となり李〇〇は滿洲總局より暴動の命を受け先般、逮捕された金哲のものした計畫を採用して之を實行するため經費〇〇圓を金哲に手交したこと判明した、而して李〇〇は暴動後、滿洲總局に報告のため潛行し、このほど歸來したものである、なほ總領事館警察署では五日未明に龍井村の暴動隊長ら二名を逮捕し結局、今までに暴動關係者〇〇〇名を擧げ取調中であるが主なるものは二十三名を除き殆ど逮捕したといつてゐる

高松宮兩殿下エルストリーへ

【ロンドン五日發電通】高松宮同妃兩殿下にはエルストリーにおける海軍司令官サー・トレボオー・ドソン氏の園遊會に御出席のため五日午後三時四十五分自動車にて同地に向はせられた兩殿下には六日日本人會主催の王立植物園における園遊會に台臨遊ばされる事となつた

健棒振ふて實業の復讐なる

七對四のスコアで　對八幡軍第二回戰

八幡對實業第二回戰は六日午後三時十五分より實業球場に於て兒玉（球）熊川（壘）兩氏審判の下に實業先攻で開始されたが七對四で實業勝つ閉戰五時四十五分

實業陣容を一新して先づ一點

八幡軍は正投手長友を退けて大分商業出の日名子を起用し實業は木下をプレートに送り中島中堅を退け中川（金）を中堅に岩瀨右翼に入り源川を一壘を守らしめ一擧に打擊を以て敵を屈せしめんとせし作戰に出で第三回宮武の二壘打中堅後逸したがわづかにハンブルして落し、源川四球に出で打順よかつたが、中川（金）ばあばつて三振を食ひ僅に一點を得

猛打を浴びせて五點をつかむ

第四回に於ける實の五點は漸く日名子の疲れに乘じて打つて出でしものでこれに代る森川も源川を凡退せしめしも遂に中川（金）木下の猛打に會ひこの日の勝敗を決する五點を與へたこの回實打者九名

木下また打たれ岩瀨と交代

第六七回も八幡木下の球をよく打つて出で追擊の四點を得木下を岩瀨に交代せしめたが爾後岩瀨の好投にはゞまれ遂に敗るこの日の八幡軍は前日に比べて覇氣なく四回に五點を得られし以後やゝ試合をなげたる感があつた六、七回に於ける加藤の本壘への好スライディングは勵もせず賞讚される滿洲球界に一興味を與へるものであらう實業ファンを喜ばせる但しスタンドより出て彌次球場の空氣を害すること夥だしい同裏中前單打に出でし中村一邪後正田の鋭い左前單打に二進後花田の三直飛を津田シングルでとつたが何思ひきや花田三壘めがけて走り津田また走者と反對にボールをもつたまゝ二壘に向つて夢中で馳せこみこれを併殺のまれに見る珍プレーあり

經過

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
（實）得點	0	0	1	5	0	0	0	0	1	7
（八）得點	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4

△第一回　兩軍無為

△第二回　▲實木下四球渡邊左犧飛に木下二進岩瀨壘となる津田三補に木下生還中川中飛▲八幡大岡投前バンド正田右前單打花田遊補に正田花田併殺す

△第三回　▲實宮武二壘打源川四球中川（金）三振木下中犧飛に宮武三進源川二盗せんとするを捕手二投し宮武本壘を衝きしも遊擊本壘高投に宮武生還源川三進渡邊三振▲八幡日名子二補戶川四球淸岡の投前のバントを木下悪投に生き加藤二飛渡邊一壘牽制球を逸りしに源川失して各者進壘す坂戶三振

△第四回　▲實業岩瀨四球安藤投前犧バントを投手二壘に高投して走者二、一壘に生く津田三補走者進み中川左前單打に岩瀨生還中川二盗宮武左前單打に安藤還中川二盗宮武二進源川一補に宮武三進中川（金）二壘打に宮武生還木下石前單打に中川生還渡邊

遊補▲八幡無為

△第五回　兩軍三者凡退

△第六回　▲實業無為▲八幡加藤死球坂戶三遊間安打に加藤二進中村一補失走者進み加藤本壘を衝きしも宮武の好投に刺さる大岡各中間安打に坂戶中村生還正田一邪飛花田左前單打森川遊補に花田二壘に刺さる

△第七回　▲實業得點なし▲八幡（八幡戶川退き小松入る）小松二補失（代走大岡）淸德遊前グランドヒツト加藤左翼二壘打に大岡生還淸德三進（木下退き岩瀨交代）坂戶三振の時淸德離壘して捕手好投に刺され中村の右前單打に加藤生還大岡二補失に生き中村三進す正田中飛

△第八回　兩軍とも三者凡退

△第九回　▲實中川（金）三振木下三補失に生き渡邊三補を二壘に封殺せんとせしも間に合はず（渡邊代走安藤）岩瀨一補に走者は進む（安藤代走源川）安藤三振▲八幡淸德三飛加藤四球坂戶三補に加藤二壘に封殺さる中村中飛

（八幡）

	選手	打數	得點	安打	犧打	盗塁	三振	四球	刺殺	補殺	過失
8	清德	5	0	1	0	0	0	0	2	0	1
6	加藤	3	1	1	0	0	0	1	4	1	2
4	坂戶	5	1	1	0	0	2	0	2	2	1
7	中村	5	1	2	0	0	1	0	4	0	0
5	大岡	4	0	1	0	0	0	0	1	2	1
3	正田	4	0	2	0	0	0	0	8	0	1
2	花田	4	0	1	0	0	0	0	5	1	0
1	日名子	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	森川	3	0	0	0	2	0	0	0	2	0
9	戶川	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
9	小松	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0
	計	37	4	9	0	0	7	2	27	8	6

（實業）

	選手	打數	得點	安打	犧打	盗塁	三振	四球	刺殺	補殺	過失
7	中川	4	1	1	0	1	0	1	0	0	0
6	宮武	5	2	2	0	0	0	0	2	3	0
3	源川	4	0	0	0	1	1	1	5	1	2
8	中川金	5	1	1	0	0	2	0	4	0	1
91	木下	3	1	1	1	0	0	1	0	1	1
2	渡邊	4	0	0	1	0	1	2	8	1	0
19	岩瀨	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0
4	安藤弟	4	1	1	1	0	1	0	4	2	1
5	津田	4	0	0	0	0	0	0	3	1	0
	計	36	7	6	3	2	5	5	27	9	5

▲二壘打　宮武、中川、加藤—一
▲死球　木下—一（加藤）
▲併殺　宮武、源川、津田—一
▲殘壘　實—一〇　八—九
▲試合時間　二時間三十分

麵類部は分離する

大連飲食店組合中の麵類部及びカフエーを除く洋食部、雜種部の組合員四十名は六日午後二時半より市內若狹町の虎の家に集りBC軒の栗間房吉氏を座長として所謂六十間問題を議題より除き近く發令さるべき關東廳のカフエー取締規則に鑑し別に一般飲食店取締規則の適用をうけてカフエーと分離することが營業上よりも得策である旨を敲そばの中西氏より說明し滿場異議なく分離に贊成し代表者十名を選び桑島組合長にその旨を傳へ組合にては八日の役員會にて協議の上回答することになつた

山形縣の水害

鐵路にも浸水

【山形六日發電通】山形縣最上郡地方一帶は四日夜來の豪雨の爲め各河川共六尺乃至八尺の增水を見沿岸村民は警戒中であるが被害の最も大なるは西小國村の小國川の增水一丈餘に上り瀨見溫泉の浴場一部に浸水した又陸羽東線瀨見向町間鐵道線路に浸水し列車の運行不能となり目下復舊工事中である

長野縣の大火

全燒百餘戶

【木曾福島六日發電通】六日午前一時半西筑摩郡奈川村に火災起り強風のため全燒六十棟百餘戶を出し同五時鎭火した損害三十萬圓に上ると

牛肉屋さん御難

市內水仙町廿四番地牛肉商姜緣章（三）は六日午後四時ごろ牛肉配達中、錦町二番地で自轉車を積荷の牛肉約一貫目諸共窃取され青くなつて小崗子署へ屆出でた

この母を見よ (五五)

日活現代劇臺本より

崎面座同人構成

映畫キャスト

原作 エリイザ、オルゼシュコ「寡婦マルタ」より
脚色 久木保太郎
監督 田坂具隆
撮影 伊佐山三郎

父 桑木元 …… 南部章三
母 倭子 …… 瀧花久子
子 中子 …… 松平千鶴子
街の女 絆子 …… 入江たか子
寛氏夫人 …… 英百合子
おみつ …… 佐久間妙子
臼田夫人 …… 津島ルイ子
娘瑠璃子 …… 小西節子
婦人用品店主 …… 常盤操子
よね …… 島村靜子
滿村 …… 大原仁美
大村書店主 …… 村田廣壽

倭子は造花工場の戸口を出る時に、自分の背後に非常に低い囁きも、それよりも猶一層低い笑聲を聞いた。それを聞いた瞬間、彼女は自分が二十に餘る人々の嘲笑と役に立たぬ憐れみとの對稱になつにしてゐる新聞紙を見た。

やがて無言で其の白ばらを胸からはずし、川の中へ投げ捨た。

そして二人は顔を見合せて、高らかに笑つた。

お光の手から捨られた白ばらは靜かな川面を流れてゐたが、やがてそれは船頭の子供の手に拾はれた。そして子供は誇らし氣にそれを胸に附けて肩を張つて見せた。

其の様を見てゐたお光とその戀人は又一しきり高く笑つた。

お光の戀人はお光に新聞紙で包んだ本を渡して別れていつた。

倭子は新聞店の前に立つて、そこに張出してある新聞の職業案內欄に吸ひ寄せられてゐた。が求める職も見出せなかつたのか、倭子の顔には濃い失望の色が現れてゐた。

お光は歩きながら、何心なく手にしてゐる新聞紙を見た。

てゐる事を覺つた。同時に彼女の胸は又しても火のやうにほてつて來た……

併し往來へ出てしまふと、すぐ一つの考へだけが彼女を支配した——こんな手ぶらで私は家に歸れない。今日はどうあつても溫かい滋物を持つて歸り明日はあの子に何か滋養になる食物を拵へてやらなければならない。でないと……

あの子は……死んでしまふ……

暫く彼女はこんな風にして自分の行先が、どこであるかも知らないやうにして歩いてゐた。右へ左へ、彼女は方向を變へた。歩道の眞ん中に首うなだれて立止まつた儘の上……お光は其の戀人と話をしてゐた。十二月の川風が冷たい風が通り過ぎて行く。倭子は思緒に暮れたのだ。

お光はじつと自分の胸に附いてゐる同情淵間の造花をみつめ乍ら、人の言葉を聞いてゐるたが

そんな花を附けたつて誰も偉いと思ひはしないよ、貴婦人達の遊び相手になるのはおよしよ

あッ！姉さんがッ

お光は思はず叫んだ、

倭子も驚いてゐた。案內欄に失望して何心なく讀んだ三面記事、そこには驚くべき記事がのせられてゐたのである。

狂女嬰兒を摑んで紳士を毆る 騙されて棄てられた派出婦……

……此の女の名は木村すみ子と云ひ……そしてそこには、先日お光が街上で倭子に見たと同様なお光の姉の寫眞までのつてゐるではないか……

倭子は自分の身に引くらべて、悲慘なお光の姉の運命を思ひなやんでゐた。

お光は狂つた如くに街を走りつづけてゐた。

姉の身を思へば……

姉の苦みを思へば……

お光は悲しんだ。そしての、しり叫んだ。

姉の恐怖におのゝく顔、姉をだまし、姉を捨てた男の憎い顔、

そして小さい丸々ただかの赤ん坊

鬼だッ

お光は姉惱みに本當に氣が狂つて來た。

お光は益々狂ひながら街を走りつてゐた。

倭子も新聞記事による昂奮がまださまらぬのか、眼を血走らして歩いてゐた(寫眞は佐久間妙子)

滿日俳壇募集規定

次回課題「日盛り」「夏帽子」「夏草」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲各用紙に住所姓雅號を記入の事▲締切七月十日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲宛先東京市牛込區若松町八二島田青峰

川柳募集課題

▽題「弱」「雨」「ハンモック」
▽句 各題五句限必ず別記の事
▽締 十月十日(住所記入の事)
▽宛 大連彌生町一六高橋月南

滿日文藝係

新雜誌『健康時代』生る

めまぐるしくも渦卷く事變を乘り切つて現代生活の第一線に立つことの出來るのは、健康の持主にある。ジツカリした肉體の保持者にある。

憂鬱なる現代生活、病める現代生活、疲勞したる現代生活、この中に處して、シツカリと自己の歩みを踏みしめて行くことの出來るのは、健康なる魂の持主にあり、健全なる心の保持者にある。

すべてに健康であらねばならぬ現代實業之日本社から「健康時代」の發刊されることは當然にすぎる當然ではなからうか。むしろ其の出づべくして今でざりしことの何ぞおそかりし感があるかも知れぬ「健康時代」とは所謂昭和時代である、まこと「健康時代」は今日生活の理想である。身の健康、心の健康「健康時代」は今日生活の標語である。政治の健康、經濟の健康、教育の健康、思想の健康、倫理の健康——「健康時代」は今やはつきりと雪白の旗幟を碧空にひるがへして創刊されることは慶賀に堪えない(七月十二日發賣八月創刊號三十五錢)

海、山、溫泉への旅

婦人の旅に就いて「夏の座談會」海水浴場、登山案內等七月號婦人倶樂部に記載されてゐる

巧く當てた小賣商

大連の小賣商人が聯合艦隊の入港の際「狙ひ打ち販賣法」と云ふ宣傳販賣をした巧く當てた實例が七月號の現代雜誌に出て居る